

足場を起因物（小）とする死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 （小） コード	事故 の型 コー ド	労 働 者 規 模
2022	1	14 ～ 16	被災者は鳶職人として入場し足場の解体作業に従事していた。解体作業に伴い、足場の10段目か9段目にて足場のメッシュシートを取り外す作業を行っていたところ、何らかの原因で足場から墜落した。	030201	1	50 ～ 99
2022	1	16 ～ 18	鉄骨造6階建テナントビル新築工事現場において、外壁のコーキング作業を行っていたところ、5階付近の足場から墜落したものの。	030201	1	1～ 9
2022	3	10 ～ 12	地上4階建の共同住宅新築工事において、躯体南側の抱き足場の組立て作業中であった二次請の作業員が、地上で倒れている状態で発見され、病院に搬送されたが死亡したもの。被災者は、直前まで高さ約6.8メートルの足場上で組立作業に従事していたことから、同所から墜落したものと推定される。	030203	1	1～ 9
2022	3	14 ～ 16	外壁塗装工事において、地上から高さ約6メートルの足場上で作業をしていたところ、何らかの原因で足場板の無い箇所から墜落したものの。	030209	1	0
2022	4	10 ～ 12	くさび足場の第2層目（高さ約4.5m）から墜落したものの。被災者は事故の当日サイディングを取り外す作業を行っていた。	030202	1	1～ 9
2022	6	10 ～ 12	個人宅の屋根等塗装中、被災者が高さ3.8mの足場上で屋根破風の塗装を行っていたところ、足場の外側の地面に墜落し、災害発生から約1か月後に死亡したものの。	030209	1	1～ 9

2022	6	8 ～ 10	太陽光パネルの設置及び整線作業のために設置された足場付近にて、心肺停止の状態で見つされたもの。	030301	1	1～ 9
2022	6	10 ～ 12	3階建て戸建住宅新築工事において、3階部分の足場上で塗装作業中に墜落し、死亡。	030201	1	1～ 9
2022	7	18 ～ 20	地上2階建の共同住宅新築工事において、躯体西側の足場上で外壁材取り付け作業を担当していた作業員が、地上で倒れている状態で発見され、病院に搬送されたが死亡したもの。目撃者はおらず、正確な原因は不明であるが、足場作業床（地上から1層または2層目）から、地上まで約3～5m墜落したものと推定される。	030202	1	1～ 9
2022	8	10 ～ 12	小学校1階の職員トイレの男女の境界壁の解体作業において、高さ1.5メートルのステージを設けて、ステージ上でブレイカーを用いて壁の破碎作業を行っていたところ、被災者はステージ上に倒れこみ、壁と反対側からコンクリートの床に転落し死亡したもの。被災者は違法な派遣労働者として派遣されていた。	030309	1	10 ～ 29
2022	8	8 ～ 10	被災者は、建造中の船舶のエンジンルームにおいて、仮設のつり足場の解体作業を行っていたところ、足元の足場板等の一部が斜め下方向に宙づりとなった。被災者は、宙づりになった足場板等を拾い上げようとして、宙づりになっていないつり足場の端部から誤って墜落した。	011501	1	1～ 9
2022	8	12 ～ 14	店舗改修工事の天井の電灯の配線替えのため脚立足場（作業床高さ1.76m）に乗り、電灯の取付作業をしていたところ、背中から墜落し、腰及び頭部が床面に激突し、この怪我により死亡した。被災者は、被災時に墜落時保護用ヘルメットを着用していた。	030203	1	10 ～ 29
2022	8	10 ～	木造二階建て住宅の外壁及び軒天の塗装工事において、被災者は一側足場に上がり二階の窓の養生作業を行っていたところ、一側足場上から約4.6m下のアスファルト地面に墜落し死亡した（推定）。被災状況を見ていた者はおらず、同僚がアスファルト地面に倒れていた被災者を発	030202	1	1～ 9

		12	見したものの。なお、被災者は安全帯を着用していたが、使用していなかった。			
2022	9	10	外壁から出た配管の機密を保つため密封していた箇所（高さ3.31m）を切断して配管を継ぐため、当該配管の下にある自動販売機の雨除けの骨組み（高さ2.54m）と、八寸の脚立との間に渡した杉板（幅10.5cm、長さ2mの杉板を2枚並べたもの。脚立に固定していない。）の上で作業していたところ、切断した配管の内部がおよそ2.5気圧に加圧されており、噴き出した空気に吹き飛ばされて地面に墜落した。	030302	1	1～9
2022	11	8	鉄骨造地上20階建て商業ビルの新築工事において、被災者が14階部の柱付近に設けられたステージ（床面から作業床までの高さ3.85メートル）に乗り、要求性能墜落制止用器具を使用し鉄骨の補強材の溶接作業を行っていたところ、何らかの理由でステージから墜落し、要求性能墜落制止用器具によって宙づりになり、その後、救出までの時間に意識を失い、死亡したものの。	030201	1	1～9
2022	11	14	事業主と被災者の2名で2階建て住宅の雨どい交換等工事で、事業主が足場上で雨どいを取り外し、被災者が取り外した雨どいを地上で受け取る分担で作業をしていたところ、被災者が躯体南東角の外周足場と躯体	030202	1	1～9
		16	の間隙部に墜落し、頭部を打ったもの。なお事故時、保護帽及び墜落制止用器具の着用はなかった。			
2022	12	14	外壁改修工事において、北面の6段目のシート張り完了後、7段目の組立て中、7段目の作業床から約1.1m墜落したものの。7段目に設置した	030209	1	1～9
		16	親綱を腰よりも高い位置に盛り替える前に墜落した。			
2021	4	10	ガスホルダーを解体するためクライマー（移動昇降式足場）を設置するに当たり、ガスホルダーの歩廊の一部をガス溶断する必要があり、被災者はクライマーのデッキ上（地上26.5m）で歩廊撤去に伴う火気養生作業を行っていたところ、デッキの手すりのない箇所から、地上1	30209	1	10～29
		12				

			5. 2 mの第一歩廊上に墜落したものの。療養していたが、入院先の病院で死亡したものの。			
2021	5	10 ～ 12	体育館アリーナ内に設けられた棚足場上において、天井部分の建築部材等の解体及び廃材の搬出作業を行っていたところ、被災者は棚足場の床に開けてあった開口部（廃材を地上に投げ落とすために床付き布枠2枚を取り外してできた開口部）から約1.3 m下のコンクリート地盤に墜落し、死亡した。	30201	1	30 ～ 49
2021	5	12 ～ 14	被災者は足場上で足場の解体作業を行っていた。被災時に解体していたのは足場本体から張り出したブラケット部に設置された足場板で、被災者は番線固定された足場板を取り外すため番線を切断した。その後、被災者は立ち位置を変えたが、足を置いた場所は自身が直前に番線を切断した足場板の端であったため、何ら固定されていない足場板は天秤状態となり、被災者は9 m下まで墜落し死亡した。墜落時保護帽、墜落制止用器具装備。	30302	1	1～ 9
2021	5	12 ～ 14	被災者は、高さ1.9メートルの足場上で、木造平屋建の建物の壁の下地となる間柱を取付ける作業を行っていたところ、土間に墜落したものの。保護帽、安全帯は着用していなかった。	30202	1	1～ 9
2021	6	8 ～ 10	住宅の屋根及び外壁塗装工事現場で、地面に倒れている被災者が発見されたもの。被災者は一人で外壁の塗装作業に従事しており、ブラケット一側足場の3層目から墜落したものである。足場には手すりが設置されていたが中さんはなく、また、被災者は保護帽及び墜落制止用器具を使用していなかった。	30209	1	1～ 9
2021	6	10 ～ 12	現場責任者で足場の組立て等作業主任者である被災者が、工事で使用したくさび緊結式足場の最上層（3層目）部分の解体作業を行っていたところ、足場の作業床から約7メートル下の地面に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
		8	コンクリートケーソンに引っかけた足場において、型枠材を固定する作業などを3名で行っていた。1名（作業員A）はケーソン上部で作業し、2名は足場上で型枠を固定していたところ、足場が倒壊し海上に落			10

2021	6	～	下した。足場上で作業していた2名のうち1名は足場とともに海中に沈み溺死した。もう1名（作業員B）は隣接した型枠足場に飛び移り被災しなかった。ケーソン上部で作業していた作業員Aは海上に墜落したが救出された。	30199	10	～	29
2021	7	12 ～ 14	4階建てマンション屋根の庇の交換等の自社直営工事で、南面に足場（幅約11m×最上層高さ約15mの一侧足場）を組立中、足場部材の中間受け渡しを担当する被災者は、高さ約2.8mの1層目単管抱き足場から、高さ約4.8mの2層目単管ブラケット足場によじ登る途中で、バランスを崩して墜落した。第2・3頸椎骨折、頸髄損傷、意識不明で入院中に死亡した。	30201	1	1～	9
2021	7	10 ～ 12	被災者は、浄水場内に設置された高速凝集沈殿装置の補修工事（支柱の腐食箇所補強）を行うため、設置した足場上で作業を行っていた。足場上に立っていた被災者へ同僚が声をかけたところ反応がなく、突然膝から崩れ、当該足場から約8m下の沈殿槽底部へ墜落し死亡した。	30209	1	10	～ 29
2021	7	14 ～ 16	外部枠組足場の組立作業を2スパン×3層分をブロックとして地上で組立てラフタークレーンで吊上げる大組工法により行っていたときに、ブロックとブロック間の布板だけとなっていた1スパンの布板上で、ブロックに載せて一緒に吊上げた控え単管パイプを取り出そうとした被災者が、単管パイプとともに2階型枠スラブ上まで約5.7m墜落した。被災者は直後より入院治療を行っていたが、数か月後に容態が急変し死亡した。	30201	1	1～	9
2021	8	14 ～ 16	現場代理人が、ブルーシートの設置のため、被災者及び一次下請の労働者に対して骨材タンクの屋上に登るように指示を行い、現場代理人を含む3名が、足場、架設通路を利用し骨材タンクの屋上に登ることになった。現場代理人が足場から屋上に移動し、被災者も続いて屋上に移動しようとしたところ、足場と躯体の間にあった開口部（縦87cm、横56cm）から、約11m下の地面まで墜落し死亡した。	30309	1	1～	9
		8	マンションの外壁修繕工事現場において、当該足場の7層目（高さ約1				

2021	9	～	10	2. 6 m) にて足場部材の解体作業を行っていた被災者が、何らかの原因で墜落したものの。	30209	1	1～9
2021	10	～	12	木造2階建て住宅の屋根及び外壁の塗装工事現場において、被災者は屋根塗装作業中、高さ約3. 7メートルの足場外側に墜落し、死亡したものの。	30209	1	1～9
2021	10	～	16	介護老人保健施設1階の軒天井を改修するために設けられた足場の高さ1. 87メートルの作業床上もしくは、足場の昇降設備上から、コンクリート地面に被災者が墜落したものの。その後、被災者は、脳挫傷により死亡した。なお、災害発生直前における被災者の作業状況等を見ていた者はいなかった。	30202	1	1～9
2020	1	～	12	マンション外壁改修工事現場において、足場解体作業中に高さ約18メートルの足場上から墜落したものの。	30201	1	10～29
2020	2	～	10	工場内で、起動装置製作作業用足場の組立・解体作業を請け負っていた元方事業場の現場責任者である被災者が、組み立て作業中の足場1層目(高さ195cm)の作業床未設置の開口部(85cm×116cm)から墜落し、死亡したものの。	30309	1	10～29
2020	2	～	16	工場敷地内の樹木を伐倒するため、足場(幅1. 8m、高さ3. 6m)を組み立て、第二層目(地面から高さ約2. 3m)の作業床上で作業を行っている時、バランスを崩し作業床から約4. 5m下の用水路へ墜落したと推定される。	30209	1	1～9
2020	2	～	16	ドックに停留中の船内に組み立てた吊り足場について、解体作業に従事していた被災者が、作業床に乗った状態で、足場を吊っている鋼材(通称:たんざく)の固定ボルト等を緩めたところ、当該足場が45度傾き、地上約15メートルの高さから墜落し、地面に激突した。	11501	1	1～9
2020	3	～	10	RC9階建てマンションの大規模修繕工事において組み立てた鋼管くさび緊結式足場の北面部分(高さ27m)(最高部の作業床は15段目)	30201	1	1～

		12	を解体していた被災者が、12段目の作業床から手すり1本とともに墜落した。				9
2020	4	8 ～ 10	工事用エレベーターを設置するため、既設のくさび緊結式足場の一部を解体する作業中、足場と躯体の隙間から地階まで約20メートル墜落した。	30201	1		1～ 9
2020	6	10 ～ 12	被災者は、マンションの西面に設置されたくさび緊結式本足場において、メッシュシートの取り外し作業中、足場床面と手すり（足場床面から高さ90cm）との間から、3.71m下の地面に墜落したものである。	30209	1		1～ 9
2020	6	10 ～ 12	被災者は、地面からの高さが18メートルの足場のステージを組立作業に従事していた。ステージは鋼製の根太の上に足場板を乗せた状態で、番線で足場板は固定していなかった。被災者はステージ端部で固定されていない足場板の上で、天秤状態になり、足場板と一緒に地上へ墜落したものである。被災時、手すりや親綱は設置されておらず、墜落防止措置が行われていなかった。被災者は墜落後ただちに病院へ搬送されたが死亡。	30209	1		1～ 9
2020	6	8 ～ 10	新築工事現場14階において、工事用エレベーターを13階から15階までクライミングする作業の準備作業を行っていた被災者が、15階エレベーターピット開口部に設置してあった墜落防止用ネットを取り外すため、エレベーターの搬器上部手すりに設定されていたブラケット足場に上がろうと足をかけたところ、足場が外れ、約60メートル下の地下1階エレベーターピットに墜落したものの。	30209	1		30 ～ 49
2020	7	8 ～ 10	解体工事に伴う養生足場を撤去するため、被災者が同足場の7層目の作業床で作業をしていたところ、同作業床から地上（高さ約12メートル）に墜落して死亡したものの。	30201	1		1～ 9
		10	RC造10階建て集合住宅の改修工事現場において、建物の外壁に沿って足場を組み立てていたところ、被災者は当該足場3層目床面の妻側より5.8m下方の地上に墜落したものの。組立中の足場は、くさび緊結式				1～

2020	7	～ 12	の手すり先行足場であり、被災者は幅75cmの床上でフルハーネス型の要求性能墜落制止用器具（2丁掛け）を着用し作業に従事していたが、当該器具のフックを足場に取り付けていなかった。	30201	1	9
2020	8	10 ～ 12	RC造11階建共同住宅の新築工事において、躯体北面に設置されていた枠組足場を解体中、被災者は当該足場の10層目で、解体された足場部材を地面に降ろすため、下層にいる作業者に手渡す際に、誤って足場から地面まで、約17メートル墜落した。救急搬送先の病院で死亡が確認されたもの。フルハーネス型墜落制止用器具を着用していたが、そのフックを10層目に張られていた親綱にかけていなかった。	30201	1	10 ～ 29
2020	8	14 ～ 16	被災者は、パレットに積み上げられた産業廃棄物である木製板を破碎するため、当該木製板をフォークリフトにより高さ3mほど上げ、破碎機の横に設置した高さ3.5mの足場の上から投入していたところ、当該破碎機の中に転落したもの。	150102	1	1～ 9
2020	9	8 ～ 10	木造2階建て家屋の新築工事において、同僚と2名で外部足場（地上から高さ4.8mの箇所）にて外装板を取り付け作業中、足場と躯体との間から墜落し死亡した。	30202	1	1～ 9
2020	9	14 ～ 16	外壁補修工事において、高さ約3メートルの脚立足場上で、被災者は外壁材の張替を行っていた際に脚立足場から墜落した。当該脚立足場は、脚立を2つ並べ、脚立の天板上に固定せずに足場板を2枚乗せた状態で使用しており、手すり等の設置、要求性能墜落制止用器具の使用はなかった。	30202	1	1～ 9
2020	9	8 ～ 10	工事場所において、被災者は壁高欄の仕上作業にともない足場の変更作業を行っていた。災害発生時、被災者は他の労働者とともに足場板を番線で固定する作業を行っていたところ、被災者の乗った足場板が外れ墜落した。救急搬送されたが昼に死亡が確認された。足場上から墜落した地上までの高さは約7mであった。	30105	1	10 ～ 29
			宗教施設躯体改修工事において、バルコニー部分の鉄骨組立作業を行う			



2020	9	10 ～ 12	ため、楔緊結式一側足場から躯体側へ鉄骨の搬入を行い、被災者以外の労働者が躯体側に移り、鉄骨組立作業を行っていたところ、担当作業がなく足場に残っていた被災者が高さ3 m以上の足場板から墜落し、頭蓋内損傷により翌日死亡した。墜落の瞬間の目撃者はいないが、手すりがない躯体との隙間又は中さんのない手すりの下から落ちたと推測。	30201	1	1～ 9
2020	11	10 ～ 12	被災者は、コンクリート擁壁（高さ3 m、延長16 m）の型枠に設置されていた張出し足場の組み替え作業に従事していたところ、足場板から1.5 m下の地面に倒れているところを発見されたもの。保護帽は着用していたが、発見時には脱げた状態であった。なお、検死の結果、死因は外傷性頸髄損傷であった。	30106	1	1～ 9
2020	11	16 ～ 18	共同住宅の新築工事現場に設置された一側足場において、被災者は躯体の外壁にある穴にモルタルを詰める作業を行っていたところ、足場から墜落して死亡したもの。なお、現場内に被災者の墜落制止用器具が持ち込まれていたものの、作業時に使用していなかった。	30201	1	1～ 9
2019	2	14 ～ 16	6階建ての建物のルーフバルコニーの屋上において、被災者ほか2名で、屋上の周囲に設けられていたフェンスの台風により内側に傾いた部分の補正作業中、被災者は、フェンスの外に出て、中庭に設置された高さ約17 mのクサビ式足場上でフェンスを垂直になるよう外側から支える工程を終え、足場の手すりに寄りかかって座り込んだところ、手すり と作業床の隙間から、後ろ向きに墜落し、死亡したものである。	30209	1	1～ 9
2019	2	8 ～ 10	被災者は、高さ4.8 mの防潮堤の上に設置された仮設足場に乗り、防潮堤内部に打設された天端仕上げ作業の準備中、強風により当該足場と共に墜落した。その後、病院に搬送されたが死亡が確認された。	30111	1	1～ 9
2019	2	10 ～ 12	ホテル新築工事の現場4階西面において、被災者が外部足場（一側足場）の6層目に立ち、型枠の建込作業を行っていたところ、何らかの拍子に足場外側に張られていたメッシュシートを突き抜けて足場外側の地面まで落下した。その際に頭部を強く打って出血しており、病院に搬送されたが、2日後に死亡が確認されたもの。	30201	1	1～ 9

2019	2	14 ～ 16	災害場所の人孔内に設置された枠組足場を解体中、移動式クレーンを用いて単管パイプ（5本）を荷揚げしていたところ、当該単管パイプが荷崩れを起こして落下、その落下した単管パイプが被災者に当たったかは不明であるが、枠組足場上にいた被災者が約20メートル下に墜落したものの。	30110	1	10 ～ 29
2019	3	12 ～ 14	被災者は基礎コンクリート打設工事において、ベース型枠に入った生コンクリートの天端を金コテを使って均すため、鉄筋足場の中段（高さ約3メートル）からベース上部に渡ろうとしたところ、誤って墜落し、掘削床面に頭部を強打した。被災者は急性硬膜下血腫により死亡した。	30201	1	1～ 9
2019	3	10 ～ 12	被災者は、高さ273cm、長さ378cm、幅23.5cmのうま足場上で、農業倉庫のシャッター修理作業中、墜落した。	30203	1	1～ 9
2019	3	10 ～ 12	木造保育園の増改築工事現場において、工事の障害となっている電線の状態を外部足場の単管にまたがって確認していたところ、バランスを崩して4.6m下のコンクリート面に墜落したものの。	30202	1	1～ 9
2019	3	16 ～ 18	木造戸建住宅新築工事現場において、足場業者の労働者である被災者が、一側足場を組み立て終了後、足場の4層目（高さ約8m）で足場周囲のネットを留めていたところ、墜落したものの。救急搬送後、搬送先の病院で死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2019	4	8 ～ 10	集合住宅の解体工事現場において、被災者が足場の最上層（8層目）で解体作業を行っていたところ、当該箇所から14メートル下の地上に墜落して死亡した。災害発生時、被災者は墜落制止用器具の取付け設備である親綱に墜落制止用器具を取付けていなかったものである。	30201	1	1～ 9
2019	5	12 ～ 14	災害時、作業員2名で工場の樋の改修を行ってところ、被災者が鋼管足場の3段目の作業床上（高さ約5m）で、3分割に切断した縦樋の上部を取り外し、地上の同僚に手渡した後、地上の同僚が縦樋を所定位置に運んでいる際に、突然、被災者が地上に墜落した。被災者は被災後、搬送先の医療機関にて死亡した。墜落の瞬間の目撃者はいないが、被災者	30209	1	1～ 9

			は作業上、2段目の作業床に移動する予定であった。			
2019	5	14 ～ 16	高さ約4メートルの足場上で階上の機器の架台補強工事で使用した養生シートの片づけ作業中、足場から床面へ下りようと移動中に足を滑らせて転落し、頸椎骨折により死亡したものの。	30302	1	1～ 9
2019	5	14 ～ 16	橋脚の改修工事において、吊り足場の作業床の撤去作業をしている際に、作業床から4.5m下の河川に墜落したのち溺死したものの。	30105	1	1～ 9
2019	6	14 ～ 16	基地内においてラジオアンテナ塗替作業用足場を解体し、ウィンチを使って足場部材を降ろそうと、被災者が高さ約40mの個所でワイヤーロープ用シーブを取り付けたブラケットの向きを変えようとした際、ブラケットを取り付けた門型枠の1層下の北側接合部が外れ、被災者が乗った足場が吊り荷(約160kg)側に傾き、当該門型枠に安全帯のフックを取り付けていた被災者が足場とともに地上に墜落したものの。	30203	1	1～ 9
2019	6	12 ～ 14	被災者はバイオガスプラントの新設工事現場において、同僚3名と共に木造の固形物乾燥室の柱と梁の建方作業に従事していた。同僚が被災者が一側足場の1層目(高さ2.17m)を歩行しているのを見かけたあと、大きな音がしたので確認したところ、被災者が顔面から出血して足場下のコンクリート床に倒れており、搬送先の病院で3日後に死亡したものの。なお、保護帽は着用しており、墜落制止用器具は未使用であった。	30201	1	1～ 9
2019	7	8 ～ 10	地上高さ6.81mの木造2階建て住宅の屋根に上り、瓦等の点検補修作業を行った後、住宅外周に設置したくさび式足場の建地となる支柱をつたって地上へ下りる途中で足を踏み外し、地上高さ3.48mの箇所から墜落したものである。	30209	1	1～ 9
2019	7	12 ～ 14	民間住宅改修工事現場において、2階窓の雨戸取り付け作業中、わく組足場の高さ約5.6メートルから墜落したものの。	30201	1	1～ 9

2019	8	14	ホールの吊天井耐震化工事現場において、ホール内に棚足場を設置する のに、最上層の作業床として足場板を敷き詰める工程で、被災者がフロ アーから高さ9.8メートルの作業床上で、下方から足場板を受け取る 作業をしていたところ、作業床の開口部からフロアーに墜落して死亡し た。	30209	1	10 ～ 29
2019	9	10	被災者は、午前の休憩時間に、体育館天井等落下防止対策工事のため設 置された内部足場を巡視中、荷卸しのため内部足場に設けられた開口部 (手すり等なし)から約20m下のホール床面まで墜落したところを、 12 休憩時間終了後に現場作業員に発見され、被災当日に死亡が確認された もの。	30201	1	1～ 9
2019	10	8	被災者は、2階建て個人住宅外壁塗装作業のため設置された丸太足場 (抱き足場)上で作業を行っていたところ、足場設置箇所から約1.8 メートル下方となる階段下通路に墜落した。なお、被災者が作業してい たと思われる箇所の高さは足場設置箇所から2.3メートル、墜落箇所 から約4.1メートルであった。	30202	1	1～ 9
2019	11	10	鉄骨建屋の建築工事で、胴縁のタッチアップ塗装のため、被災者は外周 足場4層目(地上高さ7.33メートル)において鉄骨に塗料を刷毛で 12 手塗りしていたが、足場の階段開口部付近から墜落し、階段外側に設置 されていた手すりを越えて、地上まで落下したもの。	30201	1	1～ 9
2019	11	10	4階建てマンションの改修工事(塗装)において休憩を取るため足場を 移動中に何らかの原因によりバランスを崩したのか、外部側へ転落し隣 地との境界フェンス(高さ218cm)上の防犯用忍び返しに胴部分が 12 刺さり死亡したもの。墜落箇所については目撃者がいないため不明。	30309	1	1～ 9
2019	11	2	被災者は、橋梁アーチ部の塗装工事のために使用していた吊足場の解体 作業中、高さ約7m地点の作業床から墜落した。	30209	1	1～ 9
		14	木造2階建て住宅の改修(塗装塗り替え、屋根補修等)工事現場におい て、屋根瓦のしっくい塗り替え工事作業中、高さ5mの足場から転落し			1～

2019	11	～ 16	たもの。墜落の現場を見た者はいないが、屋根においてあったものを取ろうとして手すりに乗ったところ転落したものと推定される。	30202	1	9
2018	1	14 ～ 15	S造2階建て建屋の建築工事における建屋鉄骨組立て作業を行っていた際、主だった鉄骨の組立てが完了し、外部足場を使用して各部分のボルト締め作業を行っていたところ、地上で雑作業を行っていた作業者が後方で大きな音がしたため振り返ったところ土間に横向きの状態で倒れている被災者を発見した。直ちに消防に通報し病院に搬送したが意識不明の状態が続き、死亡したもの。	30201	1	1～ 9
2018	1	8 ～ 9	マンション吹抜け部外壁塗装の準備作業のため、外部足場を使用し、ガムテープにて6階部分のマスキング作業を行っていたが、6階の作業を終え、足場の外をつたって5階へ移動する際に墜落したと推測される。	30309	1	1～ 9
2018	2	14 ～ 15	ケミカルタンカー内に設置する鋼製仕切りの溶接作業の状況を確認するため、被災者が足場最上段に登ったところ、手すりの無い箇所（高さ約10m）から墜落したもの。災害発生時、足場最上部では他の労働者3名が溶接作業を行っていた。（被災者の経験期間未確認。）	11501	1	30 ～ 49
2018	2	10 ～ 11	8階建てRC造建築物の外壁改修工事において、足場上で労働者6名で手渡しにより、足場部材（鋼製布板及び単管等）の荷揚げ作業中、足場用墜落防止設備を外していた足場開口部（高さ15.3m）から地面に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2018	2	10 ～ 11	鉄骨造3階建てビルの外壁に設置されたシート状の店舗看板を撤去する工事現場において、被災者は店舗看板を支持している単管に木製足場板を架け、当該足場上でビル屋根上の事業主が切断した単管を受け渡す作業をしていた際、バランスを崩しシート状の店舗看板を突き破り地上まで約9m墜落した。	30209	1	1～ 9
2018	2	16 ～	被災者は、ホール内の既設吊天井の落下防止対策として、当該天井下に落下防止ネットを取り付ける作業中、ホール後部の壁面に沿って張ったワイヤーロープにネットを固定するため、ブラケット足場に乘って上向	30209	1	1～

		17	き姿勢で横方向に移動しながら作業を行っていた時、ブラケット足場とホールの壁との間にできた開口部から6. 2メートル下の客席に墜落した。			9
2018	2	14 ～ 15	3階建建物の外壁補修工事において、外部足場（一側足場）と建物躯体の一部に足を乗せて既存の外壁コーキング材の撤去作業を行っていた作業員が、メッシュシートの際間から敷地外の隣家まで墜落したもの（墜落高さ約2メートル12センチメートル）。	30201	1	1～ 9
2018	2	8 ～ 9	2階建て一般住宅の塗装工事のため設置したくさび緊結式の一側足場を解体するため、作業員3名が各々の場所で足場外面に張られたメッシュシートを剥がしていた。建屋北西面から異音がしたことから作業員2名が駆けつけたところ、隣接アパートの敷地に倒れている被災者を発見したもの。保護帽は被災者の周囲に転がっており、安全帯は着用していなかった。	30209	1	10 ～ 29
2018	4	16 ～ 17	風屋ダム取水口ゲートでつり足場の撤去作業中に階段枠を取り外したところ、バランスを崩し、取り外した階段枠とともに、約2. 3m下の水面へ墜落した。被災者は、水面より約16m下の位置で発見され、引き上げられたが、搬送先で死亡した。被災当時、保護帽、安全帯、安全靴、革手を着用していたが、ライフジャケットは着用していなかった。	30101	1	1～ 9
2018	5	10 ～ 11	S造3階建アパート新築現場（施主が元請）において、屋上パラペットのコンクリート打設作業のために一時的に取り外していた足場最上階の手すりを同僚1名と復旧しようとしていたところ、当該手すりを取り外してあった箇所より9. 5m下の地上に墜落した。被災者は病院に搬送されたが、後日死亡した。	30209	1	1～ 9
2018	5	16 ～ 17	焼却施設の解体工事において、4次下請の鳶工2名が煙突上部周辺（地上から高さ16. 4mの位置）で足場の防音シート張り及び開口部に敷き詰めていた木製足場板の撤去作業を行っていたところ、木製足場板の撤去を行っていた労働者が足場と煙突躯体の間に墜落した（墜落の高さ：16. 4m）。同僚からは死角となっていたため、墜落した瞬間を	30209	1	1～ 9

			目撃した者はいない。			
2018	6	2 ～ 3	労働者が、レール上に設置したトロリー台車上に組立てられた足場の作業床から、安全ブロック及びハーネス型安全帯使用の上、当該足場外部に設けられたステップを伝って降りようとした際、当該労働者が足を滑らせたところ足場自体が転倒し、当該足場の下敷きとなった。なお、災害発生時、下請事業場の代表者が当該足場上に乗っており、足場倒壊と同時に墜落した（打撲のみ、治療なし）。	30105	5	50 ～ 99
2018	6	12 ～ 13	3階建木造家屋新築工事に伴う先行足場（くさび緊結式・一側）の組立作業において、最上段の手すり（高さ7.2m）取付けるため、その下の手すり（高さ6.3m）に足を乗せ建地に掴まり身体を保持する姿勢で取付け終えた後、当該箇所から墜落し、頭部等を打撲し死亡したものの。	30202	1	1～ 9
2018	6	8 ～ 9	橋補修工事において、吊り足場設置作業を行うに当たり、吊りカーンに吊りチェーンを取付ける作業のため、2点掛けの安全帯を使用し、単管に渡した足場板上を移動中、2点掛けのうち一つのフックを掛け替えようとしたところ、もう一つのフックを掛けていた吊りカーンが抜け、約16.5メートルの高さから作業員が墜落したものの。	30105	1	1～ 9
2018	8	12 ～ 13	地上約10mのつり足場上で、同足場の解体作業を行っていた被災者が、上さんの取り外しを行うために下さんに昇って作業をしていたところ、既に片方のクランプ及びチェーン控えを取り外していたため、もう片方の手すり建地が外側に回転し被災者が投げ出され、約10m下の敷鉄板上に落下したものと推定。落下の際、被災者はハーネス型安全帯を装備していたものの、足場上に張られた親綱にはフックを掛けていなかったものと推定。	30105	1	30 ～ 49
2018	9	10 ～ 11	空き家修理工事において、2階建て家屋の南側壁面窓の手すり（1階部分）のさび落とし後に、墜落し死亡した。墜落時には現場に誰もおらず、墜落状況は不明である。	30202	1	1～ 9
			橋梁上部補修工事のため設置された吊足場の解体中、足場から転落した			

2018	9	10 ～ 11	もの。被災者は足場から約12m鉛直下の川に墜落し、一時所在不明であったが、2日後、下流600m、東岸にて溺死した被災者が発見されたもの。	30105	1	10 ～ 29
2018	10	10 ～ 11	被災者を含む4名で枠組足場の解体作業を行っていた。被災者は、枠組足場の10段目で交差筋かいと下さん等を取り外し、スリングロープで束ねる作業に従事していたところ、墜落し、約17.4m下のアスファルト路面に激突し、搬送先の病院で死亡した。足場には親綱が設置されており、被災者は墜落制止用器具（胴ベルト型一本つり用安全帯）を着用していた。	30209	1	1～ 9
2018	10	10 ～ 11	足場の組立作業中、足場材の運搬を行っていた被災者が足場の8層目（高さ約15m）から墜落した。	30309	1	1～ 9
2018	10	16 ～ 17	被災者は、造船所構内のドッグで建造中のタンカー内において、船体のデッキの組み立てを行うための吊り足場を架設作業中、高さ17.7mの船底に墜落し、同日死亡した。	11501	1	30 ～ 49
2018	10	18 ～ 19	被災者は、個人邸台風災害復旧工事において、高さ5.17mの鋼管枠組足場の上で、足場の解体作業を行っていたところ、同所より墜落したものと推察される。被災者は、安全帯の着用無く、単独で作業を行っていたものである。	30202	1	1～ 9
2018	11	14 ～ 15	被災者は、当該工事において、地面からの高さ1.5mの側足場（作業床の幅0.25m）の上で左官作業を行っていたが、地面から1.5m下の川岸の段差に墜落し、更にその1.9m下の川に墜落して、頭部に挫傷を負った。救急病院に搬送されたが、同日死亡した。当該店舗は川沿いに建っているが、川側の敷地が狭く、幅が0.4m～1.4mしかなかった。足場に手すりがあり、被災者は、保護帽を着用していた。	30202	1	1～ 9
2018	11	12	被災者はブラケット足場上で、換気扇の取替え作業に伴う換気口清掃作業を行っていたものであるが、作業中に足場から墜落し、約17.3	30209	1	1～ 9



		13	メートル落下し、死亡したものである。			
2018	11	12 ～ 13	建築現場にて、地上からの高さ約3.1mのくさび式足場材で構成した 一側ブラケット足場のブラケット（幅約40cmの作業床（布板））の 上で躯体ベランダのペンキ塗装作業中、当該足場上で横たわるようにし て倒れていたことが確認された後、地上からの高さ約0.8mのウッド デッキへ墜落し、さらに反動で地上へ墜落したものの。	30202	1	1～ 9
2018	12	16 ～ 17	木造2階建て一般家屋の屋根補修のための昇降用くさび緊結式単管足場 を被災者が一人で組み立てていたところ、足場の2層目（高さ約3.6 メートル）付近から地上（コンクリート製の通路面）に墜落した。	30202	1	1～ 9
2017	1	12 ～ 13	災害発生地において、南面単管ブラケット足場の解体作業中、4層目 （地上から約7メートル）から3層目（約5.3メートル）へ建地に 沿って降りようとしたところ、足を滑らせ墜落し死亡した。	30201	1	1～ 9
2017	1	10 ～ 11	新ドック建設工事に伴うポンプ室の防水塗装工事が完了し、被災者は足 場材料の片付け及び足場板上で玉掛作業に従事していた。その後、被災 者が見えなくなったので探していたところ、地下2階の床面に倒れてい るのを発見し、直ちに病院に搬送したが死亡した。	30309	1	1～ 9
2017	2	8 ～ 9	玉ねぎ乾燥施設の建設工事現場において、被災者が建屋内部に設置した 8つのローリングタワーのうち、2つのローリングタワーの間に3枚の 鋼製の作業床を架け渡して作業床を敷き詰める作業を行っていたとこ ろ、高さ約5mの作業場所から墜落し、病院へ搬送されたが死亡した。 被災者は保護帽を着用していたが、安全帯は着用していなかった。	30201	1	10 ～ 29
2017	2	16 ～ 17	一般住宅外壁塗装工事において、養生のため一側足場上で単独作業を 行っていた被災者が、現場前の道路上に倒れているところを通行人が発 見した。被災者はヘルメット、安全帯を着用していなかった。	30209	1	1～ 9
2017	4	8 ～	木造2階建てマンションの新築工事中、外壁造作のため地上から約3. 8メートルの高さにある作業床（足場）上で作業していた被災者が持ち 場を離れた場所（2～4メートル）の作業床外側から約3.8メートル 下の地面にうつ伏せで倒れているのを同僚労働者が発見した。足場は一	30202	1	1～ 9

		9	側足場であり、作業床の外側には作業床から0.95メートルの高さに手すりが設けられていた。			
2017	4	8 ～ 9	木造2階建て住宅の改修工事現場において、2階部分の屋根東側の雨樋を塗装していた被災者が一側足場に設置された高さ0.9mの手すりを越えて4.3m下の地面に墜落した。災害発生の目撃者はおらず、通行人が墜落して倒れている被災者を発見した。	30202	1	1～ 9
2017	4	12 ～ 13	元請として施工する新築工事において、被災者は派遣労働者として当該店社に派遣され、施工管理を行うため当該現場で研修中、午後1時15分頃「ドン」という音が聞こえ、足場と躯体との間の地面に被災者が倒れていた。直ちに救急搬送され、入院加療していたが、死亡した。	30201	1	1～ 9
2017	5	10 ～ 11	11階建マンションの大規模修繕工事において、外壁周囲に設置されていた枠組足場（一部単管ブラケット足場）の解体作業中、被災者はブレス、別の作業員が取り外された足場板上（地上から10段目 地上からの高さ15.7メートル 建物6階付近）において作業中、地上に墜落し死亡した。	30209	1	1～ 9
2017	6	10 ～ 11	被災者は、火災によりクラブホール天井に付着したすすの除去作業の仕上げとして、当該箇所に脱臭用の薬剤を噴霧するため、作業足場（全12層）の9層目（高さ約14m）で作業していたが、その後、被災者が作業していた方向から何かが落ちる音が聞こえ、現場監督が駆けつけたところ、被災者が1階床で倒れているところが発見された。発見時に被災者は安全帯を着用していたが、不使用だった。	30309	1	30 ～ 49
2017	6	10 ～ 11	被災者が、屋根改修工事現場において、2階の屋根の端にある破風板の取替え作業を行っていたところ、地上から高さ351cmにある足場2段目の作業床から地上に墜落し、死亡した。	30202	1	1～ 9
2017	7	16 ～	エレベーター改修工事に係る既存エレベーター撤去作業中において、エレベーター搬器を固定した16階付近で、搬器の床上に設置した枠組足場1層の作業床上に乗り作業をしていた被災者が、当該箇所から、昇降路	30203	1	1～ 9

		17	壁と搬器間の開口部を介して、約7.8m下の昇降路ピットまで墜落し、死亡した。			
2017	7	14 ～ 15	自動車道の橋での橋梁補修工事に伴い、設置してあったつり足場の解体作業中、足場用つりチェーンのクランプが外れ足場板が傾いた時に足場上から墜落して約3.3m下の地面に激突し、頭部を強打し死亡した。	30105	1	1～ 9
2017	8	14 ～ 15	新築工事現場での作業中、地上約3mの所で柱の金物を打とうとしたところ足場のつなぎ目が折れて墜落し、右大腿骨・骨盤・胸椎を骨折した。その後、多臓器不全により死亡した。	30202	1	1～ 9
2017	8	16 ～ 17	被災者は、地上高さ約1.8メートルにおいて型枠足場を組み立て中に、肩に重さ1.8キロの調整枠2本を担いで、足場を移動中に足場に置いていたブラケットに、調整枠の一部が接触し、その反動により身体のバランスを崩して墜落した。現場には親綱の設置がされていたが、被災者は安全帯を着用はしていたが、使用していなかった。	30201	1	30 ～ 49
2017	8	10 ～ 11	RC造地上3階建新築工事現場において、屋上部の排水溝のモルタル補修作業を行うため、外部足場最上層（7層目）で着用していた安全帯を使用せず、外面側の筋交の一部を取り外し、ウインチを用いて、練ったモルタルが入ったバケツを巻き上げ中、12.7m下の地面に墜落し被災した。	30209	1	1～ 9
2017	9	10 ～ 11	2階建て木造建築の新築工事において、先行足場による足場の組み立て作業で、飛散防止用のメッシュシートを張る作業を行っていたところ、被災者が足場3層目から墜落し、死亡した。	30202	1	1～ 9
2017	9	12 ～ 13	工場建屋2階搬入口からフォークリフトを搬入するための搬入台の設置作業を行っていたところ、何らかの原因により搬入台2層目から墜落し、搬入台の根がらみ付近で頭から血を流して倒れているところを発見された。	30209	1	10 ～ 29
2017	9	4 ～ 5	橋梁の吊り足場の解体において、吊りチェーンを外していたところバランスを崩し、2.8mの高さから墜落した。なお、墜落時に安全ネットに掛かるもネットから墜落した。	30105	1	1～ 9

2017	9	10 ～ 11	橋梁修繕工事のために設置していたつり足場の撤去作業のため、つり足場上から集積した足場板を橋梁上の道路に設置した移動式クレーンでつり上げるために、玉掛けを行おうとしたところ、安全帯を掛けていたつり足場の手すり及び集積していた足場板とともに、約20m下の河原に墜落した。	30199	1	1～ 9
2017	9	8 ～ 9	木造2階建ての新築工事現場において、被災者は、足場の作業床（高さ4.72m）で足場の外側にメッシュシートを設置するに当たり、鳩目と鳩目を紐で結ぶ作業中、作業床から建物側に転落し、地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2017	9	14 ～ 15	ビル外壁補修を行う工事現場において、外壁のシーリング工事を行っていた被災者が、足場上の高さ約24.4メートルの地点から足場外周側に張られたメッシュシートを突き破って墜落し死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2017	9	12 ～ 13	体育館吊り天井改修主体工事において、足場の組立作業の補助作業を高さ約15.7mの足場上で行っていたところ、体育館既存の梁に頭をぶつけた際にバランスを崩し、足場から墜落した。	30209	1	1～ 9
2017	10	10 ～ 11	RC造2階建て住宅新築工事現場の型枠設置工事において、外壁せき板の位置を調整するために一側ブラケット足場の高さ5.7メートルの箇所を移動中、足場上に伸びていたせき板固定用のさん木をくぐった際に、手すり下の隙間から足場外側に墜落して地面に頭を強打した。	30201	1	1～ 9
2017	10	12 ～ 13	既設建屋の屋上防水及び外壁塗装工事において、外部足場で物音がしたため、他の労働者が駆け付けたところ、足場5段目に降りる階段上で頭部から出血して倒れている被災者を発見し、搬送先の病院にて死亡が確認された。被災者は保護帽を着用していなかった。被災者は足場最上段（6段目）から下段（5段目）に階段で降りようとしたところ、5段目に転落したものと推定される。	30201	1	1～ 9
2017	10	10 ～	2階建住宅の外壁塗装工事現場において、足場の作業床（下から2層目、高さ約4m）上にてシャッターの塗装作業を行っていた被災労働者	30209	1	1～ 9

		11	が転落した。			
2017	10	14 ～ 15	被災者は、RC造3階建集合住宅の屋上防水及び外壁塗装を行う改修工事のため、外部足場（枠組足場）の組み立て作業に従事していたところ、交差筋かいのない足場3段目から地上まで5.3m墜落した。保護帽の着用あり。安全帯は着用していたが使用していなかった。	30209	1	1～ 9
2017	10	12 ～ 13	高速道路保安全管理工事において、道路高架下に設置してある吊り足場の解体中、足場上で足場板を高所作業車の作業員へ渡す作業を行っていた際、固定されていない足場板に乗ったところ、足場板がころばしに掛かっていなかったため、足場板ごと約6m下の川（水深4～5m）に墜落し水死した。	30199	1	10 ～ 29
2017	11	10 ～ 11	外部足場を解体するため、足場壁つなぎを取り外し、取り外した箇所にタイルを張り、被災者がタイルの紙シートをはがす作業を行っていたところ、くさび緊結式一側足場における幅24センチメートルの足場板上を移動中にバランスを崩し地上まで高さ5.6メートル墜落し死亡した。	30209	1	1～ 9
2017	11	10 ～ 11	高架橋耐震補強工事において、被災者は橋桁側に設置した上部エブラケット周囲のシール作業を行うために、橋脚側に設置した下部エブラケットの上（吊り足場の床板から高さ114cm）に乗っていたところ、別の上部エブラケットを吊り込むために吊り足場の床板及びころばしを取り外した開口部（177cm×243cm）から約16m下の地面まで墜落した。	30105	1	1～ 9
2017	11	14 ～ 15	8階建ビルの震災復旧工事現場において、足場の作業床（下から10層目、高さ約19m）上にて足場の組み立て作業を行っていた被災労働者が転落し、死亡した。	30201	1	1～ 9
2017	12	12 ～ 13	被災者は、二階建て集合住宅の各戸の窓周りのコーキング除去作業において、当該事業場が設置した枠組み足場の2段目の躯体側に、地上から高さ約4mの位置にブラケットを使用し足場板（長さ4m）を設置し作業していたところ、足場板を固定していなかったため、ずれ、傾き、足	30209	1	1～ 9

			場の外側に設置した手すりと作業床の隙間から墜落した。			
2016	3	13 ～ 14	被災者は、RC造4階建共同住宅（1階は店舗）の改修工事において、地上からロール状の防水シートを屋上に上げるために足場に設置したウインチを移設する作業をしていた。物を屋上に引き入れるために足場の手すりを取り外してできた足場外側開口部（幅1.8m、高さ2.25m）からバランスを崩して11.2mの高さより地面に墜落した。	30201	1	1～ 9
2016	3	13 ～ 14	ビル外壁修繕工事現場において、足場解体作業に従事していた被災者が、交差筋交いを取り外して鋼製布板を集積した高さ5.5mの足場作業床上を移動中に墜落した。	30201	1	1～ 9
2016	4	15 ～ 16	労働者2名がタンク周りに設置された木製の足場（高さ約1.7m）上で酒造で用いるタンクの上部に保温用のシートを取り付ける作業を行っていた際、シート固定用のロープを締めていたところ、当該ロープが切れ、ロープを引っ張っていた労働者1名が、勢い余って作業足場上から床面へ墜落した。	10105	1	1～ 9
2016	4	10 ～ 11	木造2階建てのリフォーム工事において、足場の組立作業中、2層目の手すりを取り付けていたところ、約4mの高さから足場外部に墜落した。	30202	1	1～ 9
2016	7	15 ～ 16	被災者は、壁材取り付け工事において足場（高さ約4メートル70センチメートル）から転落し、死亡した。	30202	1	1～ 9
2016	7	16 ～ 17	治山工事において、労働者2名で谷止工の上流側と下流側で型枠解体作業を行っていた。被災者は、一人で上流側のブラケット足場上で型枠の解体作業中、当該ブラケット足場（地上から高さ5.7m）から墜落したと推測される。午後6時頃、下流側で作業していた同僚が、戻りの遅い被災者の確認をした際、地上に倒れている被災者を発見した。	30108	1	10 ～ 29
2016	8	9 ～	ホテルの外壁塗装工事で被災者は外壁の目地をモルタルで埋める作業を行っていた。当該作業は足場を使用しての作業であったが、躯体と足場の隙間が78cm開いており、足場から身を乗り出し、建屋に体を預け	30309	1	1～ 9

		10	作業していたところ、約4.8mの高さから墜落した。			
2016	8	11 ～ 12	被災者は、桝組足場を先行して組み立てる作業に同僚8人とともに朝から従事していた。北面の足場から組立てて4段目の組立てを同僚と2人で 行っていたところ足場が倒れたため、同僚とともに墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2016	9	13 ～ 14	自動車道工事の橋長88メートルのコンクリート橋建築現場で、A1-P1径間のつり足場の組立て作業を8人の作業員で行っていたところ、 被災者は組立て中の足場板から約14メートル直下に墜落した。	30105	1	1～ 9
2016	9	11 ～ 12	桝組足場組立作業中、10層目作業床上（幅100センチ）で電動ウインチを使用してブレス材の荷揚げ作業を行っている際に、同ブレス材が 10層目上の建桝に引っかかりそのバランスが崩れてしまい、これを保 持しようとした被災者が誤って約17メートル下の1階床面に墜落した。	30309	1	1～ 9
2016	9	13 ～ 14	外壁改修工事の足場設置に伴う落下防止柵（以下、「朝顔」という。） の設置を足場の10層目において行っていた。朝顔の骨組みの設置を終 え、鋼製足場板を骨組み上に敷き詰めていたところ、朝顔を構成する単 管のクランプ（朝顔先端部）が外れたため、鋼製足場板とともに約18 m墜落し、被災した。	30309	1	1～ 9
2016	10	23 ～ 24	橋梁架設工事に使用したつり足場の解体で、朝顔（パネル2枚を上下に 接合し、単管とクランプで固定したもの）を取り外し、橋桁上に設置 した移動式クレーンで吊り上げる作業中、上部パネル上端部へ玉掛した後 にクランプを外す作業手順であったが、玉掛する前にクランプを外して しまったため上部パネルが下部パネルとの接合部を支点にして外側に倒 れ、上部パネル部で作業をしていた被災者が約20m下の地上に墜落 した。	30105	1	1～ 9
2016	10	9 ～ 10	木造1階建新築工事において、玄関の組立作業を行うにあたり、脚立に 歩み板（幅18センチ、2枚重ねで厚さ合計9センチ）を敷いた作業床 （高さ1.67メートル）上で、クレーンで吊った玄関ポーチ材を固定	30202	1	1～ 9

			するため支えていた被災者が作業床から墜落した。			
2016	10	11 ～ 12	マンションの耐震補強工事において、南面外部足場14層目で解体作業を行っていた被災者が約22.6メートル下の歩道上に墜落し、当日死亡した。	30201	1	10 ～ 29
2016	10	14 ～ 15	木造平屋住宅の屋根改修工事現場において、脚立足場（高さ約1.75m）の上に立ち、充電式インパクトドライバを用いて雨樋固定金具のビス止め作業中、バランスを崩し脚立足場から側の溝（深さ0.76m）に転落、頸椎を損傷し死亡した。	30202	1	1～ 9
2016	12	15 ～ 16	駐車場として使用している木造平屋建ての倉庫の天井に、鳥よけ用のネットを労働者2名で設置する作業を行っていた。当該作業のためにローリングタワーを2台使用し、ローリングタワー間に木製の足場板を3枚掛け渡し当該足場板上でも作業できるようにしていた。被災者は取り外していた照明器具を再度取り付けるために足場板に足を掛けたが、足場板が転位して2.8メートルの高さから墜落し、頭部等を打撲した。	30202	1	1～ 9
2016	12	8 ～ 9	被災者は消化タンク内に組まれた足場上で、塗装の準備作業として内壁の結露を拭き取る作業を行っていた際、足場中心部の開口部からバランスを崩して13.75m下のタンク底部に墜落した。	30309	1	1～ 9
2015	9	14 ～ 15	集合住宅の外壁改修工事現場において、被災者と同僚が外部足場の落下防止柵の組み立て作業を行っていたところ、被災者と同僚が乗っていた落下防止柵が崩壊し、作業をしていた2名が墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2015	11	9 ～ 10	新設の鋼製橋梁工事（橋長：35メートル）において、4名の作業員で橋梁に設置されていたつり足場の解体作業中、被災者は橋桁の下部に設置されていた足場板を撤去していた際、その下を流れていた川（作業床から川面まで約1.3メートル）につり足場から墜落し、川を約100メートル流され、墜落から約1時間30分後に救出されたが溺水により死亡したものの。	30199	1	1～ 9
			足場4層目作業床（高さ約7m）で建枠を取り付けるに当たり、建枠の			



2015	10	10 ～ 11	一方（外側）を下層建枠のジョイントに差し込み、もう一方（躯体側）をジョイントに差し込もうと建枠の下部を押し広げていたところ、先に差し込んだ建枠がジョイントから外れ、勢い余って躯体側に墜落したものの。足場作業床の外側には安全带取付設備（手すりわく）が設置されていたが、被災者は安全带を使用していなかった。	30101	1	1～ 9
2015	8	15 ～ 16	S造2階建住宅解体工事現場において、丸太足場に設置した養生シートのうち、3層目部分を外すため、被災者が丸太足場の3段目に登って作業していたところ、約5メートル下の隣地との境界にある柵に墜落し、さらに約1メートル下の隣地に墜落した。ただし、災害発生前後の目撃者はいない。また、被災者は事業場に対し請求書を提出し報酬をうけていた等により労働者性に疑義があったが、労働者性が認められた。	30209	1	10 ～ 29
2015	3	11 ～ 12	橋の塗装が終了したため、つり足場を解体する作業中に被災者が水面から2.5メートルの高さにおいて足場材を取り外し、橋の上にいる同僚に単管を受け渡す作業を行っていた際、足場から川に墜落し、溺死したものの。	30209	1	10 ～ 29
2015	3	16 ～ 17	被災者は、上記所在地の戸建住宅外壁塗替え工事において、軒裏の天井（以降、軒天という）の補修を行っていたところ、建物の周囲に設置された一側足場の二層目から建物入口のひさしに落ちた後、さらに地上に墜落した（墜落高さ4.3メートル）。災害発生当時、被災者は、幅25センチメートルの一側足場上にいたが、安全带を着用せず、当該補修作業を行っていた。	30202	1	1～ 9
2015	6	17 ～ 18	14階マンションの修繕工事において、13階部分の枠組足場23段目を組立中、建枠2本を受け取り1本を建て、もう1本を建てるため横移動した際、バランスを崩して墜落したものの。（墜落高さ約3.5m）	30209	1	1～ 9
2015	9	9 ～	改修工事現場において、外壁工事のための枠組足場の組立て中、足場7層目にて部材の受け取りを行っていた被災者が、高さ約12メートルから、荷揚げのため地上に仮置きされていた建枠上に墜落し、死亡したものの。足場には手すり枠が設置されていたが、被災者が荷を取り込んでい	30201	1	10 ～

		10	た箇所は、手すりが欠けており、その箇所から墜落したもの。荷の受け取り口付近に親綱の設置はなく、被災者は安全帯を着用していたが使用していなかった。			29
2015	7	9 ～ 10	足場解体作業中、高さ16メートルの足場から墜落したもの。災害時、親綱は張られており、被災者は安全帯を着用していたが、使用していなかった。保護帽は着用していた。	30201	1	10 ～ 29
2015	10	9 ～ 10	住宅の外壁張替工事において、高さ5.4メートルの3段目の足場上で窓枠のコーキング作業を行っていたところ、バランスを崩し足場内側と建物の間に墜落した。墜落時に2段目の布板に激突し、その後地面に墜落した。被災状態を見ていた者はおらず、近くで作業していた大工が物音に気付いて被災者を発見した。被災後、入院治療を行っていたが平成27年11月19日死亡したもの。	30202	1	1～ 9
2015	9	11 ～ 12	木造2階建て住宅新築工事現場において、軒天の塗装作業中に仮設足場を歩行しているとき、高さ3.09m（2段目）の足場上で2枚敷きの布板の内、1枚が取り外された状態で設置されており、足場板の抜けていた開口部分から墜落し1段目の足場板に激突したのち、地面に墜落したものの	30202	1	1～ 9
2015	8	9 ～ 10	個人邸の住宅防音工事において、脚立足場（6尺の脚立の1段目に足場板を設置）上で窓のサッシの交換作業を行っていた作業者が、作業床から墜落したもの。救急車で病院に搬送されたが、死亡した。	30209	1	1～ 9
2015	9	0 ～ 1	被災者は、ビル屋上に設置された足場（手すりあり、昇降設備なし）において看板の撤去作業を行っていたところ、高さ約10メートルの足場の作業床から屋上面に墜落し死亡したもの。	30209	1	1～ 9
2015	10	13 ～ 14	被災者は体育館耐震補強工事において、最上段のみ作業床を全面に敷き詰めた足場上（高さ約10.3m）で照明器具の取付状況の点検作業を行っていたところ、開口部（約70cm角）から墜落して死亡した。	30301	1	10 ～ 29
			木造平屋建の倉庫新築工事現場において、外壁下地に貼るシートを固定			

2015	8	11 ～ 12	<p>するため高さ3.66mの仮設足場（2段目）でしゃがんで作業していたところ、バランスを崩し、足場と建物の間から墜落した。墜落時2段目の布板から1段目の布板に激突したあと、地面のコンクリート床に墜落した。頭部を強打し死亡したもの。保護帽は未着用。</p>	30202	1	1～ 9
2015	6	12 ～ 13	<p>ごみ焼却施設建設現場において、ピット内に組まれた足場の清掃作業を行っていた被災者が、ピットの床からの高さがおよそ20メートルの足場上から墜落し、死亡した。</p>	30201	1	1～ 9
2015	8	9 ～ 10	<p>小学校体育館の吊天井落下防止工事にて、既設天井の解体作業（ボード類の取り外し）で発生した、体育館床に散乱したボード類の破片の清掃作業を、作業員8人で行っていたところ、被災者は工事に使用している棚足場の高さ3段目（4.62m）から体育館の床に墜落したもの。（足場上に落ちたボード類の破片を取り除くために登ったものと考えられる。）</p>	30201	1	30 ～ 49
2015	11	16 ～ 17	<p>商店街のアーケードの張替工事現場において、被災者を移動式足場（3段組）の二段目（高さ：約3.5m）に乗せたままの状態、当該足場を移動中、地面勾配にあわせて脚部のジャッキを調整したところ、当該足場のバランスが崩れ倒壊した。このため、移動式足場に乘っていた被災者は、移動式足場と共に仰向けの状態で地面に激突し、意識を失った。（9日後、搬送先の病院で死亡が確認された。）</p>	30209	1	10 ～ 29
2015	6	9 ～ 10	<p>木造住宅建築工事現場において、足場の上で外壁の施工状況を点検中、少なくとも高さ3M以上の足場上から地上のコンクリート側溝に墜落した。</p>	30202	1	1～ 9
2015	10	8 ～ 9	<p>被災者は、建設会社の資材置場（常駐労働者2名）において、わく組足場2層分（垂直方向340cm、水平方向90cm）を組んで、資材置場入口にあるパネルゲート上部のレール部分（地上高438cm）の修理作業を行っていたところ、足場が倒壊して被災者は足場上から墜落したものと推定される。被災者の単独作業であったため災害発生状況の目撃者はおらず、通行人が倒壊した足場と足場の脇に倒れていた被災者を</p>	30309	1	30 ～ 49

			発見した。			
2015	6	10 ～ 11	寺社納骨堂外壁改修塗装工事において、被災者が外部足場2層目作業床上（高さ2.73メートル）にて、養生シートをかがんだ姿勢で片づけていたところ、中さん等の設置のない作業床と高さ94センチメートルの手すりの間から後ろ向きに2.73メートル下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2015	1	9 ～ 10	足場の解体作業を行っていた被災者は、7層目の作業床（幅40cm）に立ち、建地を両手で取り外そうとしたところ足を踏み外し13.4m下の道路に墜落した。被災者が取り外そうとしていた建地は、2列ある足場の外側の建地で、当該部分には作業床がなかった。被災者が立っていた足場躯体側の作業床には、手すり及び中さんはなく、親綱も設置されていなかった。被災者は安全帯を着用していたが、使用していなかった。	30201	1	1～ 9
2015	3	7 ～ 8	建築物の外壁塗装及び改修工事において、被災者を含む労働者4名により建築物全周に設置された足場（鋼管足場）の南面側の上で、外壁の換気用ダクト及び窓枠に付着している塗料（前日までに塗装していたもの）の拭取り作業を行っていたところ、足場の5層目において作業を行っていた被災者が、前日までに荷上げ用として全層1スパン分足場板が取り外されていた箇所から約9.0m下の地面まで墜落したもの。	30209	1	10 ～ 29
2015	9	14 ～ 15	既設マンションの外壁補修工事現場において、外部足場（クサビ式）の解体作業を行っていたところ、7階バルコニー天井部に塗装不良があると下請労働者から報告を受け、手直し塗装を行うため外部足場（10層目）を移動していたところ、作業床に設けられた開口部（解体した足場部材を荷卸しするためのもの、長さ：1.7m×幅：0.4m）から18.5m下の地面に墜落し、死亡したもの。	30201	1	50 ～ 99
2015	10	9 ～	工場外壁塗装工事現場において、外部足場（くさび式・一側足場部分）の解体作業中、被災者は足場4段目に乗り、解体した足場材を足場3段目にいる作業員に手で受け渡した後、元の位置に戻ろうとしたところ、	30209	1	1～

		10	足場の外側から地上（高さ約6メートル）に墜落したもの。共同作業からは死角となっていたため、墜落した瞬間を目撃した者はいない。			9
2015	10	16	木造2階建て建物の解体作業中、2階底の取り壊し作業を行っていたところ、2次下請事業場所属の被災者が、地上から高さ約6メートルの側足場3層目より墜落し死亡したもの。	30309	1	1～9
2015	4	1	高速道路の高架橋における高欄補修工事において、吊り足場の組み立て中に、吊りチェーンの上部支点の鉄骨クランプが外れ足場が傾斜したことにより作業員が約36m墜落し、死亡したもの。	30309	1	1～9
2014	1	13	被災者は、梁の建設工事現場にて、横桁架設作業時に底面足場板上から、0.9m上にある主桁下フランジ上面に上ろうとした際、雨が降っており足を滑らせ、吊り足場の足場板上に墜落。そのまま防網上に転落したが、転落した衝撃でネット結束部が2箇所外れ、更に約15m下の路面に墜落した。	30105	1	30～49
2014	1	8	4階建て既設ビルの外部改修工事のための外部足場の組立て作業中、被災者は、足場の6層目にて足場外側に張るための養生シート等を滑車を用いて手で荷揚げしていた際、11.35m下の地面に墜落した。尚、足場には高さ86cmの手すりのみ外周側に設置されており、中さん、幅木及び養生シートは設置されていなかった。また、安全帯は着用していたが使用していなかった。	30209	1	1～9
2014	2	17	防音改修工事にて、2階内壁の下地作業を行っていた被災者は、内部作業終了後、1階屋根上に設けられた作業構台の作業床の端から墜落した。	30202	1	1～9
2014	2	10	被災者は、外部足場の解体作業にて、足場上で解体材料を上層の者から受け取り、移動して地上の者に受け渡す作業を行っていたところ、踏み板の運搬途中にバランスを崩し、足場3層目の妻側開口部から約4.4m下の地上まで墜落した。	30201	1	1～9
		8	屋根、外壁塗装工事現場にて、洗浄用の養生シートを張る作業中、被災			1～

2014	3	9	～	者は足場から高さ約5 m下の敷地に墜落した。	30209	1	9
2014	3	23	～	4階に設置された足場を解体作業中、バランスを崩し、2階吹き抜け部分に足場と一緒に約12メートル墜落した。	30201	1	1～ 9
2014	3	15	～	木造建売住宅建築工事現場にて、足場又は屋根から約6 m下の地面に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2014	3	14	～	足場組み立て作業中、足場材である支柱を手渡しで上層へ運搬していた際、手渡された支柱を持ち、クサビ緊結式足場3層目の幅25 cmの足場板上を移動していたところ、バランスを崩し、支柱ごと約5.5 m下に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2014	4	17	～	木造2階建ての新築工事現場にて、先行足場の組立作業で高さ約7 mに位置する落下防止手摺に連結用ジョイントを差し込む際、手摺にかけていた足元が滑り、バランス崩し、約4 m下の基礎の上に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2014	5	10	～	木造3階建住宅の新築工事現場にて、外壁の下地材の取付を行っていた被災者は、高さ5.75メートルの一侧足場の足場板から地上に墜落した。	30209	1	0
2014	5	13	～	被災者は、屋根吹き替え工事現場にて、外部足場の落下防止シートを設置していたところ、墜落し、死亡した。	30202	1	1～ 9
2014	5	13	～	ベニヤ貼り作業中、高さ147センチメートルの脚立足場から墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2014	6	10	～	外部足場の解体作業を行っていた際、枠組足場上で玉掛及びジョイント部外し作業を行っていた被災者は、引っ掛かっていたユニットが外れた衝撃でバランスを崩し、地上へ墜落した。	30201	1	10 ～ 29

2014	6	16 ～ 17	エレベーターピットのコンクリート型枠の解体作業中、意識不明の状態 で仰向けに倒れている被災者が発見された。	30201	1	1～ 9
2014	7	16 ～ 17	ロングスパンエレベーター設置におけるガイドレール取付用足場の組立 て作業中、足場上の被災者が大組足場を受け取り、足元の足場に緊結し ていたところ、墜落し、死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2014	7	14 ～ 15	被災者は、耐震補強の鉄筋アンカー施工後の鉄筋アンカーを垂直に調整 する作業を脚立足場上で行っていたところ、足場上でバランスを崩し、 床面に設けた鉄筋アンカー上に転落。被災者の体にアンカーが突き刺 さった。	30201	1	1～ 9
2014	7	18 ～ 19	被災者は、高圧洗浄機を用い、型枠に付着したコンクリートの洗浄作業 後、コンクリート打設用の高さ約1.8mの足場から前向きに墜落。肝 臓破裂による出血性ショックにより死亡した。	30201	1	50 ～ 99
2014	7	2 ～ 3	外壁改修工事現場にて、ウィンチで足場の資材を取り込むための段取り 作業中、枠組足場9段目から道路側の地上に墜落した。	30201	1	0
2014	8	15 ～ 16	移動式クレーンを用いて足場の解体工事中、被災者は、枠組足場第8層 にてワイヤーの玉掛け及び垂直ネットの処理を行っていたところ、地面 まで14.2メートルの高さから墜落し、死亡した。	30201	1	100 ～ 299
2014	8	15 ～ 16	くさび式足場専用の天井クレーンを展示するため、くさび式足場4層目 にて、天井クレーンを設置していた被災者は、約8m下の地面に墜落 し、死亡した。尚、くさび式足場の作業床の内側に手すりはなく、安全 帯は使用していなかった。	80409	1	10 ～ 29
2014	8	15 ～ 16	改修工事にて、ビニール養生を撤去していたところ、足場から体育館2 階の歩廊に墜落し、死亡した。	30201	1	1～ 9
		9	足場板上にて、足場の組立作業中、同僚とすれ違う為、体を引いたとこ			

2014	8	～ 10	ろ、ブレースに接触し、固定されていなかったブレースが外側にはね出し、隙間から体が出て、中間の防音パネルにバウンドした後、1階の間上に墜落した。	30201	1	1～ 9
2014	9	8 ～ 9	資材を足場最上段から地面に下ろすため、最上段の枠にブラケットが取り付けられた単管パイプをクランプで固定し、ブラケットにロープを引っかけ、ロープで荷を固縛し下ろそうとしたところ、荷の重さでクランプとともに単管パイプも回転し、ロープを握っていた被災者が墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2014	9	13 ～ 14	手すり等の無いローリングタワーの上にて、屋根の鉄骨及び屋根材を溶接後、溶接位置を移動しようとして躯体を掴み、自力でローリングタワーを横移動させていたところ、脚輪が固定されておらず、ローリングタワーが転倒。約4メートルの高さからコンクリートの地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2014	9	11 ～ 12	つり足場の解体作業中、足場板の片側の水平緊結用自在クランプが取り付けられていないことに気付かず、その上に乗ったところ、足場板が下向きに回転し、7.8メートル下に停車していたトラック荷台上に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2014	9	10 ～ 11	高さ約2.3mの外部鋼管足場（枠組）の作業床の上にて、軒下の造作作業中、墜落した。墜落した際、肋骨が骨折し、肺に刺さり死亡した。	30202	1	1～ 9
2014	9	16 ～ 17	建物解体工事にて、養生用の単管足場の組立て作業中、足場上で作業をしていた被災者が持っていた長さ4メートルの足場用単管が高圧電線に触れ、感電し、約7メートルの高さから墜落した。	30209	13	1～ 9
2014	10	13 ～ 14	大講堂内に組まれていた内部棚足場の解体作業中、棚足場上で足場板を外そうとしたところ、2.65メートル下のコンクリートへ墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2014	10	16 ～ 17	足場をつなげるため及び型枠作業中、足場を組み立てていたところ、被災者が足場より墜落した。	30201	1	1～ 9



2014	10	15 ～ 16	新築工事現場にて、外部足場上で4階外壁の飾柱部分の配筋作業中、1 5. 5メートル下の地上へ墜落した。	30201	1	1～ 9
2014	10	9 ～ 10	マンションの外壁改修工事現場にて、足場の解体作業中、足場6層目よ り建物2階の底に墜落し、死亡した。尚、被災者は安全帯は着用してい たものの、使用しておらず、親綱等の設置も無かった。	30209	1	1～ 9
2014	11	10 ～ 11	介護付老人ホームの新築工事現場にて、外部足場の解体作業中、足場の 作業床上で建地単管パイプを引き抜いたところ、バランスを崩し、足場 から敷地外の歩道コンクリートへ落下し、死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2014	11	8 ～ 9	外壁塗装工事現場にて、建物外周に沿って組まれたくさび式足場の養生 用メッシュシートの取付け作業中、足場3段目の作業床より地上に墜落 した。尚、安全帯は未着用であった。	30209	1	1～ 9
2014	11	15 ～ 16	川にかかる橋の補修工事のための吊り足場の延伸工事中、吊り足場の工 事先端から川に足場部材ごと墜落した。	30105	10	1～ 9
2014	12	11 ～ 12	マンション外壁改修工事現場にて、外部足場の解体作業中、建地材を持 ち、足場作業床を移動していたところ、足場作業床から地面に墜落し た。	30209	1	1～ 9
2014	12	11 ～ 12	足場解体作業中、地上へ降りようと足場上を移動していたところ、足場 から墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	11	14 ～ 15	2階建木造建築家屋新築工事において、1階の外壁に代表者と二人で防 湿シートを張る作業を行っていた際、ブラケット足場の1段目（地上か らの高さ145センチメートル）の作業床から墜落した。	30202	1	1～ 9
2013	3	15 ～	建物の改築工事現場において、地上から6.4mの高さの足場上で、軀 体北面外壁の防水シート貼り作業を代表者と被災者の2名で行ってい た。棟木付近の防水シート貼りを行っていた際、被災者は、棟木と垂木	30202	1	1～

		16	部の繋ぎ斜材の一部を切り落とすため、のこぎりを取りに足場を降りる途中、足場（幅500mm）上で転倒し、作業床と手摺りの間（450mm）から3.6m下のコンクリート土間に後頭部より墜落した。			9
2013	12	8 ～ 9	民家の防水工事現場において、作業の段取りのため道具を取りに行くため2階ベランダから地上に降りる際、架設通路として使用していた鋼管足場の歩み板上から約5.2m下の地面に転落した。	30209	1	1～ 9
2013	6	10 ～ 11	漁船の修理のため、船の陸揚げの際、船首部分の案内として使用した鋼製の枠上に歩み板を設置して作業床とし、当該高さ3メートルの作業床上で、船首部分に設置されている吊り金物のガス溶断作業を行っていた被災者は、地上まで墜落した。	11501	1	10 ～ 29
2013	8	8 ～ 9	2階建ての木造家屋において屋根の修繕工事をしていた被災者は、高さ4mの箇所（足場作業床）から墜落し死亡した。尚、被災者は老朽化した屋根瓦の修繕を行うため足場に昇り、2階屋根瓦の風化した練り土を取り除く作業を行っていたところ足元を滑らせ、手すりが欠落している隙間をすり抜け1階屋根の瓦へ転げ、更に1段目足場へ転落後、地上へ墜落したと推測される。	30309	1	1～ 9
2013	1	8 ～ 9	被災者は、屋上に設置されている看板を塗装するための準備作業としてコーキング剤による修繕を行うため、コーキング剤等を入れた段ボール箱を持ち、昇降設備も中さんもない単管足場の作業場所へ移動中若しくは作業準備中、足場より約1.3メートル下の地面へ墜落した。	30309	1	1～ 9
2013	12	13 ～ 14	被災者は、解体工事現場の外部養生用枠組足場を解体作業中、地上約1.7mの足場板上から、取り外した枠組足場の交差筋交いと共に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	3	11 ～ 12	建物新築工事に使用した単管ブラケット足場（建地2本）の解体作業を行うにあたり、被災者は第1層目の作業床（高さ1.86メートル）上から第2層目の作業床を取り外そうとしていたところ、バランスを崩し墜落した。	30201	1	1～ 9
			農業倉庫新築工事現場内、くさび緊結式の移動式足場上で、本筋交いに			

2013	4	14 ～ 15	耐震金物の仮止めを終了した後、当該移動式足場から外部足場に乗り移ろうとした際、移動式足場が当初の位置からずれ、2. 8 mの高さから、移動式足場と外部足場の間に墜落した。	30202	1	1～ 9
2013	7	9 ～ 10	被災者は、溶接作業者に溶接棒を渡すため、足場（単管張出足場）上を溶接棒数十本入りの一斗缶を持って移動中、躯体と足場板の間26 cmの隙間から墜落、約24 m下の地面に激突した。尚、発生場所付近は作業床の幅76 cmの箇所であった。	30203	1	1～ 9
2013	1	11 ～ 12	建物解体工事現場で、全高11. 2メートルの防音囲い（単管を格子状に組み立てたもの）に上り、ロープを用いて防音シートを地上から引っ張り上げる作業を行っていた被災者は、ロープを取り付けた防音シート端部の取っ手（ロープをくくり付けるための布製の輪）が切れたためバランスを崩し、高さ9. 6メートルから墜落した。	30199	1	10 ～ 29
2013	10	9 ～ 10	被災者は、建物10階付近の一侧ブラケット足場を移動中、25メートルの高さから中庭に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	5	13 ～ 14	高さ180センチメートルのローリングタワー上にて、鉄骨継手部分のボルト付け作業を行っていた被災者は、作業場所から移動中、ローリングタワーの端部または昇降部から墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	7	10 ～ 11	集合住宅修繕工事において中庭の足場組み立て中、被災者は、12層目の足場上で定格荷重150キログラムのウインチでつり上げられた足場の資材を取りこむ作業を行っていたところ、墜落した。尚、墜落瞬間の目撃者はいないが、被災者がウインチでつり上げられた荷にぶら下がっているのを、ウインチを操作していた者（作業主任者）が目撃している。	30201	1	1～ 9
2013	9	10 ～ 11	被災者は、足場設置作業中に高さ約5. 7メートルの設置中の足場上から墜落した。尚、災害発生時、被災者はブラケット上で地上からの足場資材の受け渡し作業を行っていた。また、作業場所は、幅25センチ	30209	1	1～ 9

			メートルのブラケット上であった。			
2013	3	10 ～ 11	店舗にソーラーパネルを設置するため、事業主及び労働者2名の計3名にて、同工事に使用するための移動式足場（ローリングタワー）を組み立てていたところ、高さ5.2mの作業床から地上に墜落した。尚、作業時、安全帯は着用していたが使用していなかった。	30203	1	1～ 9
2013	9	17 ～ 18	航空機主翼の構造部材固定用に取付られたファスナー（鉚）の検査をしていた際、作業床の端部から2.7m下の床面へ墜落した。尚、当該作業床は主翼への工作、検査のために設置された専用足場にかかるもので、開閉式手摺りが設置されていたものの、所定位置にセットされていなかった。また、被災者は、安全帯、保護帽をいずれも使用していなかった。	11509	1	50 ～ 99
2013	7	17 ～ 18	松の剪定用の単管足場の組立作業中に、足場上から塀の外側の4.1m下の道路上へ墜落して死亡した。尚、単管足場（最上部の水平材まで）の高さは2.76mで、地表から足場板までの高さは1.95mであった。	10409	1	30 ～ 49
2013	12	13 ～ 14	2階建て木造家屋新築工事現場において、高さ約5メートルの足場上で屋根に防水シートを貼り付ける作業をしていたところ、地面に墜落して死亡した。	30202	1	10 ～ 29
2013	12	14 ～ 15	木造2階建て家屋の新築工事において、労働者2名で、建物の外側に石膏ボードを打ちつけるため、被災者が高さ2.3メートルの単管足場1段目の足場板から足場2段目の労働者に石膏ボードを渡していたところ、足場から墜落し、死亡した。尚、被災者が作業していた足場を含め、足場全体において、外側には手すりが高さ85センチメートルの位置にあったものの中さんはなく、内側（躯体側）に手すり等は一切設けられていなかった。	30202	1	1～ 9
2013	1	16 ～	焼却炉に設置した廃熱ボイラーの水管に付着した灰をサンドブラストで取り除く作業にて、被災者は、炉内から外に出るために足場を移動していたところ、足場昇降用のタラップの開口から約3メートル下に墜落	30309	1	50 ～

		17	し、下部に設置された灰を搬出するためのスクリーコンベアに巻き込まれた。			99
2013	10	13 ~ 14	被災者は、足場の9段目（高さ約14m）で、10段目にいた2名の作業者が足場板の隙間から降ろした下さんの受け取り作業を行っていた。下さんの受け取り作業が終わった後、被災者は地上へ墜落した。尚、被災者が作業していた箇所はメッシュシートや下さんがなく、その階下に朝顔が設置されていなかった。	30203	1	10 ~ 29
2013	11	11 ~ 12	マンション大規模修繕工事において、外部足場（枠組足場）の解体作業中の鳶工が、当該足場の11層目の布板を取り外した後、10層目床から17m下の植栽へ墜落した。尚、現認者はおらず、バランスを崩して墜落したものと推測される。また、ブレス、下さんは先行して取り外されていた。親綱は設置されており、安全帯も着用していたが、使用していなかった。	30201	1	10 ~ 29
2013	9	10 ~ 11	被災者は、東面・南面の枠組足場11層目を組立てするため、ウインチで荷揚げされた足場材の運搬と組立て作業を行っていた。運搬のため足場上（作業床幅50cm）を往来していた際、壁つなぎ用アンカーの打設作業を行っていた他の作業者の背後を通過しようとし、足場上から墜落・転落した（墜落高さ19m）。	30209	1	1~ 9
2013	2	17 ~ 18	FRP製タンクの製造業務において、高さ3.9mのローリング足場上で天板の加工作業を一人で行っていた被災者は、タンクと足場の間から墜落した。	10805	1	1~ 9
2013	11	16 ~ 17	木造2階建住宅の塗替工事現場において、その日の作業が終了した後、被災者は自分で車を運転して帰宅したが、自宅近くの駐車場に止めた車の中で動けない状態にいるのを家族により発見された。救急搬送されたが、頭部外傷を原因とする急性硬膜下血腫及び脳挫傷により死亡が確認された。	30209	1	1~ 9
2013	12	15	マンションの大規模修繕工事現場において足場の解体作業中、地上15階で足場材を受渡した後、足場を移動していた鳶職が、足場の外部から	30209	1	1~

		16	地上に約4.2メートル墜落した。			9
2013	11	9 ～ 10	木造2階建新築工事。荷上げ機のレール（梯子）の盛り替えを手伝いに南側の足場に行くため、被災者は北側の屋根から東側の足場に移り、段々になった東側の足場を通っていたところ、足場の南東角辺りでバランスを崩し、足場の南東角の端から墜落し4.4メートル下の地面に落下した。	30209	1	1～ 9
2013	3	15 ～ 16	ベルトコンベア（建屋屋上に設置されている）の点検用作業床を修理する工事において、被災者は残材を取りに行くため点検台周囲に設けられた足場板の上を歩いていたところ、足を乗せた板が結束されておらず、板と共に約2.2m下の地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	12	16 ～ 17	寺の新築工事現場において、本堂の屋根下地への銅板貼付け作業をしていた被災者は、高さ5mの足場床面から地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2013	8	13 ～ 14	被災者は、建築物外部の鋼構造物の外周にコの字型に設置した塗装用枠組足場（8段）の解体作業を行っていた。枠組足場上部から解体を始め、地上から3段目の足場上で作業を行っていた。コの字型に配置した枠組足場を固定するために水平に取付けられていた繋ぎの足場用単管（長さ5m）の直交クランプを外し終えた際、足場上（高さ5.6m）から地上に墜落した。	30201	1	1～ 9
2013	1	10 ～ 11	解体工事にて、天井部をピックではつり解体のため枠組足場1層設置し当該足場上で作業していたところ、1.7メートル下のコンクリート土間に転落し、頭部を強打した。	30201	1	30 ～ 49
2013	11	8 ～ 9	塗装のための準備作業を一人で行っていたところ、足場から墜落した。尚、被災者は保護帽、安全带及び安全靴を着用していなかった。	30202	1	1～ 9
		14	被災者は、パネル式吊り足場の設置作業中、パネル足場板（長さ1.32m、幅66cm。片端はチェーンで吊り下げ、もう片端は鉄骨橋桁に			

2013	7	～ 15	2個の鉄骨クランプで挟み込み固定されていた。) 上で、足場板から橋の高欄下までの高さをコンベックスで測っていたところ、鉄骨クランプ1個が鉄骨橋桁から外れ、乗っていた足場板が回転しバランスを崩し、15m下のダム湖に墜落し溺死した(水深3m程度)。	30105	1	1～ 9
2013	7	～ 15	被災者は、橋の補修工事現場において、橋の地覆コンクリートを解体する(斫る)作業を行っていたところ、橋の側面に沿って設置したつり足場が全長(約94m)にわたり崩れ、約8m下へ墜落した。	30106	5	10 ～ 29
2013	11	～ 12	RC造2階建て建築物の改修工事現場において枠組足場の解体作業中、足場5層目より7メートル下方の地上に墜落した。被災者は、建枠の横架材上に仮置きした長さ6.8メートルの頭つなぎ用単管を地上に下すため、同単管の端部を持ちながら作業床(幅50cm)上を後退していたところ、足場の端部を越え墜落した。尚、被災者は、安全帯を着用していなかった。	30201	1	1～ 9
2012	9	～ 17	工場の新築工事現場で、天井クレーンのレールの取付作業を行っていた際、被災者はレールを取り付けるため組立中の足場上を移動していたところ、足場調整枠の足場板設置前の開口部から約10m下の地面に墜落した。	30302	1	1～ 9
2012	8	～ 19	被災者はビル屋上塔屋部の外部足場を解体中、枠組足場(2層2スパン)から張り出したブラケット足場に移動した際、足場が傾き、足場と共に約35m下の連絡通路に墜落した。	30201	1	1～ 9
2012	3	～ 14	建物の吹抜け部に設置された高さ9mの枠組足場(4層)の解体作業において、被災者は2層毎に解体するため3層目の足場上(幅0.6m)でブラケット等の足場材料を取り外し中、筋交いの中から約5.3m下のコンクリートスラブに墜落し、頭部を強打し死亡した。	30201	1	10 ～ 29
2012	5	～ 12	木造一戸建て建売住宅新築工事において、2階外壁防水工事のために外部足場の建地を登っていたところ、足を踏み外し高さ約4mから地面へ墜落した。	30202	1	1～ 9
			昇降設備(校舎3階バルコニーから屋上へ昇降する設備)の解体作業中			

2012	5	15 ～ 16	に、被災者は校舎2階バルコニー上に設けた足場の1層目（2階バルコニーGLから1.7mの高さ）から墜落し、脳挫傷のため死亡した。なお、被災者は保護帽を着用しておらず、墜落防止措置も講じられていなかった。	150102	1	1 ～ 9
2012	6	16 ～ 17	体育館躯体解体工事現場において、強風による足場の倒壊を防止するため、足場と躯体を固縛すべく繊維ロープの取付け作業を行っている際に発生した。被災者は、高さ約13mの足場7段目若しくは8段目作業床から、手すり及び筋かいを乗り越えて躯体屋上の腰壁部分に移動しようとした際、躯体と足場の間から墜落し死亡した。	30201	1	1 ～ 9
2012	7	11 ～ 12	橋梁の上部撤去工事現場において、トラスト部材（欄干）の切断撤去後の足場の解体作業中、地上からの高さ約8mの足場から河川敷へ墜落し、死亡した。	30309	1	1 ～ 9
2012	8	3 ～ 4	高架橋塗替塗装工事において、橋脚間につり足場を設置する作業中、ずれた足場の位置を補正するため、レバブロックを使用してつり足場を牽引する作業を行っていた際、作業員がレバブロックの緊張を戻したところ、牽引していた足場の一部（2m×4m）が崩壊し、崩壊した足場上にいた被災者は、足場材料と共に約14m下のコンクリート製通路に墜落した。	30309	1	30 ～ 49
2012	2	8 ～ 9	橋梁上部工事において、橋梁下部に設置された吊足場の側面に設置されていたブルーシート（端部を足場部材に固定していたもの）が外れ、吊足場上の物の落下防止用のメッシュシートに引っかかっていた。被災者は吊足場の手すりから身を乗り出してブルーシートを引き上げようとしたところ、吊足場から約15m墜落し、その後、斜面を約15m滑落した。	30105	1	10 ～ 29
2012	8	14 ～ 15	外壁塗装工事を行っていた被災者は、道路から高さ約5mにある足場から道路上に墜落し、死亡した。	30309	1	1 ～ 9
			2階建住宅の屋根張替工事現場において、屋根等を外し、新しい屋根の下地を作成していた。被災者は住宅の南東側の破風板の上部に取付ける			



2012	10	11 ～ 12	板を釘止めする前に、釘を打込む箇所を側面より確認すべく、住宅の外周に設けられた一側足場の3層目の手すりの上に両足で乗り、当該個所で屈みながら、足場の外周に設けられていたネットに寄りかかるようにして確認していたところ、固定していたネットの紐が切れ、約6m下に落下した。	30209	1	10 ～ 29
2012	12	15 ～ 16	木造建築物の新築工事現場において、クサビ緊結式足場と連結している作業構台（高さ約5m、幅5.4m×奥行き3.6m）の上に作業小屋を設置する作業中、作業小屋の屋根となる波板（幅0.83m×長さ4.12m、荷重約8kg）の取付け作業を行っていたところ、作業構台の外側に設置したブラケット部の作業床から高さ約6m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2012	2	0 ～ 1	高架道路の補修作業において、高架下に設置されたパネル式つり足場の解体作業中、つり足場上で取り外された足場板（パネル）を高所作業車が設置してある箇所まで運搬する作業を行っていた被災者が、何らかの理由により取り外し中の足場板（パネル）上に乗ったため、足場板（パネル）の片側が脱落、約17m下の地面に墜落した。	30106	1	1～ 9
2012	11	15 ～ 16	被災者は単管抱き足場解体作業中、取り外した単管を持って移動していたところ、バランスを崩して約30m下の地上に墜落した。なお、安全帯は装着していたが使用していなかった。	30209	1	1～ 9
2012	11	13 ～ 14	マンションの大規模改修工事において、枠組み足場を解体作業中、被災者は足場の13段目から地面まで墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2012	4	8 ～ 9	橋桁の欄干（防風柵）の新設のため、橋桁につり足場を設置を行っていたところ、つり足場のつり枠とつり枠の間に仮設置した作業床が脱落し、作業床上で本固定しようとしていた作業員が作業床と一緒に、約15m下の運河に墜落した。	30105	1	50 ～ 99
2012	4	1 ～	吊足場の解体中、朝顔材を取り外すため玉掛をしようと朝顔材に立て架けたはしごに乗ったところ、朝顔材の控え材（単管）が、足場床と固定	30105	1	30 ～

		2	していたクランプから抜け、朝顔パネルが外側に転倒し、立て架けたはしごとともに、約8m下の道路面に墜落した。			49
2012	9	16 ～ 17	マンション外壁改修のための単管一側ブラケット足場の昇降設備として、単管を組み合わせたはしごを当該足場に組み立て中、はしごの踏さん（直交クランプで建地に緊結）の片方が外れ、そこに足をかけていた被災者が約6m墜落し、心臓破裂他で死亡した。	30201	1	10 ～ 29
2012	12	9 ～ 10	立坑内に設置してあるステージと通路の解体、及び取り合い部分の昇降用足場2段を解体する作業を、被災者を含む複数名の鳶工が行っていた。被災者はステージと通路の解体材であるクランプを土嚢袋へ集積する作業を単独で足場上でかがみこんだ姿勢で行っていたところ、前のめりで前転するような姿勢で約10m下へ墜落した。なお、被災者は安全帯を装着していたが、未使用であった。	30102	1	1～ 9
2012	1	9 ～ 10	地上3階建ての新築工事現場において、建設用リフト及び当該リフト回りの外部足場解体作業を行っていた被災者は、足場の6段目（高さ約11m）において作業中、足場上から墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2012	6	9 ～ 10	2層6連（高さ約3m、長さ約9m、幅約1m）の枠組足場を地上で組んで、クローラークレーンで吊上げ、既に構築された足場に設置する作業において、被災者は約30mの高さの足場上から地面に墜落した。なお、被災者は安全帯を装着していたが、足場上を移動するために親綱から安全帯を取り外した際、墜落した。	30201	1	30 ～ 49
2012	7	11 ～ 12	被災者は足場の解体作業中、休憩をとるため足場から地上に降りようと建地を伝っていたところ、体調不良を訴え意識を失った。	30209	13	1～ 9
2012	8	8 ～ 9	ビケ足場から単管の腕木を躯体側に張り出し、そこに木製の板を渡して足場とした。被災者は足場に乘って屋根の上に野路板を載せる作業を行っていたが、乗っていた足場が崩壊した。この足場は、躯体の外側で庇の真上に設置されていたが、被災者は躯体の2階開口部を通過して約4m下の1階コンクリート土間に墜落し、死亡した。	30202	1	1～ 9

2012	3	9 ～ 10	外壁補修及び塗装工事のため設置したくさび型鋼管足場（8層）を解体作業中、解体をしていた足場（6層目）の床からバランスを崩し、約10m下のアスファルト舗装に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2012	7	12 ～ 13	被災者は既設建築物外部に枠くみ足場を3段設置し、屋根や壁の塗り替え作業を行っていた。被災者が外部足場に設置された階段枠を使用して地上に降りる際、3段目と2段目の間に設置されていた階段枠が外れたことによりバランスを崩し、3段目の外側の筋かいを超えて、足場から約5m下の歩道に墜落した。なお、安全帯、保護帽の着用はなかった。筋かいのみ設置されていた。	30209	1	1～ 9
2012	9	14 ～ 15	被災者は鋼橋の上部架設工事現場において、組立て中のつり足場の作業床上を歩いていたところ、体勢を崩して約10m下方の地上に墜落した。なお、つり足場には、手すり、防網等の墜落防止設備は未設置であった。また、安全帯は着用していたが、取付け設備は設置されておらず使用していなかった。	30105	1	10 ～ 29
2011	12	14 ～ 15	橋梁新設工事（進捗率99%）において、橋桁歩道部の補修作業に欄干から『コの字』型に吊り下げた吊り足場が使用されていた。当該吊り足場を構成していた縦単管が直交クランプから抜ける等して足場作業床が宙吊りとなっていた。その真下の河川敷に墜落している被災者が発見された。吊り足場の作業床の高さは河川敷から8.4mであった。	30105	1	1～ 9
2011	5	13 ～ 14	船体ブロックのブラスト作業を行うための足場組立をしていた被災者が、足場3段目から約8.4メートル下のコンクリート地面に墜落したものである。災害発生後、療養中であったが6月25日に死亡した。	11501	1	10 ～ 29
2011	2	13 ～ 14	バイパス建設工事において、高架橋床版下のつり足場の解体工事中、足場板と足場板を止めているコンパネ板を集めていたところ、つり足場と高所作業車のデッキの間から約15メートル下の地上に墜落したものの。	30209	1	10 ～ 29
		17	事業場建屋（ボーリング場）屋上の断熱防水工事が完了し、支配人である被災者は、その施工状況を確認するため、工事業者が設置した仮設昇降階段（クサビ式鋼管足場材によるもの）を使い、屋上に向かっていた			10

2011	6	～	18	ところ、地上10.5メートル付近より転落した。目撃者はなく、昇・降の別は不明のところ、水平部材に変形があるため、この位置からの転落と推定した。仮設昇降階段の地上登り口には警戒ロープのみで立入禁止表示はない。	140309	1	～	29		
2011	12	9	～	10	RC造14階建マンション新築工事において、南面7階付近の足場を解体中、足場上で2名の作業員が離合していたところ、安全帯を親綱から外した後踏み側の被災者がバランスを崩し、24m下の水路に墜落し、死亡したもの。足場上でバランスを崩し墜落した場所は、900mm幅の建枠に取り付けられていた階段を外し、その開口の一部を鋼製布板で養生していたものの、全面敷きされていない状況であった。	30201	1	10	～	29
2011	11	8	～	9	マンション外壁の塗装修繕工事において使用した「くさび緊結式足場」を解体するにあたり、足場9層目から8層目に移動するのに昇降設備を使用せず、足場の外側をつたって移動したところ足を滑らせ約16メートル下の地面に墜落した。	30209	1	10	～	29
2011	5	～	15	16	工場2階において、天井の梁から吊り下げられた蛍光灯の吊り金具の取り外し作業を行っている際、使用していた2段のローリングタワー上において、当該ローリングタワーから離れていた箇所にある吊り金具を外そうとして、無理な姿勢となりバランスを崩し、3.6メートル程下の床面に墜落したもの。	30301	1	1	～	9
2011	4	9	～	10	枠組み足場の組み立てにおいて6段目で筋交の運搬作業を行っていた被災者が当該6段目作業床から墜落したもの（推定）	30309	1	10	～	29
2011	9	9	～	10	病院棟新築工事現場において、足場（工事用エレベーターのガイドレール支柱保持用の枠組足場）の外部側面防護ネット（メッシュシート）取付作業中、足場6層目（布板高さ8.8m）より、墜落した。（9月16日雇入れ、2日目の作業）10時52分死亡	30201	1	30	～	49
					地上から約5.7mの位置に設置されていた天井クレーンの走行レール					

2011	2	15 ～ 16	(長さ約13m)の両端をチェーンブロックのチェーンで吊った状態で、被災者がローリングタワーの最上部(高さ5.3m)に乗って撤去作業を行っていたところ、突然、吊っていたチェーンブロックの一端が外れ振り子のように落下し、ローリングタワーに激突・転倒し、被災者が転落したものである。	11301	1	1～ 9
2011	12	9 ～ 10	配送センター外壁・屋根等塗替工事において、足場の解体作業中の災害。足場の12段目の床に外した鳥居枠を仮置きしていたところ、被災者が張り出していたブラケット足場に乘った際、ブラケットの取り付け部分が破損し、21本の鳥居枠と共に墜落し、死亡したものである。また、地上にいた塗装工に落下した鳥居枠があたり、被災したものである。	30209	1	1～ 9
2011	9	16 ～ 17	既存の木造2階建て住宅の屋根及び外壁の塗装工事において、屋根の破風板(はふいた)の塗装作業をくさび緊結式足場の3層目の作業床で行っていた被災者が、高さ約6m下の足場外側の道路面に墜落したものの。足場外側には高さ135cm及び高さ90cmの手すりがあり、高さ45cmの中さんが取り付けられていた。また、足場外側にはメッシュシートが張られていたが、墜落後にはめくれた状態となっていた。	30209	1	10 ～ 29
2011	3	11 ～ 12	7階建てビルの外壁塗装工事中、足場上でコーキング作業をしていた被災者が、足場とビルの隙間(約40cm)から地面に墜落したものの。くさび式本足場には、ビル側にも手すりの中さんが設置されていたが、ビル側に設置されていた物体の落下防止用ネットは折りたたまれていた。	30209	1	1～ 9
2011	7	13 ～ 14	小学校の耐震補強工事現場において、校舎2階西側にある理科準備室のコンクリート壁を1段だけ組み立てた枠組足場の上で手持ち式のコンクリートブレーカーを使用して研る作業中、作業者がバランスを崩して約1.7mの高さから後ろ向きに床へ墜落した。意識もはっきりしていて、後遺症が残る可能性がある程度のもと思料されていたが、平成23年9月19日になって死亡したものの。	30201	1	10 ～ 29
		8	簡易枠の外部足場上(6段目)で、外壁の型枠パネルの取り外し作業を			

2011	6	～	9	行っていた被災者が、足場と躯体の間の1.4メートルある隙間から6.8メートル下の建物外階段の2階踊り場に墜落した。	30201	1	1～9
2011	5	～	12	枠組足場解体作業中において、最上層で解体した鳥居枠2つを背負うように持って運んでいた労働者が、当該足場から地面まで墜落した。墜落高さは37.5m、安全帯を着用していたが、被災者が移動していたと思われる箇所には、安全帯を取り付ける親綱等が設置されていなかった。	30201	1	30～49
2011	10	～	9	8 民家の改修工事現場で、会社の代表者が単管抱き足場の3段目（約6.2m）において、屋根の破風板のコーキング材の汚れを取り除くためカッターナイフが必要となり、地上で作業していた被災者に上までカッターナイフを持って来るように指示した。被災者は足場2段目（約4.5m）まで登り代表者にカッターナイフを手渡したあと、地上に降りようと移動中に墜落した。	30202	1	1～9
2011	11	～	11	10 木造2階建て共同住宅の2階共用外部通路の屋根板の交換作業を外部通路上に組んだ脚立足場（高さ1.2m）上で行っていたが、当該足場から下りるため外部通路に設けられている手すり（高さ0.8m）の上に足をかけたところ、足を滑らせ外部通路から約0.25m下の1階通路の屋根上に転落、さらに、当該屋根上に止まることなく屋根の端から2.67m下の地上に落下し、頸椎損傷により11月16日10時34分に死亡した。	30202	1	1～9
2011	2	～	14	13 建物の外壁補修工事中、高さ3.78メートルの足場の作業床（幅25センチメートル）から地面に墜落し治療中であったが、平成23年2月27日、重症頭部外傷により死亡した。作業床はブラケット足場で、手すりはあったが中さん等が設けられておらず、ネットの緊結も不十分であったため足場の外側に墜落した。被災労働者はヘルメット及び安全帯を着用していなかった。	30209	1	1～9
				鉄骨造平屋建て建屋の改修工事において、鉄骨の塗装作業を2名で行っ			

2011	12	16	ていた。建屋の外部と内部に足場を組み、これに上がって作業を進めていた。1名が作業していたところ、背後で「ドサッ」という音がし、振り返ると被災者が地面に倒れていた。救急車が到着した時点で心肺停止の状態、2日後の26日に搬送先の病院で死亡が確認された。	30201	1	1～9
2011	4	10	住宅団地の住宅建設工事において、目撃者がなく不明であるが、先行足場の設置中、足場内側から墜落（約4メートル）したものと史料され、首の骨を骨折し病院に搬送され重体であったが、事故から11日後の平成23年5月6日に死亡したもの。	30203	1	1～9
2011	4	13	戸建の新築工事現場内において、当現場の一次下請の被災労働者が、外部足場の高さ約5.5m（墜落した躯体1階床面からは約4.6m）の足場板上で、躯体の2階部分の耐力壁として合板を設置する作業を行っていたところ、別の作業員から合板（大きさ：約280cm×90cm、厚さ：0.9cm、重さ約15kg）を受け取った直後、躯体と足場板の開口部から躯体内部の1階床面上に転落し、5日後に死亡したものである。	30202	1	1～9
2011	11	10	橋の塗装工事で使用したつり足場の解体作業中、バランスを崩してつり足場から川に墜落した。（現認者なし）	30209	1	1～9
2011	1	16	老朽化した橋梁の高欄部分を撤去し新設するため、つり足場の組立作業を行っていた。被災者は下から4段目となる手すりを設置するためのクランプ取り付け作業を終了したあと、足場板から15.7m下の河川に墜落し溺死した。墜落状況を確認している者がいないため、どこから墜落したか不明。また、救助のため河川に入った3名が低体温症の症状により治療を受け、1名が2日入院、2名が不休災害となった。	30105	10	1～9
2011	6	15	地震により被災したお寺の屋根瓦の葺き替え作業をしていたが、雨が降ってきたため片付けをしていたところ、足場の手すりと作業床の間から約5m下へ転落した。安全帯は使用していなかった。	30202	1	1～9
			被災者は、下水処理施設の消泡水管交換工事を行うに当り、反応池（深			

2011	10	13 ～ 14	さ約6.8メートル、東西方向約61.5メートル、南北方向約5.6メートル)の側壁に吊り足場を組立て中、手すりが設置されていない箇所(作業床の高さ約5.4メートル)から墜落し出血性ショックにより死亡した。足場の組立て作業は被災者と職長の2名が従事していた。被災者は安全帯は身に付けていたものの使用していなかった。	30302	1	1～ 9
2011	12	11 ～ 12	津波で損傷した建物の改修作業を作業員2名で行っていた。高所作業車に乗って作業を行っていた同僚作業員が、物音がしたため、音のした方を見るとローリングタワーの脇に倒れている被災者を発見した。直ちに救急車を手配したが、被災直後は腕の痛みを訴えるものの意識ははっきりとしており、会話ができる状態であったが、救急搬送先の病院で容態が急変し死亡したものの。	30301	1	10 ～ 29
2011	7	17 ～ 18	被災者は個人住宅の改修工事現場において、本作業を終え、枠組み足場の3段目において廃材等の後片付けをしていたが、しばらくして再び代表者が見たところ地面に倒れていた被災者を発見したものの。被災者は保護帽を着用しておらず、安全帯については腰巻にロープを取り付けた簡易的なものを装着していたが、使用していなかった。(発生から2日後の7月27日に死亡したものの。)	30209	1	1～ 9
2011	12	14 ～ 15	被災者は高所作業車(橋梁点検車)のバスケットに搭乗しながら、他の作業員と共に橋桁側部で吊足場の組立て作業に従事した。橋脚部が狭く、バスケットでの作業が困難であり、被災者のみ橋脚上部に乗り移り建地を取り付ける作業を行った。その後高所作業車のタイヤがスリップし、これを押すために他の作業員は被災者を橋脚上部に残したまま橋上へと移動したが何かが落ちたような音が生じ、橋脚下部で倒れている被災者を発見した。	30105	1	10 ～ 29
2010	12	13 ～ 14	マンション外壁修繕工事の足場解体作業中に、鳶工が枠組足場の16層目に乗って直上の17層目の布板を取り外した際にバランスを崩し、取り外した布板もろとも外側に墜落した。一旦、自転車置場の屋根でバウンドし、地上へ墜落したものである。地上から16層目の作業床までの	30209	1	10 ～ 29



			高さは、27.7mであり、安全帯を使用していなかった。16層目の筋交は外されていた。			
2010	12	14 ～ 15	マンション外壁改修工事にて枠組足場の解体作業をしていた被災者が、取り外した簡易鳥居枠（W=600mm）を両手で持って解体足場最上層（9層目、地上高さ約15m）を移動していたところ、何らかの原因でバランスを崩して鳥居枠とともに地上へ墜落。救急車に搬送されたが、当日深夜死亡した。安全帯を着用していたが使用していたかは不明。	30209	1	10 ～ 29
2010	12	13 ～ 14	橋梁下部歩道の外装パネル用のアングルを取り付け作業中に、瞬間最大風速30.5m/sの突風により作業に使用していた移動足場（モーター駆動によりレール上を走行する）が電磁ブレーキをかけていたが動き出し、約75m滑走して、レール端部に設置されていたストッパーを破壊して落下し、足場にいた2名が死亡したものの。	30105	1	1～ 9
2010	12	13 ～ 14	橋梁下部歩道の外装パネル用のアングルを取り付け作業中に、瞬間最大風速30.5m/sの突風により作業に使用していた移動足場（モーター駆動によりレール上を走行する）が電磁ブレーキをかけていたが動き出し、約75m滑走して、レール端部に設置されていたストッパーを破壊して落下し、足場にいた2名が死亡したものの。	30105	1	1～ 9
2010	11	15 ～ 16	橋桁端部に設置されたつり足場の墜落防止用の手すりを延長するため、被災者は当該手すりと横桁に足をかけた状態で長さ2mの単管パイプを作業員から受け取ったところ、足をかけていた手すりのバイスクランプが橋桁から外れ、手すりとともに、地上高さ7.7mの位置から墜落した。被災者はこの外れた手すりに安全帯を取り付けていた。バイスクランプの固定方法が不適切であったとみられる。	30105	1	50 ～ 99
2010	11	14	橋梁上部工の幅約2mの継ぎ目部分に伸縮装置と壁高蘭を設けるため、高所作業車等を用いて張り出し足場を設営していた。足場板の設置が完了した時点で、被災者が足場板上に乗ったところ、足場板を載せた鋼管を支持する全ねじボルトが橋桁の下部に埋め込まれたセラミックイン	30105	1	100 ～

		15	サートから抜け落ちて足場板が傾き、鋼管と共に12.5m下の地面へ墜落した。セラミックインサートへの全ねじボルトの差し込みが不十分であったとみられる。			299
2010	11	15 ～ 16	橋梁に設置したつり足場の解体作業中、被災者は足場上において取り外した足場板を仮置きしていたが、何らかの理由で足場上から約12m下の地面まで墜落した。被災者は足場のつりチェーンに安全帯を掛けていたが、胴ベルトの通し方を誤った結果、墜落の衝撃により腰に巻いた胴ベルトと帯ロープ側との接合部が外れてそれぞれに分離し、地面まで墜落したものの。	30309	1	10 ～ 29
2010	11	14 ～ 15	校舎建替工事現場において、5階の内部足場上で柱の型枠組立作業中、バランスを崩して3層目の枠組足場（高さ3.8m）から墜落したものの。	30201	1	30 ～ 49
2010	11	9 ～ 10	建設資材をつり足場上に荷揚げする作業に従事していた被災者が、つり足場上に設けられた荷揚げ用の開口部から約7m下の地上に墜落したものの。手すり等の墜落防止措置が講じられていなかった。	30105	1	10 ～ 29
2010	11	8 ～ 9	7階建てマンションの外壁修繕作業のため、当該マンションの外周に設置されているわく組足場の8段目付近（高さ約14m）にいた被災者が、足場を伝い7段目に降りようとし外側の筋交いとメッシュシートの隙間に身体を入れた際に体勢を崩し、足場外側面に張られたメッシュシートを破り、道路上に墜落したものの。	30201	1	1～ 9
2010	11	13 ～ 14	足場上で、H鋼の柱の最上部の位置（高さ9.1m）のボルトをレンチで締める作業をしていたところ、ボルトからレンチが外れたため、バランスを崩し、後方の手すり（床面からの高さ45cm）を乗り越え、約7.5m下方のコンクリート床面に墜落し死亡した。	30201	1	10 ～ 29
2010	10	11 ～ 12	木造2階建て新築工事現場において、2階の梁部分の組立作業中、外部足場の3段目の足場板（地上から3.6m）から、その上にある4段目の足場板（地上から4.56m）の位置に乗り移るべく移動の際に、バランスを崩して1階のコンクリート土間に墜落し死亡した。	30202	1	1～ 9

2010	9	9 ～ 10	個人住宅の外壁塗装工事現場において、塗装作業終了後の足場解体作業中、被災者が足場の水平材を伝って移動していた際、足場が建屋側に傾くのを防ぐために建屋の外壁に当てていた単管に足を乗せたところ、当該単管が傾き、被災者がバランスを崩し、2階の屋根にバウンドした後、6.7m下のアスファルト地面に墜落した。病院にて治療中、7日後に死亡した。安全帯などの防護措置を講じていなかった。	30209	1	1～ 9
2010	9	15 ～ 16	R C 2 F 建物新築工事において、うま足場の作業床上（高さ1.4m）で壁配筋作業中、うま足場の作業床と配筋作業箇所との間に間隔があり、身を乗り出して作業していた際に転落し、左胸部に鉄筋（直径10mm）が刺さり、死亡したものの。鉄筋に鉄筋保護キャップは取り付けられていなかった。	30201	1	10 ～ 29
2010	9	22 ～ 23	橋梁補修工事において、橋梁下部のつり足場の組立作業中に、照明を移設するための作業に取りかかったところ、作業員がつり足場から川に転落し、死亡したものの。	30105	1	10 ～ 29
2010	9	13 ～ 14	くさび式緊束足場に設置した朝顔上で、メッシュシートを張る作業を行っていたところ、朝顔の端から約7m下のアスファルト歩道に墜落したものの。	30209	1	1～ 9
2010	9	15 ～ 16	県営住宅改修工事の塗装工事現場で、塗装工の作業員が建物4階ベランダ付近の作業床（わく組足場5層目）で作業中、下さん等がない交さ筋かいの下から墜落し、搬送された病院で死亡した。	30209	1	1～ 9
2010	9	9 ～ 10	建屋屋上のコンクリート打設に使用したプロペラ（コンクリート均し機械）を現場近くの材料置き場に保管していたので、被災当日、取りに行き、トラックに載せた後、コンクリート打設状況を見ようとして足場を昇り、足場から屋上に移ろうとした時、約7m墜落したものである。	30201	1	1～ 9
2010	8	11 ～ 12	建設共同企業体が施工する「中学校耐震補強工事」現場において、外付け耐震補強プレスの型枠脱型工事施工後、同プレスに塗装下地処理をしようとして被災者が外部足場に上った後、誤って外部足場3層目から地上へ墜落したものの。	30201	1	1～ 9

2010	8	16 ~ 17	被災者は、わく組足場15段目の足場作業床上から地上に、足場15段目作業床に置いていた足場板と一緒に、高さ27.65mを墜落したものの。足場材等の荷上げに使用していた16段建枠に取付けた滑車にて折り返しているウインチのワイヤーロープを抱きかかえるようにして墜落した。	30209	1	10 ~ 29
2010	8	9 ~ 10	15層、7スパンの枠組足場を解体するために、まず、上層は、4層3スパンのブロックで足場を解体し、その足場をつり下ろして、地上で順次解体することになっていた。7スパンある枠組足場の中央部（4スパン目）のブレス、足場板を上から3層までを解体中、解体作業と別の壁つなぎ跡の補修作業をしていた被災者が、上から3層目のブレスを外した枠組足場上（4スパン目）から、約24m下の地上に墜落し、死亡したものの。安全帯を使用せずに移動中、ブレス等手すりがない部分から墜落したとみられる。	30203	1	1~ 9
2010	8	19 ~ 20	家具量販店の改装工事において、入口軒下天井部の吹付け塗装作業中に高さ5.2mの足場（足場3段目の作業床）の端の開口部（幅110cm、長さ120cm）からタイルが張られた1階床に墜落して死亡したものである。開口部には手すり等の墜落防止措置は講じられておらず、被災者は安全帯を使用していなかった。	30209	1	1~ 9
2010	8	11 ~ 12	組み立て中の足場の下から7層目（高さ約13m）に朝顔（落下防止棚）設置中、支持用の単管に足場板のつかみ金具をはめこむため、その足場板に乗って、体重をかけてはめ込んでいたところ、何らかの原因で足場板がはずれ、地上に墜落したものの。	30309	1	1~ 9
2010	8	17 ~ 18	外壁改修工事において、既存のタイル壁に下地となるセメントを塗る作業中、単管足場（一側足場）の鋼製布板上（高さ1.94m）で作業していたところ、墜落したものの。病院に搬送されたが、約10日後に死亡が確認された。	30201	1	1~ 9
		13	製鉄所のユーティリティー配管工事において、張り出し足場解体作業			30

2010	8	～ 14	中、高さ約8mの作業床上で作業中、地上に墜落したもの。頭部を損傷し、集中治療を施していたが、約1週間後、治療中の病院で死亡したものの。	30203	1	～ 49
2010	7	～ 10	木造3階建ての新築住宅建築工事において、一側足場上で屋根に雨樋をとりつける作業中、建物の反対側で同様の作業を行っていた労働者が大きな音に気がついて見に行ったところ、被災者が墜落して地面に倒れており、病院に運ばれたがまもなく死亡した。足場3層目から約6m下の地面まで墜落し、頭部を地面にあったブロックにぶつけたとみられる。	30202	1	1～ 9
2010	6	～ 15	被災者の同僚が、解体したセットバック部の外部足場解体材を外部足場（枠組足場）10段目より荷下ろしをしていた。エンドストッパーを下ろしている時、直下箇所にある一部取り外した状態の垂直ネットに当該材料が引っかかった。その状況を屋上で材料の小運搬作業をしていた被災者が手伝おうとして、荷下ろし箇所（外部足場10段目）に上がって来た。その際に何らかの理由で身体のバランスを崩し、荷下ろし箇所より墜落した。	30209	1	1～ 9
2010	5	11 ～ 12	マンションの枠組足場の解体作業中、10階～11階に設置された足場上で解体した部材をつり綱を用いて地上に降ろす作業を行っていた労働者が、同足場から地上へ墜落し、死亡したもの。作業の性質上、被災者が墜落した場所付近の足場には手すりも筋交いも設置されていなかったが、安全帯の取付設備は設置されていたものの、被災者が安全帯を使用していなかった。	30209	1	10 ～ 29
2010	5	～ 12	消波ブロック製作現場において、被災者がブロック周囲に設置されたわく組足場の最上層（4層目）より、約6.8m下のアスファルト地面に墜落し死亡した。わく組足場には2段手すりが設置されているものの、墜落した場所だけブレスが設置され、そこには下さん、上さんが設けられていなかった。	10901	1	10 ～ 29
2010	5	～ 11	吊り足場の解体作業において、被災者が単管パイプ上（地上7.8m）を移動した際、バランスを崩して地上に墜落した。被災者は、安全帯を	30105	1	1～

		12	装着していたが、墜落時、使用していなかった。			9
2010	4	10 ～ 11	倉庫建築工事において倉庫正面のカーテンをかける為、ローリングタワーを使用し、車庫屋根下部分にカーテンのワイヤーを通すフック等を取付ける作業をしていたところ、高さ3.89mの作業床から墜落、死亡したもの。当該作業には2名（被災者含め）が従事し、2名で屋根に取り付けるアングルを仮止めし、共同作業者が溶接を終えた時、同溶接作業者の右横後方いた被災者が墜落した。ローリングタワーに手すり及び中さん等がなかった。	30209	1	10 ～ 29
2010	4	15 ～ 16	仮設倉庫の建設工事現場において、屋根材（単管）の組み立て作業を行うため、高さ約3.6mの足場（ビディ杵（600杵）を2段1層で組んだ物）の上で作業していたところ、足場の構造（滑動防止措置、つなぎ・控え等の倒壊防止措置）の不備によって倒壊し、労働者が墜落し、死亡した。被災者は、保護帽、安全帯ともに着用していなかった。	30201	1	1～ 9
2010	4	9 ～ 10	被災者は、足場の3層目に同僚1名とともに上がり、倉庫正面の壁にシートを貼る作業をしゃがんだ状態で行っていたが、突然、後方に倒れ、筋交いの下をくぐり抜け、足場3層目から約2.5m下の小屋の屋根に落ち、その後、さらに2.5m下の地面に墜落したもの。下さん及び幅木がなかった。	30209	1	1～ 9
2010	4	9 ～ 10	看板を取り替えるために使用するつり足場をビルの屋上から組立てる作業中、高さ約30mの所から墜落したもの。被災者は安全帯を着用していたが、使用していなかった。	30309	1	1～ 9
2010	4	10 ～ 11	橋梁塗装工事のため吊り足場の仮設作業中、吊り足場上で川上側のころばしパイプとはな止めを緊結するための緊結金具（自在クランプ）を取付中か移動中、安全帯を使用しておらず、約14m下の川に墜落し、行方不明となった。翌日発見されたが、すでに溺死していた。	30309	1	1～ 9
		13	被災者は脚立2脚を立て、足場板（杉板、幅20cm）を通して、脚立足場（作業床、高さは204～205cm）を作り、看板を取り外す作			1～

2010	4	～	業を単独で行っていた。その際に足場から墜落し、半月後に病院で死亡したものの。墜落した際の見撃者はいない。墜落防止措置を講じておらず、被災者は保護帽を着用していなかった。	30309	1	9
2010	4	～	本件事業場の工場建屋内において、天井クレーンの補修作業を行うため、当該天井クレーンのガーダー部分に単管パイプを取り付けて、つり足場を組み立てる作業中、未固定の足場板とともに高さ5.3m下のコンクリート床面に墜落したものの。安全帯の使用等墜落防止措置を講じていなかった。	11301	1	10 ～ 29
2010	3	～	倉庫底の梁（H型鋼材）の塗り替え工事のために設置した移動式足場（高さ3.64m）上から地面まで降りる際、建柱の棧を昇降設備として使用していたところ、高さ0.76m地点から足を踏み外して地面に仰向けで墜落し、後頭部を強打した。安全に昇降するための設備が設けられていなかった。	30209	1	1～ 9
2010	3	～	9 橋梁の補修工事現場において、塗装作業に使用していたつり足場（高さ 10 約20m）の解体作業を行っていたところ、同足場から墜落したものの。 安全帯の使用等墜落防止措置が不十分であった。	30209	1	10 ～ 29
2010	3	9 ～ 10	国道の橋梁の塗装工事（本体工事）が終了し、墜落防止用に仮設した吊り足場の解体作業初日、元請けを含む関係事業場の労働者8名で安全ネットの解除、足場板の撤去回収、「ころばし」「おやご」の緊結クランプ取外し作業を行っていたところ、足場板を撤去した場所で被災者が足を掛けていた「ころばし」又は「おやご」から誤って下部を流れる河川に墜落し溺死したものの。	30105	1	1～ 9
2010	2	～	12 2階建てテナントビルの内装工事中、庇の上に設置した一側足場上にお 13 いて、2階外部に取り付ける看板の下地となる鉄骨の溶接後の研磨作業 を行っていたところ、足場から約5m下の地上へ墜落したものの。	30209	1	1～ 9
2010	2	～	16 橋の塗装工事前つり足場を解体作業中、約40m下の海に墜落し、35 17 日後に同墜落現場付近にて遺体で発見されたものの。安全帯を使用してい なかつた。	30105	1	1～ 9

2010	2	9 ～ 10	<p>枠組足場の解体作業中に、足場3層目床上（高さ約5.2m）から、建枠を持ったままコンクリート上に墜落した。</p>	30209	1	1～ 9
2010	2	16 ～ 17	<p>高さ約3mの足場2段にしゃがみ、防水シートロールを垂らす作業を行っていたところ、バランスを崩し、アスファルトの道路上に墜落した。中さん等の設置、安全帯の使用等墜落防止措置を講じていなかった。</p>	30202	1	1～ 9
2010	1	13 ～ 14	<p>橋梁中央の橋脚周囲に設置した枠組足場の最上部を起点として、およそ5mの吊り足場を組み立てていた際、ころばしとして固定されていた鋼製パイプ（直径5cm、長さ1.5m）の一端の直角クランプが外れ、当該ころばしに架けていたと思われる足場材4枚とともに39.3m下の地上に墜落した。防護網を張っておらず、また、安全帯を使用していなかった。</p>	30105	1	10 ～ 29
2010	1	13 ～ 14	<p>橋梁中央の橋脚周囲に設置した枠組足場の最上部を起点として、およそ5mの吊り足場を組み立てていた際、ころばしとして固定されていた鋼製パイプ（直径5cm、長さ1.5m）の一端の直角クランプが外れ、当該ころばしに架けていたと思われる足場材4枚とともに39.3m下の地上に墜落した。防護網を張っておらず、また、安全帯を使用していなかった。</p>	30105	1	10 ～ 29
2010	1	9 ～ 10	<p>鋼船（1800t）を製造する作業場において、船首左舷側付近に船名を取り付けるためのマーキング作業を行っていたところ、船体壁面から足場までの間隔が約1mあり、作業中に7.3m下のコンクリート面上へ墜落した。足場の船体側に手すりが無く、安全帯を使用していなかった。</p>	11501	1	10 ～ 29
2010	1	13 ～ 14	<p>遊園地レジャーランド内で、修繕塗装のため各部単管足場に覆われたジェットコースターを、当該状態で営業運転しても問題がないか否か確認するため、被災者を含め2名で搭乗し、試運転を試みたところ、途中左側にカーブしながら急降下している時に、被災者の左の額が、突き出てい</p>	140302	3	50 ～ 99



			た単管パイプに激突し、翌日死亡が確認された。			
2010	1	14 ～ 15	鉄骨造り平屋建ての店舗の新築工事現場にて、鉄骨工事を請け負っていた事業場の労働者が柱材である角パイプを固定させるための胴縁ピースというアングルを枠組の外部足場の2層目（高さ約3.5m）の足場上で取り付ける作業をしていたところ、当該足場より躯体側に墜落したものの。足場の躯体側には筋交いは設けられていたが、墜落を防止するための下さんや幅木などが設けられていなかった。	30201	1	10 ～ 29
2009	11	17 ～ 18	ホテル新築工事現場において、被災者である看板設置工は作業終了後の片付けのために高さ約9mのくさび式足場5層目を歩行中に、足場と躯体との間の開口部（幅約34cm）から墜落し、足場5層目と4層目の間の躯体3階に設置された常設の手すりに体を打ち付けた後に4層目の足場に墜落した。	30203	1	10 ～ 29
2009	9	13 ～ 14	高架橋建設現場において、足場等組立作業主任者の指示に従い、つり足場の解体作業をしていた被災者が移動中に足場から8m下のアスファルト道路に墜落した。	30201	1	1～ 9
2009	7	15 ～ 16	工場内にて、焼却炉の配管メンテナンスのため、配管を取り外し後の取り付け（ボルト締め）作業中に、高さ約5.1mの足場の上にはいた被災者が墜落した。	150102	1	1～ 9
2009	5	17 ～ 18	RC造地上6F、地下2F建ての建築工事現場において、枠組足場の組み立て作業を終了し、躯体（6階床）から、枠組足場へ両手に荷物を持って移動するため、枠組足場内側の高さ55cmの位置に番線で固定された9×9cmの角材に右足をかけたところ、バランスを崩し、枠組足場外側の筋かいの下部からすり抜け、13m下の岩盤に墜落し、さらに3m下のくぼ地に墜落した。	30201	1	1～ 9
2009	3	12 ～ 13	建築物の外壁改修工事で設置していた外部足場を解体作業中、7層目（高さ約12.7m）から墜落した。被災者は安全帯を装着していたが使用していなかった。	30209	1	1～ 9

2009	12	13 ~ 14	東岸壁に係留している30万tオイルタンカーの右舷側に設置していた排水パイプ（150A）を抜くため、つり上げ荷重73.7tジブクレーンで3人が乗り込んだ搭乗設備（つり足場）をつり上げて作業を開始し、2本目を抜くためバラストラインの船外排出弁（750A）から排出されている海水の下をくぐろうとした際に海水が搭乗設備に当たり回転し、船に当たった時に海面に墜落し、被災した。	11501	10	10 ~ 29
2009	6	11 ~ 12	橋梁建設現場において、作業員5人が3箇所に分かれ、鋼桁のジョイント箇所のボルト固定作業を行っていた。昼前になったことから、一人で作業を行っていた被災者はボルト固定作業をやめ、ベント頂部足場の作業床から、他の作業員に声をかけた。その約1分後に「バタン」というような音がし、別の場所で作業を行っていた作業員が音がした方向を見ると、ベント頂部足場の作業床で、仰向けで倒れている被災者を発見した。	30105	99	10 ~ 29
2009	3	9 ~ 10	リゾートマンションの修繕工事現場において、組み立てられた足場の点検作業中、足場部材の運搬のために地上から10層目の足場板上を移動していたとき、約17m下の地面に墜落した。	30201	1	1~ 9
2009	11	2 ~ 3	被災者が同僚とともに橋の塗装作業のためのつり足場を組立作業中、足場材をつっていたチェーンが外れ、つりチェーンとともに約15m下の海上に墜落した。	30209	1	1~ 9
2009	6	13 ~ 14	鉄骨・木造家屋建築工事において、軒裏の下地取り付け作業中、高さ約8mの仮設足場（くさび緊結式足場）から墜落した。墜落時に作業していた足場には、高さ95cmの手すりが設置されていたが、中さんは設置されていなかった。	30202	1	1~ 9
2009	5	14 ~ 15	堰堤補強工事において、堰堤天端の水通し部のコンクリートの一部を3人で斫り作業中、左岸側の被災者Aが張出し足場（通称、キャットウォーク）上を右岸側へ歩いて移動して行ったのを同僚の重機オペレーターBが確認し、その後、作業場に戻ってくるのが遅いので、もう1人の作業員Cと被災者Aの歩いて行った方向に移動していったところ、張出し	30108	1	10 ~ 29

			足場右岸側端部の直下付近（約12m下）に被災者が倒れているのを発見した。			
2009	9	13 ～ 14	被災者は、水門ゲートのスピンドルの継手ボルトの締め付け作業を足場の最上段で行っていたところ、約27m下の地下最深部に墜落した。	30302	1	10 ～ 29
2009	8	9 ～ 10	外部に面するサッシ水切りのシール施工を行っていた被災者が足場から墜落した。すぐに救急車で病院に搬送されたが、後日死亡した。	30201	1	10 ～ 29
2009	8	10 ～ 11	マンション外壁改修工事において、足場の解体作業中にマンション13階部分、足場21層目（高さ35.3m）から公道のアスファルト歩道に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2009	1	10 ～ 11	タールタンク設置工事現場において、タンク内部の足場を使用してタンク側板の仮付け溶接作業を行った。次のタンク側板の段取りのため、足場上を移動しようとし、そのとき、足場板と手すりの中棧の間（68cm）から、5.23m下のタンク底板上へ墜落した。	30209	1	1～ 9
2009	12	13 ～ 14	災害発生時、被災者はブラケット足場上にてベニヤ板を外壁柱に釘打ち機で取り付ける作業を行っていた。トラックの横付け作業を行っていた瓦屋が、「ドスン」という音を聞き、振り向いたところ地面で頭から血を流して倒れている被災者を発見した。被災者は病院に搬送されたが、同日死亡した。	30202	1	10 ～ 29
2009	6	16 ～ 17	ゴルフ場内にある橋の塗装作業のため、つり足場を設置中、つり足場の足場板を利用して移動していたときに足場板が鋼管に緊結されていなかったため足場板が動き、バランスを崩し足場から転落した。	30309	1	10 ～ 29
2009	12	11 ～ 12	マンションの外壁改修工事に使用した枠組み足場の解体作業において、西面の足場解体作業中に建枠を外す作業を行っていた被災者は、建枠とともに高さ15m地点から墜落した。	30201	1	1～ 9
		14	被災者は、アパート新築工事現場において、高さ約8.8mの外部足場（単			1～

2009	2	15	管ブラケット) 上で、足場のシート張り作業を行っていたところ、足場から地上に墜落した。	30201	1	9
2009	11	12	外部手すり先行足場の解体作業において、被災者は、足場17段目の床上で空のつり袋を引き上げていた際、つり袋が下方にて引っ掛かったため、足場外側の手すりわくに体重をかけて引き上げようとしたが、被災者及び真下にいた他の作業者が合計6箇所のうち4箇所の手すりわくの固定を外していたため、手すりわくが外れ、約31mの高さから墜落した。	30209	1	1~9
2009	9	14~15	5階建既設建物の外壁改修工事現場で足場組立中、巻上機にて1本つりした足場部材(交さ筋かい6本、重量27kg)を枠組足場6層目鋼製足場板上にて取込もうとしたところ、交さ筋かい2~3本が落下したので残りの交さ筋かいを掴んだがバランスを崩し、8.8m下のコンクリート面に墜落した。安全帯フックを6層目枠組足場補剛材(足場板上1.17mの位置)に掛けていたが当該安全帯の帯ロープが破断した。	30201	1	10~29
2009	12	9~10	水管橋補修用のつり足場解体作業中、キャッチクランプを外そうとした際、つりチェーンを外したため足場板が傾き、約2m下の川に転落した。	30209	1	1~9
2009	2	14~15	自社の工場の出入口に庇を取付ける工事において、庇の骨組みとなる鋼材にトタン板を取り付ける作業を行っていた被災者が、庇の骨組みとなる鋼材(高さ4.1m、幅5cm)から墜落した。被災者は保護帽も安全帯も着用していなかった。	30309	1	1~9
2009	9	11~12	民家の外壁等改修工事において、被災者はエアコン配管のカバーを取り付けるため一側足場上(高さは3~4m)を移動していたところ、地上(アスファルト)に墜落した。墜落時の目撃者はいない。	30209	1	1~9
2009	3	9~10	足場9層目(高さ約15.5m)の箇所で、足場の組立作業を行っていたところ、手すり等の設置がない外部側から2階エントランス部分(作業箇所からの高さは約12m)に墜落した。	30203	1	1~9
2009	3	13	自社敷地内にある物置小屋の解体作業中に高さ1.7mの足場から隣地のコ	30209	1	1~

		14	ンクリートの地面に墜落した。			9
2009	6	10 ～ 11	外壁張替え工事現場において、同僚3人と防水シートの張替え作業中、高さ2.1mの足場上からコンクリート地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2009	11	18 ～ 19	屋上PHにおいて、つり足場の上で外部カーテンウォールのガラス取り付け作業を行っていた被災者が、つり足場の上を移動していたときに、62.46m下の6階に墜落した。つり足場の作業床の幅は24cm、内側に2段手すり、親綱が設置されていた。被災者は安全帯を着用していたが、移動のときには使用していなかった。	30201	1	1～ 9
2008	8	14 ～ 15	体育館改築工事のため設置された足場の最上段（約19m）で、体育館屋上のプール部分へのコンクリート打設作業により発生したコンクリート片をバケツに入れて足場に設置されたウインチで地上に降ろす作業をしていた。その際、2段あった手すりの下段部分がはずれて、その手すりと共に地面に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2008	7	14 ～ 15	工場敷地内の廃水処理施設建設工事現場において、足場の組立作業中に高さ1.9mの足場から転落して真下にあった鉄筋（直径16mm、壁型枠用の鉄筋で床面から1,360mm立ち上がっていたもの）が身体に刺さった。	30201	1	1～ 9
2008	10	17 ～ 18	8階建て（一部9階）の鉄筋コンクリート造マンション兼住宅建築工事において、被災者は、8階窓際の床に設置したうま足場上でボードの取り付け作業をしていた。その際、バランスを崩して荷の揚卸のためガラスをはめ込んでいなかった窓枠から21m下の地面に墜落して死亡した。	30201	1	1～ 9
2008	6	15 ～ 16	駐車場に仮置きしたタンク（円筒形、直径3.25m、長さ4.7m）の雨養生のため、同僚作業員1名とタンク周囲に設置した足場にブルーシートを掛け渡す作業中に足場から墜落した。足場は鋼製枠を2層に組み立てたもので、1層目の作業床は地上高さ1.84m、2層目の作業床は地上高さ3.53mであり、1層目の妻側及び2層目の全周に手すりの設置はなかった。	40301	1	30 ～ 49

2008	4	15 ～ 16	木造家屋の増改築工事において、棟上に備えた準備作業を行っていた。 被災者は、古い建屋の梁端部（地上高さ3.8m）に増築する建屋の柱を接続するための梁ほぞを刻む作業を行っていた。その際、枠組み足場（高さ3.55m）、又は近接して設置されたアルミハシゴのいずれかから転落した。	30202	1	1～ 9
2008	7	8 ～ 9	被災者は、空調設備工事現場において、脚立足場上で空調機室内機のアンクル材取り外し作業を終えて足場から降りようとしたところ、足場板上から約1.5m下のコンクリート土間に墜落した。	30203	1	1～ 9
2008	4	14 ～ 15	住宅補修工事において、屋根の板張り作業を行っていた作業者が、足場の高さ約3mの地点から墜落して地上側溝で身体を打ち、死亡した。	30202	1	1～ 9
2008	2	9 ～ 10	住宅棟の足場において、移動式クレーンを用いた足場の解体作業中（大ばらし、2層5スパン分）、被災者は同僚1名とともに足場へ玉掛けをして巻き上げたが、建枠が抜けなためつり上げられなかった。その後、突然、建枠が抜けてつり上がり、その際に被災者は約13.3m下の地面へ墜落した。	30201	1	1～ 9
2008	11	13 ～ 14	木造2階建ての個人住宅の外壁・屋根等の塗装（塗り替え）工事現場において、外部足場（一側足場上）を移動していたところ、作業床を取り外していた箇所から墜落して約2.4m下の地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2008	9	14 ～ 15	小学校の空調設備取付工事において、冷媒配管用金具を取り付ける作業を2人1組で柱に設置された1スパンの枠組み足場を使用して行っていた。冷媒配管用金具の材料が不足したため、被災者の相方が材料を取りに行った間に被災者が足場の3段目（高さ5.4m）から墜落した。	30309	1	1～ 9
2008	5	14 ～ 15	エレベーターシャフト5階～8階までの外装タイルを外部足場上で洗浄作業中、7階付近で作業を行っていた被災者が、足場と躯体の隙間から約4.4m下の落下防止柵の足場板上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2008	6	9 ～	被災者は、解体工事現場でブラケット一側足場の2段目（GL+	30209	1	10 ～

		10	3,450mm) 上で作業中に足場の開口部より墜落して死亡した。			29
2008	11	15 ~ 16	パチンコ店舗改修工事において、被災者は高さ177cmの外部足場の一層目の足場板に座り、窓に貼られたフィルムをはがしていた。窓2枚のフィルムをはがし終えて3枚目の作業を行う際、通常は刃の付いた工具ではがすところをフィルムの一部がはがれ浮いていたため、工具を使用せずにフィルムを手で掴み引きはがそうとした。その時、フィルムが切れ、その反動で後方に倒れて手すり足場板の間から足場の外側に墜落した。	30309	1	1~ 9
2008	1	16 ~ 17	県庁旧新館の外壁のタイルの補修工事において、被災者は外部足場上(高さ35.7m)でタイル補修作業に従事していた。作業終了後、現場事務所に戻っていた被災者は、当日の作業箇所へ戻っていったが、その後、外部足場に設置してあるウインチの搬路である足場と足場の間の地上部分に倒れていたのを発見された。	30209	1	1~ 9
2008	2	10 ~ 11	型枠作業者が躯体屋上で墨出し作業を行なうため、躯体外部の足場6層目の昇降階段横を通行していたところ、足場と躯体との間から1階床コンクリート面へ墜落した。1階床から足場までの高さは約10mであり、墜落する際は、張り出し足場等に当たりながらであった。	30201	1	1~ 9
2008	9	10 ~ 11	工場の新築工事において、被災者がエレベーターピット内の簡易リフト設置のために足場を降りている時、約7.5m下の地面に墜落した。	30302	1	30 ~ 49
2008	10	15 ~ 16	4棟の借家の外壁塗装工事において、同僚と2人で足場を組み立てていたところ、被災者は足場の手すり足物との間に入り、はさまれて死亡した。	30209	3	1~ 9
2008	11	11 ~ 12	4階のベランダ塗装作業終了後、足場上へ仮置きしていた室外機等をベランダに戻していた際、足場の内側から約10m下の地上に墜落した。外部足場は、幅24cmの足場板を2枚敷いた状況で設置されていたが、墜落箇所については躯体の構造上、内側の足場板がはずされていた状態で	30309	1	1~ 9

			あったため、躯体から70cmの開口があった。			
2008	2	15 ～ 16	外部枠組足場解体作業において、移動式クレーンで4層3スパンを大ばらしして所定場所に移した後、つった状態で下部の2層を解体した。この後、残った2層を地上で解体するため、2層目に作業員Aが乗り、玉外しを行った。その後、ワイヤロープを巻き上げたところ、このワイヤロープが足場材の一部に引っ掛かり、2層3スパンの足場が倒壊して地上にいた作業員Bの背部に倒れて、その下敷きとなった。作業員Aも軽症を負った。	30201	5	10 ～ 29
2008	10	13 ～ 14	焼却炉付属設備である排煙塔内部の点検業務を行っていた。点検作業を終えて枠組足場3段目の作業床上（H=5.1m）から点検作業時に使用していた移動はしごを地上に降ろそうとしたところ、バランスを崩して足場上から地上に墜落して死亡した。	150102	1	30 ～ 49
2008	6	17 ～ 18	店舗兼住宅の改築工事において、屋根下地材（破風板）の取付け作業を作業員3名で行っていた際、同僚が金属の落下したような物音を聞き確認したところ、地面に倒れている被災者を発見した。被災者は、屋根下地取り付け作業後、単独作業で足場を盛り替えるため、外部足場（ブラケット側足場）の水平材を取り外す作業中に高さ3.5mの作業床から転落した。	30202	1	1～ 9
2008	4	14 ～ 15	木造2階建ての増築工事現場において、2階壁面部の空調排水管施工のために外部足場階段を登り、作業場所へ向かう途中で足場上でバランスを崩し、下の足場の布（高さ2m）に強打して約4m下の地上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2008	1	11 ～ 12	露天風呂仮設屋根の取付け作業中に足場板を移動していたところ、2.8m下の浴槽に墜落して死亡した。	30309	1	10 ～ 29
2008	6	8 ～ 9	ビル外壁改修工事現場において、足場の解体作業中に資材などを受け渡すための1スパンの交差筋交いを取り外し作業をしていた。6層目で当該作業を行っていた被災者が交差筋交い取り外し後の歩行中に墜落して死亡した。	30209	1	10 ～ 29



2008	12	13 ～ 14	構内のドックにおいて、積載荷重2.5tのフォークリフトで移動式足場（ローリングタワー（1.2t））を移動中、路面上に出ていた中間ゲート固縛用ピースにぶつかった際、フォークリフトの爪からずれるように外れて移動式足場が前方へ倒れて前方でフォークリフトの誘導をしていた被災者が倒れてきた移動式足場の下敷きとなり死亡した。	11501	6	300 ～ 499
2008	7	17 ～ 18	コンクリート打設の翌日、外部足場を2段から4段に組立完了後にメッシュシート張りを行っていたところ、約7m下の外構コンクリート面に墜落した。	30201	1	1～ 9
2008	7	14 ～ 15	共同住宅の新築現場で外部足場のせり上げ作業中、被災者は地上から11層目のブラケット足場作業床で上層のブラケット足場（12層目）の布板を取り付ける際、手すりの取り付けがない当該作業床から躯体の外側へ、17.3m下の地上（公道）に墜落した。	30201	1	1～ 9
2008	10	14 ～ 15	11階建てマンションの大規模修繕工事において外部足場組立作業中、足場上で部材運搬しているとき足を踏み外し、部材とともに約27m下の地上（タイル敷き）に墜落した。	30209	1	1～ 9
2008	7	12 ～ 13	エレベーターシャフト内に設置された足場の盛替え作業を作業員数名で行っていたが、途中から単独作業となった。昼休みになっても休憩所に帰ってこないため、同僚作業員が捜したところ、作業を行っていたエレベーターピットの足場の最下層で倒れているところを発見された。	30201	1	1～ 9
2008	11	9 ～ 10	被災者は、マンションの修繕工事のために設置された足場の解体作業に従事していて、高さ約15.9mの足場板上（9段目）で足場の部材の運搬を他の作業員3名とともに行っていた。被災者が部材を仮置きするための足場上の所定位置に解体した足場板を置いて作業位置に戻って来る時に足場から墜落して死亡した。	30201	1	1～ 9
2008	8	13 ～ 14	RC4階建ての建築工事現場において、外部足場（幅21m、高さ14m）を作業員5名で3層目から上の交差筋交い及び壁つなぎを外して足場部材を手渡しで降ろしていた時、3層目から8層目の足場が倒壊した。被災者は壁つなぎを取り外した跡のコーキング作業を5層目でしていたため、倒	30201	5	100 ～ 299

			壊した足場に圧迫され死亡した。			
2008	11	10 ～ 11	橋梁塗装工事現場において、つり足場の組立作業を行っていた被災者が、高さ約2.7m下の川に転落し、おぼれて死亡した。	30309	1	1～ 9
2008	10	13 ～ 14	階段室の最上部直下の中間踊場で壁補修用の枠組足場を架設中、枠組足場のスタート基本スパンより階段下り方向の隣スパンに移動したときに足場が天秤状態となり足場が傾いたため飛び降りた。被災者は下り階段手すりに当たった後、階段へ落下した。なお、基本スパンの隣スパンには足場脚元の調整単管が設置されていなかった。	30201	1	10 ～ 29
2008	2	16 ～ 17	トラック及び重機用の車庫の建築作業中、ローリングタワーの作業床上（高さ3.67m）において、母屋桁用の材木を母屋桁取り付け用鋼材上に運び上げていたところ、ローリングタワーから転落した。	30202	1	50 ～ 99
2008	8	8 ～ 9	住宅の改修工事において、被災者一人で外周に設置された枠組足場の2段目上で作業を行っていたところ、躯体壁面と足場の間（約50cm）から約3.5m墜落して死亡した。	30202	1	1～ 9
2008	3	11 ～ 12	被災者は、増築工場（SRC造）の2階の天井配線工事を最上部に手すりが設けられていない、高さ3.63mの移動式足場上で行っていた。移動式足場から降りるために、安全帯を天井ブレスより取り外していたところ、バランスを崩して、墜落した。	30201	1	1～ 9
2008	10	2 ～ 3	マンション新築工事において、枠組み足場解体作業中、足場11段目から13段目の3段について、3スパンずつクレーンでつり上げるため、13段目の布板をはずし、12段目の端に集積していた。被災者は布板を持ち、手すりのない幅24cmの布板上（高さ19.24m）を移動していたとき、体勢を崩して地上へ墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2008	7	9 ～	枠組足場を12名で組立中、1、3、5、7、9段目に配置された作業者が手渡しで10段目にいた被災者まで足場材を上げていた。被災者は10段目の作業床で鳥居枠（W=1200）の片側の脚柱だけ下部鳥居枠と脚柱ジョイ	30201	1	10 ～

		10	ントで連結し、その後使用する鳥居枠5枠を前記鳥居枠の横架材をまたぐように掛けた。その際、安全帯を親綱に掛けていなかったため、バランスを崩し墜落した。				29
2007	11	14 ～ 15	木造2階建住宅新築現場において、作業員4名により内装工事と瓦ふき作業が行われていた。瓦ふき作業は、3名の作業員がそれぞれの担当場所に分かれ単独作業を行っていたが、その内の一人の被災者が足場3段目の作業床（高さ5.4m）から敷地内地面に墜落した。	30209	1		10 ～ 29
2007	10	11 ～ 12	鋼製枠組足場の解体作業を行っていたところ、部材等の落下防止のために残っていた養生シートに被災者がもたれた際にシートをとめていた紐が切れ、被災者が足場から墜落した。	30201	1		1～ 9
2007	9	9 ～ 10	台風接近に伴い、屋上塔屋の外壁補修及び看板塗装用の外部足場の解体作業に取り掛かっていたところ、足場最上段の荷降ろしの開口部より20.4m下の屋上へ墜落した。	30201	1		10 ～ 29
2007	6	15 ～ 16	マンションの外壁改修工事現場において、建物東面に一側足場を組み立て、周囲にメッシュシート張りの作業を行っていたところ、足場の妻側から外側に背を向けた状態で約10m下のコンクリート面に墜落した。シートの状態を確認するために、足場の妻側にエンドストッパーとして設置されていたブラケット（クランプ1点支持）に体を預け身を乗り出し、ブラケットが外側に回転したために墜落した。	30201	1		10 ～ 29
2007	10	9 ～ 10	鉄骨造建築工事現場において、被災者が、高さ12m20cmの枠組足場8層目付近で、鉄骨の梁上部に溶接された屋根材固定用フレーム溶接箇所のケレン作業及びさび止め塗装作業を行っていたところ、枠組足場と梁との隙間から地面へ墜落した。	30201	1		1～ 9
2007	5	14 ～ 15	既設建物の6階にあった張り出し足場解体中、足場とともに16m下に墜落した。	30209	1		1～ 9
		11	築10年以上の6階建て事務所兼住宅の外壁の補修等の工事において、仕上げの洗い作業のために設置したビケ足場（建物6階相当（9層目）				1～

2007	3	～ 12	高さ約1.6m)の幅25cmの足場板上で建物に水をかけていた被災者が、足場の外側へ墜落した。	30309	1	9
2007	10	15 ～ 16	被災者は、作業員2名で、自動車道橋梁に設置されていたつり足場のアサガオを手すりに変更する工事を行っていた。被災者はつり足場のアサガオの部分を解体しているときに、バランスを崩し、8.6m下の川原へ墜落した。	30105	1	1～ 9
2007	8	11 ～ 12	被災者は、15階建てマンションの新築工事現場において、7階外部足場の組立作業中、当該外部足場から15.6m下のエントランス外側に設置されている足場(地上より3段)に墜落した後、当該足場を転げ、1階建物内部に落下した。	30201	1	30 ～ 49
2007	7	15 ～ 16	木造家屋2階建新築工事現場において、前日に単管ブラケット先行足場の組立が終了し、当日休憩時間後、作業員3名が作業を再開したところ、「ドサッ」という音がして他の作業員が振り返ると、被災者が地上コンクリート基礎部に倒れていた。	30202	1	1～ 9
2007	2	15 ～ 16	マンション新築工事現場において、外部足場(枠組足場)解体作業に従事していた被災者は、21段目の足場解体中、建て枠とともに24.5mの下の隣家の屋上に墜落した。	30201	1	30 ～ 49
2007	3	18 ～ 19	既設住宅の一部をリフォームする工事現場において、被災者は、同僚の大工と2人で外部足場のメッシュシートの取外し作業を行った。その後、被災者は現場に一人で残った。施主が所用で屋外へ出たところ、足場南面中央付近の地面に被災者が倒れているのを発見した。	30202	1	1～ 9
2007	11	8 ～ 9	寺社建物の塗装工事において、被災者がくさび緊結式足場の一層目(高さ1.95m)で2階ベランダの軒先のシーラー(下地)塗り作業を行っていたところ、コンクリート床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2007	7	9 ～ 10	橋梁工事の鋼上部工に使用していたつり足場(高さ約8m)上で足場解体中に足場からコンクリートの法面上に墜落した。安全帽(墜落時保護用)、安全帯は着用していたが、安全帯のフックは安全帯のD環にかけ	30105	1	1～ 9

			られたままになっていた。			
2007	7	14 ～ 15	鉄骨塗装作業中、クサビ式足場の3段目にて作業を行っているときに、約5.6m下の地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2007	6	11 ～ 12	木造平屋建て建築作業中、被災者が造作中に墜落した。	30202	1	1～ 9
2007	2	15 ～ 16	木造2階建て住宅の外壁等の塗装作業において、被災者が、1階屋根の水切り部分の塗装を終え、足場の手すり鋼管等を伝って降りようとしていたところ足を滑らせ、生け垣の西側の住宅敷地内駐車場に墜落した。	30209	1	1～ 9
2007	9	11 ～ 12	小学校校舎の耐震補強工事現場において、クサビ緊結式足場の1段目の作業床上で作業員2名が2階バルコニー下部の型枠組立作業していたところ、1名が1.85m下のコンクリート基礎部分に墜落した。なお、墜落した開口部には高さ49cmの手すりが設けられており、これは元々高さ93cmの位置に設けていたが梁の型枠を組立てるときに邪魔になり下げていた。	30201	1	1～ 9
2007	2	11 ～ 12	被災者は、木造家屋建築工事現場において、同僚と2名で、内壁、間仕切り用の石膏ボードを2階から3階に搬入するために3階で作業中、作業のために荷揚げ口に渡した足元の板が折れて、5.85m下の1階床に墜落した。	30202	1	50 ～ 99
2007	2	11 ～ 12	被災者は、木造家屋防音工事において、外壁の塗装作業が終了し、2階のブラケット足場上で窓に貼っていた養生シートをはがしているときに、シートをはがす時の反動で手すりをすり抜けて墜落した。	30202	1	1～ 9
2007	3	13 ～ 14	鉄骨造の建屋の塗装工事において、被災者が単管抱き足場の上で長さ4mの角材を躯体階段の側面に電動ドライバーを使ってねじ止めしようとしたところ、単管抱き足場上から5.4m下の地面に墜落した。	30201	1	1～ 9
		15	常温LPG貯槽（球形タンク）の開放検査工事において、タンク内の磁			50

2007	9	～	粉探傷試験を行っていた際、タンク内部に設けた足場の最上層にある開口部から約18m下のタンク内に墜落した。	30302	1	～	99		
2007	11	～	16 17	14階建てマンションの外壁、改修工事において、被災者は、北西側枠組足場上で外壁塗装作業終了後、2階部分の廊下に戻ろうとした際、誤って足を滑らせ、枠組足場2段目の躯体と足場との隙間から高さ3.36m下のコンクリート床面に墜落した。	30309	1	1～	9	
2007	8	～	17 18	11階外周足場（わく組、単管ブラケット足場）の組立後、鳶工が貼った垂直養生シートを単管ブラケット足場部分に結束する作業を被災者が行っていた際、11階床の壁筋（D13mm）の上に墜落（墜落高さ4m）した。	30201	1	1～	9	
2007	6	～	14 15	鉄骨階段の梁のボルトの本締め作業を外部足場（21段目）の上で行っていたところ、足場と躯体間の隙間（60cm）から約40m下の地上に墜落した。	30201	1	1～	9	
2007	10	～	14 15	体育館のつり天井を固定する「つりボルト」設置作業を、屋根梁の下部に設置された棚足場の作業床上で行っていた。つりボルトの長さが梁から作業床までの空間より長いため、作業床の足場板を横にずらし、隙間を調整しながらつりボルトを設置していた。つりボルトを通す隙間を作るため、足場板を取外したところ、生じた開口部から約9m下に墜落した。	30201	1	1～	9	
2007	6	～	11 12	被災者は3階コンクリート床にうま（高さ1.77m）を設置し、その上で柱のフープ鉄筋を結束作業していた。主筋とフープ筋を結束線で密着させようとして、結束線を絡ませてハッカーに掛けて引いたところ、ハッカーから結束線が抜けたためバランスを崩し、3階床に転落した。	30201	1	50	～	99
2007	3	～	18 19	被災者は、枠組み足場の3段目（高さ5.5m）において、移動式クレーンによる鉄骨部材の荷卸しの誘導作業を行った後、枠組み足場の枠の補鋼材に足を掛けて降りていたところ、足を滑らせて約5m下の地面に墜落した。	30201	1	1～	9	
			12						

2007	7	～ 13	2階建てアパートの外壁塗装を行っていたところ、高さ3.36～3.58mの足場から墜落した。	30309	1	1～ 9
2007	9	～ 11	被災者は、同僚3名と3階で配筋作業を行っていた。地上から足場の昇降設備を使って3階まで栈木（長さ約50cmの木材）を手で運び、足場から躯体に投げ入れた後に、足場（高さ約7.5m）から墜落した。	30201	1	1～ 9
2007	3	～ 13	張出し足場（高さ5.95m）から柱に捕まりながら降りようとしたところ、足が滑り転落しそうになったため、上部にあった張出し足場にぶら下がるように捕まった。張出し足場を引っ張るような形になったため、足場が外れて転落した。	30202	1	1～ 9
2007	4	～ 12	電線移設工事のために電柱を囲むように設置していた足場組立作業中、作業床の端または足場を構成する単管、あるいは電柱に設置された枠・ステップのいずれかから地上へ墜落した。安全帯の使用はなされていなかった。	30301	1	10～ 29
2007	9	～ 15	住宅（木造二階建て）の屋根塗装工事において、1階屋根上に「脚立足場」を組立て、2階屋根の塗装作業を行っていたところ、足を踏み外し高さ約5.5mの足場上からコンクリート地面に墜落し、死亡した。ヘルメットの着用はなかった。	30209	1	1～ 9
2007	5	～ 18	木造家屋新築工事現場において、間柱の取り付け作業を終了し、段差状の外部足場を降りている際、高さ5.5mの箇所（足場の3段目）から足場と躯体の間に墜落し、躯体側のひさしに当たり、足場の外側に放り出され、地面に激突した。	30202	1	1～ 9
2007	1	～ 14	覆道構築物の外側に設けられた足場上で当該構築物の外壁防水加工作業（プライマーの塗布作業）を作業員2名で行っていた際、足場の最上層（6層目）の作業床上（高さ約8.6m）で当該作業を終えた被災者が残ったプライマー入りの缶を足場の内側（躯体側）から5層目で同作業を行っていた同僚に受け渡した。間もなく、同僚が何か落ちたような音を聞き、振り返って見たところ、被災者が倒れていた。	30102	1	1～ 9

2007	10	9	屋根解体作業を行うにあたり、設置していた枠組足場が重機作業の邪魔になることから、建枠及び手すり材の単管を取り外している時に足を踏み外し、約10m下の地面に墜落した。	30209	1	30	～	49		
2006	12	9	木造2階建ての新築工事において、妻側の足場から2階屋根の破風の化粧合板を設置している際、打ち込んだ釘が斜めになり、くぎ抜きで抜くため足場を移動して取りに行こうと横移動したとき、足場からバランスを崩し約6mの高さから地上に設置された産廃ボックスの中に墜落した。	30202	1			10	～	29
2006	11	10	運送会社の整備工場内で、貨物自動車（10tウイング車）の荷台上部に雨漏れ防止用のシート（990×260cm）を取り付け作業中、荷台後部の角で、荷台上に敷かれた防水シートを粘着テープに貼り付けるため同シートを引っ張っているとき高さ2.66メートルの脚立足場上からコンクリートの地面に転落した。	80209	1			10	～	29
2006	11	19	現場に作業員が出勤したところ、駐車中の被災者の車を確認したが本人の姿はなかった。作業を開始し、前日の雨で基礎部分に溜まった雨水の撤去作業中、足場と建物基礎の間に倒れている被災者を発見した。（前日の作業は終了していたが、被災者は夜に再度現場に来た。）	30202	1			10	～	29
2006	11	15	鉄骨造倉庫の改造工事においてスレート屋根設置作業中、事業主が屋根に仮置きしたスレートの歪みを確認するため移動足場上に上がったところ一緒に上った被災者が墜落した。	30209	1			1	～	9
2006	10	8	鉄工会社の工場内において、被災者は橋型クレーンの塗装を行うためのつり足場（作業床の高さ6.3メートル）に、墜落防止用の安全ネットを取り付けるための準備作業中、つり足場に乗り開口部より墜落した。	30209	1			1	～	9
2006	10	16	外部足場の解体作業中、足場上（高さ12.25m）において、一段上の足場板を取り外し、運搬していた際、姿勢を崩し、外部に墜落した。	30201	1			1	～	9
2006	10	9	工事現場にて高さ12.3メートルの外部足場上で外壁波鉄板の取り付け	30201	1			1	～	



		10	け準備中の被災者が地上に墜落した。			9
2006	10	14 ～ 15	既設6階建店舗兼住宅の外壁改修工事において、足場組立中に高さ約15mの足場最上部（幅約20cmのくさび緊結式一側足場）の布板上よりアスファルト歩道上に墜落した。被災者は、地上より足場部材（壁つなぎに使用する長さ約1メートルの鋼管）を屋上に運搬するため、足場最上部に位置していた。	30209	1	1～ 9
2006	10	13 ～ 14	工場の出入口のシャッターの塗装業務を行うにあたり、高さが329cmローリングタワー上で、シャッターボックス（高さ494cm）の上塗り作業をしていた時、墜落した。	30209	1	1～ 9
2006	10	14 ～ 15	PC箱桁橋工の足場組立作業において、被災者は幅木に使用する足場板を作業場所へ運ぶ作業をしていたが、高さ約20メートルの足場上から墜落し、一度隣接する山の斜面に当たってから地面に落下した。	30105	1	50 ～ 99
2006	9	16 ～ 17	高さ3.8メートルのローリングタワー上で、天井吊のダクトをガス溶断で解体作業中、ダクトを吊り下げていたステーを溶断で切断したところ、ダクト全体が落下したことにより、若しくは、落下したダクトがローリングタワーに激突したはずみで、コンクリート床に墜落した。	30209	1	50 ～ 99
2006	8	11 ～ 12	駅ホームの上屋新設のための既設ホームの解体工事において、駅ホームの屋根及び上屋鉄骨の解体に使用した足場の撤去作業中、足場解体作業に従事していた被災者がホーム上に設けられた解体中の足場作業床上を移動中に3.9m下の線路上に転落した。	30104	1	50 ～ 99
2006	9	15 ～ 16	11階建、鉄筋コンクリート造の新築工事現場において、外部足場の解体作業中、5層目の足場上で6層目の床（鋼製布板15.1kg）を同僚と外していたところ、バランスをくずし布板とともに約7m下の地面に墜落した。	30201	1	30 ～ 49
2006	9	9 ～	直径6.7メートルの円筒形石油タンクの塗装工事に使用した外周足場の解体作業中、被災者が取り外した足場部材（踏板）を足場最上段にて積み上げていたところ、部材を乗せていた鋼製の踏板が変形し、積み上げ	30209	1	1～ 9

		10	ていた足場部材が落下した。当該足場部材の落下とともに被災者も1 4. 36メートル下の地上へと墜落した。			
2006	6	16 ～ 17	木造2階建住宅新築工事の建て方作業中、被災者は足場の作業床から建物の梁へ渡ろうとした際、作業床と梁の開口部から転落した。	30202	1	1～ 9
2006	6	13 ～ 14	被災者は外壁の足場（作業床40cm）上でモルタル仕上げ作業を行っていたが、足場から転落した。	30202	1	1～ 9
2006	7	16 ～ 17	被災者が、馬房の壁にコンパネの板を打ち付けるため、脚立2台の上から2段目に足場板（幅21cm、長さ308cm）渡し、ゴムバンドで固定し、足場板の上（高さ146.5cm）で作業中にアスファルト床に転落した。	30202	1	10 ～ 29
2006	7	15 ～ 16	ショッピングセンター新築工事において、モール吹き抜け部に棚足場を設置するため、地上17m上で木製足場板を敷きならべる組立作業を行っていた。その上部（4階スラブ）に設置されている鉄骨組立作業時に用いられていた水平ネット（落下養生）が当該足場の設置位置に重なり作業に支障を来すため、足場板端部で当該ネットを取り除いていたところ、1階コンクリート床に墜落した。	30201	1	100 ～ 299
2006	6	11 ～ 12	ボイラ大径管溶接部のクリープ寿命の研究のため、委託業者が行う試験に立ち会うため現場に入場し、業者と打合せ後に高さ9mの足場上で配管の溶接部を確認する作業中、約9m下のボイラ建屋4階のステージ上に墜落した。	120109	1	100 ～ 299
2006	4	15 ～ 16	マンション新築工事現場において行われていた外足場の解体作業中、西側外階段部分の幅2スパン×高さ27層の枠組足場の下から5層が北側に流れるように崩れ、上部22層が南側に倒壊し、当該足場の下方で根がらみの取り外し作業を行っていた被災者が崩れた足場の下敷きとなった。	30201	5	1～ 9
			外壁修繕工事で、足場組立作業において、建物の外周に亘る3層までを			

2006	4	9 ～ 10	組立てた後、1スパンだけを最上層の9層目まで先行して組立て、被災者は8層目の床上で、その後の足場資材を取り込むための荷揚げ設備であるホイスト（約20キログラム）をロープで引き上げ中に、6層目の上部の足場が倒壊し、7層目から9層目の足場と共に道路上に墜落した。	30209	5	1～ 9
2006	4	1 ～ 2	躯体屋上の雨水のくみ出しと清掃を一人で行うよう指示されたため、清掃用具を持って外部足場を利用し躯体の屋上へ向かった。しばらくすると鈍い音がしたので、近くにいた設備工の作業員が確認すると現場の敷地内に被災者が倒れていた。	30201	1	1～ 9
2006	4	16 ～ 17	高架高速道路の橋脚基礎フーチング開口部（6.4×6.4×深さ2.1メートル）の周囲に橋脚架設用枠組み足場を組み立てる作業中に、高さ3.6メートルの北面枠組み足場3層目作業床東端より、東面枠組み足場3層目作業床北端へ移動しようとしたところ、フーチング基礎の天端面コンクリート上へ約5.7メートル墜落した。	30105	1	1～ 9
2006	4	13 ～ 14	ビルの改修工事現場の布板一側足場において、足場の解体作業中、大筋交いの単管（長さ5.5メートル、重さ15キログラム）を足場4層目にいた被災者と足場5層目にいた同僚の2人ではずし、そのまま2人ではずした単管を地上にいる別の労働者に渡すため順送りで降ろしていたところ、単管を1人で保持した被災者が8メートルの高さから地上へ墜落した。	30209	1	1～ 9
2006	3	16 ～ 17	改装工事現場において、被災者は、床面に設置した移動式足場の作業床（高さ3.18メートル）上で、ガラス製天井部分の拭き取り作業を行っていたところ、床面に墜落した。	30203	1	30 ～ 49
2006	3	9 ～ 10	被災者は橋梁補修工事現場において解体作業中のつり足場内から河川に転落した。	30105	1	1～ 9
		14	橋梁の橋桁塗装塗り替え工事のために、橋桁下部に設置するつり足場の組立てを行っていたが、被災者が単管と単管とをクランプで留めていた			1～

2006	2	～ 15	ところ、足場板上から5.7メートル下部の河川に墜落し、行方不明となった。その後、現場下流で発見された。	30209	10	9
2006	3	8 ～ 9	被災者は、13階建てのマンション新築工事現場内において、屋上及び足場に積もった雪を除雪していたところ、高さ41.5メートル下へ墜落した。	30201	1	1～ 9
2006	2	12 ～ 13	無線設備に係る鉄塔の塗装工事現場において、被災者は塗装作業で使用する単管足場を鉄塔下部に組み立てる作業を行っていたが、昼休憩をとるため4層目の足場上から地上へ降りるために足場を移動中、2層目の足場から約3.7m下のコンクリート面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2006	1	10 ～ 11	工場棟の建築工事において、移動式足場を使用し、工場棟天井部に取り付けた冷媒設備附属配管の耐圧試験（窒素ガスによる漏れ試験）準備を行っていた被災者が、当該足場上から5.94メートル下のコンクリート床に墜落した。	30203	1	1～ 9
2006	1	15 ～ 16	移動式足場の手すりを97cmから75cmに付け替える作業中に、高さ3.3mの高さの作業床の端から墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2005	12	13 ～ 14	枠組足場2層目より躯体内に移動する際、躯体に移動するための安全通路を使用せず、足場筋交部から身を乗り出したところ、3.5m下の地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	10	9 ～ 10	外壁改修工事現場において、塗装作業を行う際、鋼管本足場より墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	1	16 ～ 17	工場の塗装工事現場において、作業終了後、段ボール箱を持ったまま、高さ7mの足場最上部の階段付近よりバランスを崩し、転落した。	30203	1	1～ 9
2005	3	11 ～	個人住宅の外壁撤去作業中、高さ4mの足場上で、しゃがんだ状態でトタン板にバールをねじ込んで剥がしていたところ、作業床と手すりの間	30202	1	1～

		12	から後向きに墜落した。				9
2005	11	15 ～ 16	高さ14mの足場上で、足場を解体するため足場部材をロープでくくり、路上につり下ろす作業中、既設足場の筋交いにつり下ろし中の部材が噛んでしまったため、ロープを引き上げたところ、ロープで括っていた部材が緩んで落ち、直後に作業中の被災者が墜落した。	30201	1		1～ 9
2005	12	13 ～ 14	橋梁の塗装工事のためのつり足場の組立作業中、組立中のつり足場上で足場板の受渡しを行っていたところ、バランスを崩し20m下のダム湖面に墜落し、自力で岸に向けて泳いでいる途中で溺れた。	30209	1		1～ 9
2005	8	9 ～ 10	ドック内で建造中の貨物船の足場架設作業において、足場溶接部が外れ、乗っていた足場板とともに17m下のドック底部に墜落した。	11501	1		10 ～ 29
2005	6	16 ～ 17	仮組みした足場をクレーンで移動させる作業において、ついていた足場が揺れて被災者が乗っている足場に当たって倒壊し、被災者が床面に落ちた。	11501	1		1～ 9
2005	4	17 ～ 18	船舶のハッチカバーのエアシリンダーの整備中、ハッチカバーが突然閉まり、被災者に激突、その衝撃でハッチ内に仮設していた足場の上から、12m下の船倉内通路に落下した。	11501	1		1～ 9
2005	2	16 ～ 17	マンション新築工事現場において、外部足場の解体作業中に、建屋6階荷受けステージの単管クランプを外した際に単管が斜めに下がり、15m下に墜落した。	30201	1		10 ～ 29
2005	5	10 ～ 11	スレート屋根の解体作業中、移動式足場の最上層（高さ4m）からコンクリート床面に墜落した。	30209	1		1～ 9
2005	12	10 ～ 11	住宅の屋根及び雨どい等の塗装作業のため、丸太足場を組立作業中、2mの高さから墜落した。	30209	1		1～ 9
		15	建設工事において、スラブ上で資材の運搬を指示していたところ、足場				10

2005	7	～ 16	の南面から外部に張り出したブラケットと歩み板もろとも地上に墜落した。	30201	1	～ 29
2005	3	11 ～ 12	工場南壁面塗装工事現場において、塗装の補助作業をしていたところ、高さ4mの足場から墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	3	14 ～ 15	資材置場にロープを取りに行き、作業場所へ戻る途中で足場から墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2005	8	16 ～ 17	棚足場組立作業中、結束されていない鋼製足場板の先端に乗ったため当該足場板が天秤状態となり、22m下のスタンド部に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2005	11	10 ～ 11	照明設備取付けのため、天井板裏の梁に足場板を掛け渡す作業中、梁から足を踏み外し、天井板を突き破り、6m下のコンクリート床に墜落した。	30201	1	30 ～ 49
2005	3	7 ～ 8	木造2階建ての建売分譲住宅の建築現場において、3mの高さで2階ベランダ部分の吹き付け塗装作業中に地面に墜落した。	30203	1	1～ 9
2005	10	14 ～ 15	橋の塗装工事現場において、足場の組立中、13m下の河川敷へ墜落した。	30309	1	1～ 9
2005	11	10 ～ 11	集合住宅の外壁の塗装工事を行うにあたり、地上に高圧水洗浄機を設置して、住宅の周囲に設置した足場（高さ12m）で被災者が水を噴射するホースを地上から引き上げていたときに、バランスを崩して足場の間隙から地上へ墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	6	16 ～ 17	焼却炉の外壁補修作業を行っていたところ、焼却炉の内部に組んであった脚立足場の作業床（高さ1.5m）から墜落した。	60101	1	10 ～ 29

2005	8	10	木造2階建てのペンション外部補修工事におけるアンテナ取替え作業において、ペンション外部に設置された枠組足場の外側から上っている際に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2005	10	11	橋梁塗装工事に使用されたつり足場の解体作業中、つりクランプよりつりチェーンを外したところ、隣りのクランプが外れ、足場板と一緒に下の川に墜落した。	30199	10	10 ～ 29
2005	3	14	住宅新築工事現場で、外壁フレキシブルボードのビス補強作業のため、単管足場に鋼製足場板をかけ、これに乗って作業中、足場板が転位し、1.5m下の地面へ墜落した。	30202	1	1～ 9
2005	10	15	左官補修工事を、高さ6.5mの足場の上で行っていたところ、躯体と足場間の開口部より墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2005	5	15	地下駐車場の足場組立中、高さ5.5mの足場の3段目からコンクリート床に墜落した。	30201	1	100 ～ 299
2005	4	14	足場の組立作業中に、足場の床から8.4m下の隣接する立体駐車場の庇まで墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2005	7	16	抱き足場（高さ22m）で作業中、足場から墜落し、隣の建物の屋上を滑り落ち、地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	4	13	個人住宅の外部塗装工事において、塗装作業の準備のため、枠組足場の1段目から2段目に材料を持ち上げようとしたところ、足場（高さ1.8m）から転落した。	30209	1	1～ 9
2005	8	15	住宅の解体工事現場において、高さ10mの枠組足場作業床上で散水作業をしていたところ、躯体と反対側に墜落した。	30209	1	10 ～ 29

2005	6	10 ～ 11	建造物の解体作業中、高さ11mの外部足場において防音パネルを取り外す作業を行っていたところ、ブレスの隙間から地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	10	17 ～ 18	エレベーター改修工事において、足場から足場板もろとも20m墜落した。	30302	1	10 ～ 29
2005	2	9 ～ 10	コンクリート建設現場の足場の4層目から墜落した。	30201	1	300 ～
2005	12	18 ～ 19	移動式クレーンを使用し、ステージ足場最上層に水槽を置く作業中、水槽を受け取るため1段下の足場に移動しようとした被災者が高さ11mの足場より墜落した。	30209	1	1～ 9
2005	8	11 ～ 12	鉄骨造ビル建設現場において、鉄骨用クライミング足場の盛替え準備作業を6階梁下に設けられた当該足場上で行っていた際、当該足場と柱を挟んで設けられていたつり足場との間の渡し板を手前に引きこもうとしたとき、4階コンクリート床まで7m墜落した。	30201	1	30 ～ 49
2005	11	7 ～ 8	自動車道建設工事において、鉄筋組立て作業に使用していた張出し足場を解体するため、足場板を結束していた番線を外し、集積していたところ、被災者がバランスを崩し、当該足場から下段にある張出し足場に墜落し、組立中の鉄筋に突き刺さった。	30106	1	50 ～ 99
2005	1	16 ～ 17	タンクの足場の解体作業中、作業位置から17m墜落した。	11501	1	10 ～ 29
2005	9	10 ～ 11	民家の外壁リフォーム工事において、くさび緊結式足場の部材を取り外していたところ、部材の重さでバランスを崩して2.3m下の地上に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
		11	木造2階建一般家屋の建築現場において、先行足場の組立作業中に高さ			1～



2005	7	～ 12	5mの作業床から墜落した。	30202	1	9
2005	12	13 ～ 14	足場シートの取外し作業を行うため、足場を移動中、本来2枚敷きであるはずの布板が1枚のみの場所があり、そこから地面へ墜落した。	30201	1	1～ 9
2005	8	11 ～ 12	工場内で、はけ塗り作業に使用したローリングタワーの解体作業中、2段目の作業床上にいた作業者が、足元の足場板1枚を下ろそうと持ち上げたところ、上端が天井梁に引っかかったためバランスを崩し転落した。	30309	1	1～ 9
2005	2	10 ～ 11	足場板等の解体作業を行っていたところ、誤って8m下の川の中（水深30cm）に転落した。	30105	1	10 ～ 29
2005	10	10 ～ 11	橋梁下部に設置していたつり足場の解体作業中、足場板が外れ、当該足場板とともに15m下の地面に墜落した。	30199	1	10 ～ 29
2005	8	16 ～ 17	被災者は、自社構内の新築途中の倉庫の2階に仮置きしていた袋詰め原料を使用することとなったため、倉庫外側に設置してあった足場に登り、倉庫内から原料を足場上に取出し作業中、袋と一緒に地面に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2004	3	10 ～ 11	共同住宅新築工事の躯体（く）体2階バルコニーの型枠解体作業で、天井部分のベニヤ板を外す作業を外部足場2層目から行おうとしたところ、手すりのない足場から墜落した。	30201	1	1～ 9
2004	9	10 ～ 11	マンション新築現場において、3階部分の窓ガラス取付けのため、足場の昇降階段からガラス板（1200×49、厚さ6mm）を1人で抱え運びあげる作業中、足場の下から3層目の踊場でバランスを崩し3.6m下に墜落し、そこにガラスが落下してきた。	30201	1	10 ～ 29
		15	鴨居の取付け作業を行うため、3脚の脚立に足場板（杉材）を通して作			1～

2004	6	～	業床を設置して（高さ1.1m）、当該作業床上を移動していた際に足を踏み外し、床に墜落した。	30209	1	9
2004	5	14 ～ 15	解体工事現場にて、丸太足場を設置し、高さ3.6mで養生シートを取り付ける作業中、地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	7	13 ～ 14	橋りょう整備工事現場において、橋梁に仮設されているつり足場を移動し、橋脚ブラケット足場に昇降するとき、橋脚と橋脚ブラケット足場の隙間より川（水深2.2m）に墜落した。	30105	1	1～ 9
2004	3	16 ～ 17	バラ積船の右舷側に張り出し足場（ブラケット2本及び鋼製足場板1枚）を設置し、溶接作業を行っていたところ海中に足場と共に墜落した。	11501	1	30 ～ 49
2004	11	11 ～ 12	垂直に立っているダム取水管の水密金具取り付けのため、管外周に組んだ足場上で作業中、足場とダム提体とのすき間から8.5m下に墜落した。	30101	1	1～ 9
2004	4	15 ～ 16	店舗の天井に取り付けられた空調設備の配管の接続を行うため、ローリングタワー（作業床高さ約3.6m）上で作業中、ローリングタワーの手すりが外れ、地上に墜落した。	30302	1	10 ～ 29
2004	3	9 ～ 10	店舗改修工事現場において、天井つりエアコンのつりボルトの取り付け作業を行っていて、高さ約2.5mの移動式足場から墜落した。	30203	1	1～ 9
2004	8	9 ～ 10	工場新築工事現場において、建家内部の仮設足場解体作業中、足場4段目上で上段（5段目）からの足場材（建柱）を、手渡しで受け取っていたところ、足場材とともに墜落し、途中の単管に当たった後、6.5m下のコンクリート床に激突した。	30201	1	30 ～ 49
2004	1	1 ～ 2	橋梁上部工工事現場でつり足場組み立て中に、組み立て中の足場の一部が崩壊し、足場上で組立作業を行っていた被災者が約16m下の地面に墜落した。	30105	1	1～ 9

2004	11	8 ～ 9	ビル屋上広告塔撤去工事のうちの広告塔内部塗装工事において、被災者が丸太足場上で、広告塔内部に設けた道板（長さ4m、幅20cm）足場を移動させるため道板の端を持ち上げたところ、反対側の足場端が梁からずれ落ち、丸太足場と一緒に約8m下のコンクリート床に墜落した。	30201	1	1～ 9
2004	4	9 ～ 10	足場の解体作業において、解体した5枚の足場部材（鳥居枠）を被災者が結束して、タワークレーンをリモコン操作してつり下ろしていたところ、隣接するビルに墜落した。	30201	1	1～ 9
2004	6	9 ～ 10	高速道路高架下で、通信ケーブルを増設するためのつり足場の設置作業中に12m下の雑草地に墜落した。	30201	1	1～ 9
2004	2	9 ～ 10	建物の解体工事における飛散防止養生のため、布枠を足がかりに登り、足場板に乗ったところ、足場板が外れたため、その拍子で8.7m下のアスファルトの上に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2004	10	11 ～ 12	公営住宅の改修工事において、枠組み足場からパネル部材を滑車で下ろす作業をしていたところ、滑車に取り付けられた同部材を足場外側へ押し出したはずみに地上へ墜落した。	30209	1	1～ 9
2004	7	7 ～ 8	木造平屋倉庫新築現場において、屋根の瓦葺き工事を行うために、既に設置されていた丸太足場の点検をするために、被災者が足場板に乗って点検していたところ、固定されていなかった足場板が腕木から外れ、足場板と共に約5m墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	9	10 ～ 11	工場内において、つり足場の解体作業を行っている際に、バランスを崩して約7m下の地面に墜落した。	11209	1	1～ 9
2004	9	17 ～ 18	橋の耐震補強工事において、つり足場の組み立て作業中、緊結されていない足場板の上に乗る、これが滑り落ちたために、約4m下のダム湖に墜落した。	30201	1	1～ 9
		8	7階建てマンションの補修工事のため設置されていた足場を解体する作			10

2004	8	～	業において、作業の前の下見をしていたところ、足場（高さ約20m）から墜落した。	30201	1	～	29
2004	11	～	屋内練習場新築工事現場で、屋内練習場の天井および壁に防球ネットを取り付けていた被災者が、ローリングタワー（手すりまでの高さ約6.4メートル、作業床の高さ約5m）から墜落した。	30201	1	1～	9
2004	5	～	建物改修工事において、建物内の鉄製らせん階段取付け作業中、2階作業床端（高さ3.65m）から、すぐ下に置かれていたローリングタワーに乗り移った時、ローリングタワーが転倒し、被災者が1階作業床に墜落した。	30201	5	1～	9
2004	4	～	工場屋内に設けられた足場上で、箒とサンダーを使って梁や柱の錆び落とし作業を行っていたところ、足場の作業床（高さ8.6m）から、工場床面へ墜落した。	30209	1	10	～
2004	3	～	アパートの2階ベランダ撤去のため、2層2列に組んだ枠組足場上でベランダをバールを使い撤去作業中、ベランダが落下しその拍子で足場が傾き足場上から墜落した。	30202	1	1～	9
2004	10	～	団地の外壁補修塗装工事において足場組立中、床付布枠を持上げて建枠の上に乗せた直後バランスを崩し約33m下の地上に墜落した。	30201	1	300	～
2004	10	～	集合住宅の防水工事において、被災者が枠組足場を移動中地面に墜落した。	30201	1	1～	9
2004	11	～	木造2階建住宅の外壁塗装工事において、建物周囲に設けた単管抱き足場にメッシュシートを取り付ける作業中、地上4mの作業場所からコンクリート道路上に墜落した。	30209	1	1～	9
2004	3	～	橋脚間の中床版架設中、ベント作業足場の中床版端部付近より墜落した。	30105	1	1～	9

2004	7	9 ～ 10	2階建て住宅（最高軒高さ：約7m）の建設工事において、足場の解体のため上部の単管を地上へ下ろしている際、足場3層目の作業床（高さ5.4m）から転落した。	30202	1	1～ 9
2004	10	9 ～ 10	台風の接近に備えて、足場の周囲に設けられていた飛来落下防止用のメッシュシートを一時的に取り外す作業に従事していたところ、足場とメッシュシートを緊結していたひもを外していたとき足場から約16m下の駐車場に墜落したもの。	30209	1	1～ 9
2004	11	9 ～ 10	9階建ビルの屋上の塔屋上に設置された広告塔の鉄骨の塗装工事のために設けられたつり足場の解体作業中、バランスを崩し、約20m下の隣のビルの屋上に墜落した。	170209	1	1～ 9
2004	10	11 ～ 12	台風の対策として、メッシュシートの取り付け作業をしていたところ、屋上外部足場から地上に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2004	4	13 ～ 14	既存建物の改造工事（鉄骨造り2階建）において、脚立と建物境界の塀との間に架け渡した足場板に乗り、外壁モルタル下地材のビス止めを行っていたところ、約1.7m下の地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2004	4	8 ～ 9	物置の組立作業中、高さ2.4mの足場上で長さ約4m重さ約70kgの通し梁の片側を肩に背負って移動している最中、バランスを失い梁と一緒に墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	10	14 ～ 15	マンションベランダの軒下工事において、足場組立作業中、被災者が設置中の足場板の上を安全帯を使用せず通行し、足場材もろとも約18m下の地上に墜落した。	30203	1	1～ 9
2004	9	13 ～ 14	鉄筋コンクリート3階建て新築工事現場で、外部鋼管枠組足場の足場解体作業を行っていたところ、足場3段目の作業床から地面に墜落した。	30201	1	30 ～ 49
2004	6	9 ～	木造2階建ての住宅新築工事で、1階の軸組み作業を行っていた時に、上部から墜落した。	30202	1	10 ～

		10				29
2004	11	14 ～ 15	シートパイルを四方に打ち込み資材置場を作る工事において、強風により、シートパイルを掴んでいた被災者が荷とともに外部足場外に押し出され、建地に掛けていた安全帯のフックが抜け、5.4m下の地面に墜落した。	30199	1	30 ～ 49
2004	9	10 ～ 11	工場内に組まれた足場の解体作業中、建地のクランプの一部を取り外した状態の張出し部分の作業床に誤って上がったところ、当該足場の枠が回転したため、工場の床面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2004	10	9 ～ 10	橋梁上部工建設工事現場の架設作業車で組立作業中に、作業車最上部に設置されている張り出し足場の足場板を支持している支持材（C型チャンネル）の位置を変更しようとして、足場板に乗ったところ、支持材、足場板が固定されていなかったため、天秤状態となり、約13m下の地面に墜落した。	30105	1	100 ～ 299
2004	7	13 ～ 14	工場内の空調用ダクトを撤去するため、ダクトの状況を確認しようとして、ローリングタワーのはしごを昇っていたところ、下から5段目（高さ約2.5m）の踏さんからバランスを崩し、墜落した。	30203	1	10 ～ 29
2004	9	17 ～ 18	木造2階建て個人住宅の新築工事現場において、2階床梁上に掛け渡した足場板上に上がって、部材の荷下ろし作業中、足を踏み外して3.6m下のコンクリート土間へ墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	7	13 ～ 14	ダクト更新工事において、ダクト接続部の溶接作業を行っていたところ、高さ7.4mの足場から墜落した。	170209	1	10 ～ 29
2004	12	14 ～ 15	倉庫増築工事現場で、鉄骨のもやに屋根材を取り付けるためにローリングタワーの最上部に乗り溶接作業中、約5m下のコンクリート土間に墜落した。	30201	1	1～ 9
2004	12	15 ～	民家の外壁改修工事において、高さ1.8mの足場作業床で桶をハケで塗装していたところ、手すりの端から約4m下の隣家の敷地に墜落した。	30202	1	10 ～

		16				29
2004	7	10 ～ 11	炉頂外壁改修のため設置した単管足場の解体作業において、約35m下に墜落した。	30209	1	1～ 9
2004	10	13 ～ 14	台風で破損した木造2階建住宅の屋根の補修工事で枠組足場に乘って、屋根を一時的に支えるジャッキをセットする作業を行っていたところ、バランスを崩して約4.5m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	9	14 ～ 15	木造家屋建築工事現場において、2階窓の手すりを取り付けるための穴開け作業中、高さ約3.5mの足場から墜落した。	30202	1	1～ 9
2004	2	10 ～ 11	2階建て住宅工事中、足場の2段目（高さ約3.5m）に立ち、ビス一箱を既設の中2階にいた他の作業者に手渡したところ、足を滑らせ墜落し、墜落箇所付近に置かれていた溶接用アセチレンボンベにぶつかった。	30202	1	1～ 9
2004	6	13 ～ 14	木造家屋建築工事現場において、サッシに窓ガラスを取り付けるため、足場（高さ1.7m）に上がり、下にいる同僚と窓ガラスを持ち上げていたところ、ガラス運搬用工具のゴム製吸盤が外れたため窓ガラスが落ちて割れ、その反動で足場から落ち、割れたガラス上に墜落し、さらにガラスの破片で切った。	30203	1	1～ 9
2003	12	10 ～ 11	工場内に設置されていたジブクレーンの解体工事で、ローリングタワーに載ってクレーンのジブの補強材として取り付けられていたテンションバーを取り外したときに、テンションバーを支えていた者がテンションバーの重さ（約50kg）でバランスを崩して4.8m下のコンクリート床に墜落した。	30302	1	1～ 9
2003	12	13 ～ 14	11階建マンションの新築工事において、同僚と2名で建屋内9階のロングスパン工事用エレベーター昇降路周辺のコンクリートに足場から垂直方向に墨出し作業を行っていて、昇降路内の梁へ移動しようとしたときに約25m下に墜落した。	30201	1	10 ～ 29

2003	12	15 ～ 16	体育館の雨漏り改修工事において、最上層の足場端部の手すりを乗り越えて屋根に「螻羽（けらば＝屋根妻側端部に取付ける部材）」を取付けていたときに、高さ約16mのところから墜落した。	30201	1	1～ 9
2003	12	9 ～ 10	倉庫の外壁改修工事において、高さ5.35mの足場上でトタン板の釘打ち作業中に足場から地面に転落した。	30202	1	1～ 9
2003	11	9 ～ 10	店舗の新築工事において、板金材料を移動式クレーンで屋根に荷上げする作業を手伝うため、枠組み足場の昇降階段を昇っていて高さ約6mの個所から墜落した。	30203	1	1～ 9
2003	11	8 ～ 9	新築住宅の外壁の出窓付近のコーナー塗装のため、高さ5.4mの足場板上を通行していて墜落した。	30202	1	1～ 9
2003	11	11 ～ 12	枠組足場で防音壁の板貼り作業が終了し、片付け作業に取り掛かったときに高さ約3.5mの足場板上から墜落した。	30202	1	1～ 9
2003	11	17 ～ 18	住宅の新築工事において、一人で作業中の者が意識を失い高さ3mの足場上で足場エンドの鋼管パイプに首をもたれかけ窒息死しているところを施主に発見された。	30202	90	1～ 9
2003	11	11 ～ 12	軽量鉄骨造3階建の住宅工事において、3階の鉄骨梁のボルト固定作業を鉄骨柱に取り付けられた作業床（30×40cm）上で行っていたときに、バランスを崩して約7.5m下の土間コンクリートに墜落した。	30201	1	1～ 9
2003	11	16 ～ 17	砂防堰堤建設工事で、ブラケット足場組立のため移動式クレーンで荷（足場板10枚）を5層目のブラケット上に降ろし、4層目の足場上で荷の玉掛け用ワイヤロープを外して巻上げたときに、荷が崩れて荷とともに約6m下の地面に墜落した	30108	1	30 ～ 49
2003	11	10	体育館建築工事で、内部足場（ステージ）の組立作業中に、単管に掛け渡して固定されていなかった木製の足場板とともに約8.7m下のコンク	30201	1	30 ～



		11	リート床に墜落した。			49
2003	11	13	マンションの修繕工事において、足場6段目上でマンション5階のベランダ手すりのペーパーがけ作業をしていたときに、約15m下の川に墜落した。	30309	1	1～ 9
2003	10	8	外部足場の解体作業で、部材の上げ下ろしのため外部足場・繋ぎのコーナー部の単管手すりを外した直後に5段目の足場から約8.5m下のウッドデッキ上に墜落した。	30201	1	30 ～ 49
2003	10	22	高速道路の柱脚上部つり足場（高さ約10m）で足場の解体作業中に、解体した単管とともに地上に墜落した。	30105	1	10 ～ 29
2003	10	14	マンション新築工事の外部足場の解体作業において、枠組み足場4スパン・2段ユニットを移動式クレーン（つり上げ荷重50t）でつり上げたところ、建枠のピンに手袋が引っかかって足場材とともに宙づりとなり、その後、約7mの高さから地上に墜落した。	30201	1	50 ～ 99
2003	10	10	住宅の玄関上部の瓦葺き替え作業中で、2層に組んだ鳥居枠の上に鋼製布板を敷いて手すりを設けていない足場（高さ約3.5m）から墜落した。	30209	1	1～ 9
2003	10	14	地上約30mの外部足場上（建物12階部分）で、補修のため吹き付け塗装した個所を、ローラーで他の個所と模様を合すための作業を行って、足を踏み外し地上まで墜落した。	30209	1	1～ 9
2003	9	11	住宅新築工事において、ALC板の貼り付け作業が終了して次の作業の準備にとりかかるため、足場1段目に昇っていて足場から地面へ墜落した。	30201	1	1～ 9
2003	9	10	躯体（く）体の周りに設けられた足場上で作業中に、足場と躯体（く）体の隙間（約50cm）から7.65m下の地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
		17	マンション屋上に設置されている携帯電話アンテナを増設するため、マ			1～

2003	9	～	ンションの3階屋上部に足場を組立しているときに、クランプ等を収めた	30301	1	9
		18	麻袋を運搬していた者が足場から3階屋上部に墜落した。			
2003	9	～	外部足場の解体作業で、水平支持材として用いられていた長さ4m50cm	30201	1	30
		15	の単管パイプを取り外していたときに、単管パイプとともに足場上から			～
			約21m下の建物2階ひさしに墜落した。			49
2003	9	～	建物外壁の改修工事において、足場上で建物窓サッシのクリーニング作	30209	1	1～
		8	業を行っていたときに、足場作業床と建物間の開口部（幅1.0m、奥行き			9
		9	0.4m）から約6.6m下の建物入口の屋根に墜落した。			
2003	9	～	鋼製橋桁のつり足場設置で、3つ目の作業床（3m×4m）を地上で組立	30105	1	1～
		13	てて移動式クレーンで橋桁下までつり上げ、つったままの状態で作業床			9
		～	に作業員が乗り移り、橋桁の下部に単管用キャッチクランプを取り付け			
		14	てつりチェーンをひっかけ、次に2つ目と3つ目の作業床を単管でつない			
			でいたときに単管を足で蹴ったため、作業床が揺れてチェーン1つとク			
			ランプ1つが外れ作業床ごと2名が30m下に落下した。			
2003	9	～	鋼製橋桁のつり足場設置で、3つ目の作業床（3m×4m）を地上で組立	30105	1	1～
		13	てて移動式クレーンで橋桁下までつり上げ、つったままの状態で作業床			9
		～	に作業員が乗り移り、橋桁の下部に単管用キャッチクランプを取り付け			
		14	てつりチェーンをひっかけ、次に2つ目と3つ目の作業床を単管でつない			
			でいたときに単管を足で蹴ったため、作業床が揺れてチェーン1つとク			
			ランプ1つが外れ作業床ごと2名が30m下に落下した。			
2003	9	～	乾燥精米機の解体作業で、乾燥精米機に接続された配管の取り外し作業	80209	1	1～
		9	を高さ約4.9mにあった木製の水平材に足を掛けて行っていたときに、コ			9
		10	ンクリートの床へ墜落した。			
2003	8	～	ローリングタワー（枠組み1段）上で内壁のボードを取り付けていると	30201	1	10
		16	きに、1.88m下のコンクリート床に墜落した。			～
		17				29
2003	8	～	外壁補修のために組み立てた外部足場の解体作業中に、解体手順を誤り	30201	1	10
		8	高さ約12mの張出した足場から地上のコンクリートブロック敷のところ			～

		9	に墜落した。			29
2003	8	11 ～ 12	3階床のコンクリート打設作業において、作業合間の小休止中にカキ氷の差し入れがあったので3階床の型枠上で受け取り、足場上の同僚に渡すために躯（く）体から足場に渡ったときに、足場上で転倒して高さ82cmの手すりの下から11m下の地面に墜落した。	30201	1	1～ 9
2003	8	15 ～ 16	外壁タイルのクリーニング作業中に、誤って枠組足場の3層目の作業床（高さ5.2m）から墜落した。	30201	1	100 ～ 299
2003	8	18 ～ 19	工事用エレベーターの昇降路を金網枠を用いて囲う作業中に、昇降路の内側に取付けられたブラケット足場から地下1階の床まで約26m墜落した。	30201	1	50 ～ 99
2003	7	15 ～ 16	木造3階建新築住宅の外壁塗装作業で、屋上ベランダ付近の外壁下塗り作業を行っているときに外部足場から10.65m下に墜落した。	30202	1	1～ 9
2003	7	16 ～ 17	小学校の校舎解体工事において、校舎3階の上部防音パネルを一枚とり外してその開口部からガラ袋を投下していたときに、バランスを崩して後ろ向きに倒れこみ、そのときに下部の防音パネルが外れたため高さ8.07mの足場から転落した。	30201	1	30 ～ 49
2003	7	10 ～ 11	円筒形のタンク(直径18m、高さ25m)の塗装のため、外部足場の11段目（高さ17m）で枠組足場材を運搬中に、足場から墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2003	7	16 ～ 17	朝顔先端部の鉄板を単管パイプに番線で結束するため2名で先端部で作業していたときに、朝顔の先端が前に傾いたため高さ9mの位置から墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2003	7	16 ～ 17	朝顔先端部の鉄板を単管パイプに番線で結束するため2名で先端部で作業していたときに、朝顔の先端が前に傾いたため高さ9mの位置から墜落した。	30201	1	10 ～ 29

2003	5	14 ～ 15	橋梁の床版工事用のつり足場の解体中に、鋼製の足場板1枚とともに約6m下の河原に墜落した。	30105	1	30 ～ 49
2003	5	16 ～ 17	高さ約8.7mの個所での足場組立作業で、足場板を取り付けようとしたときに、バランスを崩してコンクリートタイル張りの地上に墜落した。	30201	1	1～ 9
2003	5	11 ～ 12	ビル外壁の塗装工事において、足場（10段）の組み立てが終了し、引き続いて足場へ養生ネットを設置するため足場の外側を伝って下の段に降りようとしたとき、約10m（足場5～6段目）下に墜落した。	30201	1	1～ 9
2003	5	15 ～ 16	地上45mに設置された鉄塔の外柱鉄骨接合部用の架設足場の解体準備作業中に、地上高さ17mまで組み立てられた枠組足場上へ墜落した。	30209	1	1～ 9
2003	4	8 ～ 9	棚足場（長さ4m、幅20cm、高さ1.89m）の解体作業で、緊結してあった鉄線を切って足場板を4枚取り外し、足場板を地面に降ろすため棚足場上を移動していたときに、乗った足場板が天秤状態となったためバランスを崩して転落した。	30199	1	1～ 9
2003	4	16 ～ 17	社宅解体工事において、トビ職が足場組立作業中に約7.4mの足場上から墜落した。	30209	1	30 ～ 49
2003	4	10 ～ 11	下水道の処理施設新築工事において、足場の上で他の労働者が足場上に運んできた鉄筋を整理していたときに、足場上から転落した。	30110	1	10 ～ 29
2003	4	14 ～ 15	鉄筋コンクリート造3階建社宅解体工事において、本館解体のための外足場の組立作業中に、横で前日解体したガラをダンプ・トラックに積込む作業を行っていたドラグ・ショベルのアームが旋回してきて、アームの肘の部分が組立中の足場の3段目に接触したために足場がずれ、はずみで足場4層目で5層目の組立作業をしていた者が7.2m下のコンクリート土間に墜落した。	30209	1	10 ～ 29

2003	3	14 ～ 15	ゴルフ練習場近辺で局所的な竜巻が発生し、防球ネットを支える支柱の上部が折れたり落下したりしたので、その個所の撤去、修復、支柱全体の補強の作業のため、各支柱の上部に足場を設置して破損した支柱最上部でガス溶断中に足場から墜落した。	30209	1	1～ 9
2003	3	13 ～ 14	8階建マンションの外壁改修工事において、躯体（く）体南側6層目の作業床上で7層目の枠組足場を組立てているときに、高さ約10mの足場から墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2003	3	14 ～ 15	新設化学プラントにおいて、反応器の配管及びバルブの保温作業中に高さ3.72mの足場から墜落した。	30302	1	10 ～ 29
2003	3	11 ～ 12	雨水排水溝工事において、立抗（深さ18m）内に足場を組むため、地上で組み上げた足場（枠組足場2段、高さ約5m）をクレーンで立抗内に降ろす作業をしていたときに、つっていた足場から立抗最下部に転落した。	30102	1	10 ～ 29
2003	3	16 ～ 17	足場上から高架橋の橋脚の型枠の取り外しを行っていて、足場と躯体（く）体にできていた隙間（約0.45m）から約8m下に転落した。	30105	1	50 ～ 99
2003	2	11 ～ 12	鉄筋コンクリート3階建の3階外壁の補修作業で、地上約7mの鋼製枠組み足場の上を移動中に墜落した。	30201	1	1～ 9
2003	2	11 ～ 12	ボックスカルバートの設置で、型枠材および支保工に使用していた鋼管枠を解体しようとしたが根太材の取り外しがうまく行かなかったため、鋼管枠との間（約80cm）を移動しようとしたときに、バランスを崩して約3.6m下のコンクリート床面に墜落した。	30106	1	30 ～ 49
2003	1	15 ～ 16	工事現場において、足場設置後にコンパネで全床を養生するために、長さ4mのさん木を450mm間隔で後向きに仮置き作業中、荷上げ用の開口部より約4m下のアスファルト道に転落した。	30201	1	10 ～ 29

2003	1	14 ～ 15	橋梁の塗装工事において、アーチ部の上塗り作業をしていた者が、足場作業床（幅80cm×120cm）から一段上（高さ90cm）に設置していた足場作業床（幅40cm×120cm）に移動するときに、足場板と足場板との間（幅70cm）から約7.2m下のつり足場の上に墜落したあと、防網の隙間から約23m下の地面に墜落した。	30309	1	30 ～ 49
2003	1	9 ～ 10	店舗の改修工事において、ローリングタワー上で壁のはつりの墨出し寸法の確認作業を終え、足場に取り付けられた昇降はしごで土間（アスファルト）に降りようとしたときに、足場から1.75m下に墜落した。	30209	1	100 ～ 299
2003	1	8 ～ 9	屋根張り作業を行うため、地上から高さ約5.5mの屋根上に登ったところ、ベニヤ板に書き込むエンピツを忘れたのに気づいて屋根から躯体（く）体外側に設置されたブラケット足場の2段目（高さ約4.1m）に移ろうとしたときに、足場上でつまずき躯体（く）体内側に落下した。	30201	1	1～ 9
2002	12	10 ～ 11	高さ約6.8mのところ足場の解体作業中に、移動しようとして足を滑らせ墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2002	12	10 ～ 11	艀装中のタンカーの足場を解体中、誤って足場板の上（高さ8.17m）から船底へ墜落した。	11501	1	10 ～ 29
2002	12	9 ～ 10	住宅新築工事において、足場上で屋根の樋受けを取付けているときに、約4.5mのところから仰向けに墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	12	8 ～ 9	アパートの改修工事において、単管抱き足場の解体中に5.1m下に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2002	12	16 ～ 17	木造2階建てアパートの新築工事において、外部足場（高さ4.2m）上で屋根の組立作業を行っていて、足場と躯体との間の開口部（38cm×2.8m）から4.2m下の1階コンクリート基礎部分に墜落した。	30202	1	1～ 9

2002	2	11 ～ 12	うまに歩み板を渡して足場（高さ1.3m）とし、かけやで梁のかけ替え作業を行っているときに、バランスを崩して足場からコンクリート床に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	11	16 ～ 17	建物屋上に排水パイプを設置する工事で、取付け位置を床下から確認するため屋上から外部足場に乗り移ったときに、約8.5m下に墜落した。	30201	1	1～ 9
2002	1	10 ～ 11	増改築工事において、3階サンルーム解体用のステージ組立のため、鋼管枠組足場1段目布板上（高さ1.81m）で2段目布板上の足場板を番線で固定しているときに1.81m下の2階床面に墜落した。	30201	1	1～ 9
2002	12	11 ～ 12	木造家屋増築工事において、外部足場（高さ1.8m）上で外壁モルタル下地のラス網貼り作業中に、足場から足を踏み外して転落した。	30202	1	1～ 9
2002	11	14 ～ 15	工場天井付近の内部足場解体作業中に、足場から約10m下の工場床面まで墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2002	11	0 ～ 1	住宅総合展示場の高さ約7mの看板の貼り替え作業において、高さ3.7mの足場作業床から墜落して頭部を激突した。	170209	1	1～ 9
2002	11	22 ～ 23	10建マンションのベランダ改修工事において、足場（19層目）の交さ筋かいに安全帯をかけメッシュ製養生シート（質量4.5kg）5枚をロープで引き上げていたときに、交さ筋かいが交差部で折れたため27.7m下のコンクリート屋根に墜落した。	30201	1	1～ 9
2002	9	14 ～ 15	タンク（高さ19.37m、直径14.44m）の内部を手持ち式のショットブラストで研磨中、タンク内部側面に設置された足場の6段目（高さ9.3m）から墜落した。	170209	1	1～ 9
2002	10	11	橋梁下部工の橋台において、壁面けれん（モルタルかす等除去）作業を外部枠組足場3段目足場上で行っていたときに、転倒して足場の筋かい	30105	1	1～ 9

		12	の隙間から5.5m下のコンクリート踊り場へ墜落した。			
2002	9	11 ～ 12	モルタル入りのペール缶（重さ約10kg）を高さ約3.5mのステージ上へトラロープで引き揚げる作業中、ペール缶が落下しそうになったのでペール缶を掴むため手すりとおさんの隙間から身を乗り出して墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2002	9	16 ～ 17	家屋新築工事において、外壁を張る前作業として防水シートを取付け作業中、足を踏み外して足場外側の5.9m下の地面に置かれた単管部材の上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	9	16 ～ 17	屋根の塗装作業に使用した足場の解体作業で、解体した布杵を足場上の一個所に運んで積む作業中に足場の作業床から10.60m下に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2002	9	14 ～ 15	住宅新築工事において、2階部分に組まれた脚立足場（地上高さ約4.4m）の上に乗る天上部分の補強材を取り付ける作業中、バランスを崩して開口部から1階の地面上に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2002	9	11 ～ 12	ダム本堤下流部の垂直壁リフトの型枠組立て作業で、足場上（キャットウォーク）で型枠固めのためチェーンを張っていたときに手が滑り、その反動で足場と手すりの間から2m下の地面に墜落した。	30199	1	10 ～ 29
2002	8	10 ～ 11	商店街の街路灯の防錆及び塗装工事をローリングタワー（157×185×高さ487cm）を車道上に設置して行っていたところ、T字路交差点を右折して進入してきた軽ワゴン車がローリングタワーに衝突し、その衝撃でローリングタワーが半回転し、上で作業していた作業員2名のうち1名が死亡した。	170209	1	1～ 9
2002	7	9 ～ 10	屋上防水工事の資材を足場に設置した巻上機を使用して屋上に荷揚げする作業中、4階屋上部分で資材を受け取るためにパラペット上に立っていて体調不良を訴え、その直後に約12m下の通路上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2002	4	11 ～	カラーベスト製造建屋内の高さ6.92mの吊り足場上で梁に堆積したアスベスト粉じんの清掃作業を行っていて、昼食休憩のために下に降りるた	170209	1	1～ 9



		12	め足場上を移動中に、足を踏み外してコンクリート床に墜落した。			
2002	7	8 ～ 9	R C造2階建の建設物の外壁改修工事に使用した枠組み足場の解体作業で、建枠を取り外したときにバランスを崩して高さ8.8mのところから隣接する屋根に転落したのち地上に墜落した。	30201	1	1～ 9
2002	8	14 ～ 15	高校の大規模改造工事において、校舎屋上の水槽タンク用配管の撤去作業中に雷が鳴り始めたため、屋上から校舎外部に設置された枠組足場を使って3階の教室内部へ渡ろうと筋かいを超えて教室の窓枠に足を掛けたときに、足を滑らせて8.7m下へ墜落した。	30203	1	1～ 9
2002	7	16 ～ 17	木造2階建て住宅新築工事において、枠組足場上（高さ3.5m）で布板上のカラートタンを屋根に取り付ける作業中に足場から地上に転落した。	30202	1	1～ 9
2002	8	14 ～ 15	砂防堰堤新設工事において、地上より6mの足場上（キャットウォーク）で型枠解体作業中に休憩に入るため、足場から堰堤の上部コンクリート上に降りようとしたときに、足を滑らせて6m下の河床に墜落した。	30108	1	1～ 9
2002	8	9 ～ 10	2階建倉庫の塗装工事で、枠組み足場の先に単管で作られたブラケット足場に立ったときに歩み板が外れ、歩み板とともに5.8m墜落した。	30209	1	1～ 9
2002	5	14 ～ 15	工場新設工事において、屋根の垂木材の切断作業をパイプ脚立を用いた足場（高さ178cm、長さ400cm）上で作業を行っていたときに、パイプ脚立の脚が地面にめり込んで足場が不安定になり178cm下の地面に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2002	7	9 ～ 10	外壁塗装準備のため躯体と外部足場の間に取り付けられた水平養生ネットの撤去作業中に、高さ約6mの足場作業床と躯体の間から墜落した。	30201	1	100 ～ 299
2002	7	16	駅の建築修繕工事において、駅の底上に足場を設置するため6段目の交差筋交いを取付けようとしていたときに、誤って5段目布板上から8.81m	30209	1	10 ～

		17	下の庇に墜落し、さらに4.15m下の地上に落下した。			29
2002	11	11 ～ 12	木造2階建の家屋の新築工事において、足場から梯子へ乗り移るときに3.8m下のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	50 ～ 99
2002	7	14 ～ 15	橋梁補修工事において、橋脚上に足場板を掛け渡すためにチェーンで吊られた足場板上を移動しているときに、バランスを崩して12m下の川へ墜落し溺死した。	30209	1	10 ～ 29
2002	7	13 ～ 14	木造平屋1階建の新築工事において、鋼製枠組足場の1層目の布板上で出窓の取付け作業中に転落した。	30202	1	1～ 9
2002	6	10 ～ 11	土蔵の移設及び屋根の葺替工事において、高さ5.35mある枠組足場上で屋根に歩み板を設置するため屋根上にあった葺替用の瓦を作業床に仮置きしようとしたときに、作業床から墜落して地面に激突した。	30202	1	1～ 9
2002	6	13 ～ 14	住宅の新築工事において、2階の梁の組立て作業中に足場（先行足場）から8.15m下のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	5	9 ～ 10	高さ約3mの足場上で配管及び金具の塗装作業を行っていて、足場から地上に墜落した。	30203	1	10 ～ 29
2002	4	14 ～ 15	船台ブロックの取付作業（ブロックとブロックを溶接するため、ガス溶断でブロック接合部の開先をとる作業）を行うため、船のタンク内にハッチから入り、木の足場板の上を歩いて作業場所に行く途中で足場板を踏み抜き約15m下に墜落した。	11501	1	50 ～ 99
2002	5	10 ～ 11	RC造5階建て建物解体現場の3階において、4階スラブ小梁を補強（4階に重機が乗るので）するための支柱（514.5cm）を立てる作業で大引き受けジャッキの微調整を行っていたところ、支柱が倒壊し支柱共々地面に倒れて支柱の下敷きになった。	30302	1	1～ 9

2002	4	18 ～ 19	ローリングタワー（高さ3.65m）を使用して工場内の天井にケーブルラックを取り付ける作業を行うため、ローリングタワーの補剛材を利用して昇降を行っているときに墜落した。	30301	1	1～ 9
2002	4	11 ～ 12	木造家屋の改修工事現場において、屋根塗装作業のため単管足場の2層目を通行していて足を踏み外し、3.9m下の地上へ墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	3	11 ～ 12	船体ブロックに吊り足場を設置する作業において、組立中の吊り足場びり吊り具（帯鋼支持材）が座屈して作業床が大きく傾いたため、約11m下の地上に墜落した。	11501	1	10 ～ 29
2002	4	11 ～ 12	建設中の橋桁橋面上で壁高欄（欄干）のコンクリート打設作業中、「ドン」という音が3回聞こえたので型枠の底板が下がったものと考えてブラケット足場に下りて底板を確認していたときに、突然型枠支保工と足場が長さ22mにわたり崩壊し17.2m下の地面に落下した。	30105	5	100 ～ 299
2002	3	1 ～ 2	空港国際線ターミナルビルのボーディングブリッジ（旅客搭乗橋）定期補修作業で、高さ2.2mの移動足場に乗り目視点検を終えて地上に降りようとしてバランスを崩し転落した。	30302	1	1～ 9
2002	3	15 ～ 16	納屋の新築工事において、一側ブラケット足場上（高さ約4.2m）で外部真壁の下地塗り作業を行っていて足場の内側より墜落し、一階窓の底でバウンドしたのち、足場の外側にあるアスファルト道路横のコンクリートの蓋で覆われた水路上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2002	2	10 ～ 11	ゴルフ練習場において、1階天井の塗装作業を行っていて高さ2.3mの手すりのない足場上から墜落した。	170209	1	10 ～ 29
2002	2	10 ～ 11	精米工場の底の化粧用ALC板の塗装作業中、高さ5.1mの足場から墜落した。	30201	1	1～ 9
		9	道路防災工事で山側法枠部分の張出足場の解体中、足場材を地上に降ろ			10

2002	1	～	すために法枠に沿って設けられた単管足場に乗り上から手渡しで降ろす	30106	1	～
		10	作業を行っていたときに2.37m下に墜落した。			29
2002	2	～	自動車道の高架橋工事現場で、床版コンクリート打設作業で付着した鋼	30105	1	10
		9	桁のノロ（コンクリートの汁）の水洗い作業準備中に、約27m下のコン			～
			クリート道路上に墜落した。			29
2002	2	15	7階建マンション外装工事において、7階部分に設けられたつり足場（隣	30201	1	1～
		～	接した2つの建屋の屋上パラペットに渡された単管から吊り下げられた			9
		16	もの）の解体を行うため、足場の作業床を取り外したところ足場が振れ			
			たため、バランスを崩して約19m下の地面に墜落した。			
2002	2	～	工場軒下の鉄骨塗装作業のため、高所作業車の作業床より足場板を張り	30209	1	10
		11	出し、その上で塗装作業を行っていたときに、3m下のコンクリート床			～
		12	に墜落した。			29
2002	2	16	ケーソン製作用枠組足場解体のため、枠組足場4列3段をクローラクレ	30209	1	1～
		～	ンで吊り仮置場に移動し、足場に上がって玉掛用ワイヤロープを外し、			9
		17	クレーン運転者に巻き上げの合図を行ったところ、ワイヤロープが足場			
			に引っ掛かって足場が転倒し頭部を強打した。			
2002	2	15	ビル外壁補修工事に伴う足場組立作業中、足場上から約33.1m下の歩道	30201	1	1～
		～	（レンガ敷詰め）に墜落した。			9
		16				
2002	7	～	養護施設の新築工事現場において、休憩後、外壁の型枠取付作業を開始	30201	1	1～
		10	しようとした時に、足場の手すり（高さ82.5cm）と作業床の間の隙間か			9
		11	ら5.17m下に墜落した。			
2001	12	13	8階建マンション建設工事において、枠組足場12層目で養生メッシュ	30201	1	10
		～	シート等を結び直して建わくにつかまって一層下の足場に降りようとし			～
		14	たときに1階にあったロングスパンエレベーターの屋根上に約15m墜落			29
			した。			
		11	学校体育館の天井部分のシステムトラスを組み上げるため、体育館のほ			10

2001	11	～	12	ぼ全面にわたり枠組み足場を組み立て、最上層において墜落防止用の防	30201	1	～	29
2001	11	～	10	9 外壁塗装工事が終了し塗装が飛散しないように張っていたメッシュシー	30203	1	1～	9
2001	10	～	7	6 鉄骨鉄筋コンクリート建築工事において、朝礼後、コンクリート打設作	30201	3	30	～
2001	10	～	15	7 業を行うためロングスパン工事用エレベーターで8階のステージに上			49	
2001	10	～	14	14 り、打設箇所の点検を行っていたところ、8階の外部足場階段付近でう				
2001	10	～	15	15 ずくまり、その後4mほど歩いてうつ伏せに倒れた。(急性硬膜外血腫)	30209	1	1～	9
2001	9	～	10	9 重油タンクの外面塗装工事に使用する外部枠組足場の組立て作業におい	11501	1	1～	9
2001	9	～	18	10 て、4段目の鋼板布わく(高さ約7. 5m)上で建枠を設置していたとき建枠				
2001	9	～	17	17 の内側のジョイントが先に入ったため外側のジョイントが入らなくなっ	30202	1	1～	9
2001	9	～	16	18 たので、内側のジョイントを抜こうとして力をいれたところジョイント				
2001	9	～	17	16 が突然抜け、その反動でバランスを崩し地上に墜落した。	30209	1	30	～
2001	9	～	10	17 ビル解体工事において、ほこり防止のための水撒き作業を行っていた者			49	
2001	9	～	10	9 高さ10. 2m、直径10. 3mの重油タンクを解体するため周囲の枠組足場	30209	1	1～	9
			14	10 のうち不用になった上部の足場を解体中に解体した足場板を持って高さ				
				14 8. 55mの足場上を移動していてタンク内に墜落した。				
				14 建築工事現場において、足場の3層目での塗装作業中に、塗料が不足し				1～

2001	9	～ 15	たので足場外の塗料置場へ行き、戻る途中に足場の3層目から墜落した。	30209	1	9
2001	9	～ 13 ～ 14	橋台に設けている枠組足場の4層目布板上に仮置きしていた鉄筋の整理・運搬作業を行っていたところ、急に布板上に寝そべり、その後すぐに寝返りをうつ感じで布板と中さんとの隙間(約35cm)から約7m下のコンクリートに墜落した。	30201	1	1～ 9
2001	8	～ 17 ～ 18	機械工場の新築工事において、天井(高さ11.40m)のボード貼り作業をローリングタワー(高さ9.61m)上で行っていて手すり外れている箇所から墜落した。	30203	1	1～ 9
2001	8	～ 17 ～ 18	外壁の修理工事において、足場の4段目の筋かいの隙間から外壁の塗装作業を行っていてバランスを崩し足場と外壁の間から約7m下の1階屋根部分に墜落した。	30209	1	1～ 9
2001	9	～ 15 ～ 16	温水パイプ敷設工事において、屋外の温水パイプ保温工事に使用した単管足場(一部枠組み)の解体作業を行っていたところ、構内道路をまたぐ形で設けられていた足場の単管を外していた者が足場板とともに4.58m下の道路に墜落した。	30309	1	1～ 9
2001	7	～ 11 ～ 12	木造家屋建築において、開脚設置した全長2.7mの「うま」を使用して1階天井付近となる梁(高さ4.28m)に金具の取付け作業をしていて、「うま」から墜落し頭部をコンクリート基礎の上に打ちつけた。	30202	1	1～ 9
2001	8	～ 11 ～ 12	9階建マンションの補修工事において、高さ22.2mの鋼管足場を使用して外壁の塗装作業を行っていて、足場の12段目(20.5m)付近から地上に墜落した。	30201	1	1～ 9
2001	7	～ 16 ～ 17	ブラケット足場上で外部型枠建て込みのための単管パイプ取付け作業中に、足を踏外し約19m下の隣接する木造倉庫のトタン屋根上に墜落した。	30201	1	50 ～ 99
2001	8	～ 16	木造2階建新築工事において、足場の地上第一の布(高さ1.68m)上で窓枠の取付け作業中に布から建物側に墜落した。	30202	1	1～ 9

		17				
2001	8	16 ～ 17	浴室ブロックを積む作業中、天井の梁(H鋼)下部に溶接されていたブロック補強用の鉄筋(直径13mm)の取付位置が悪かったので修正しようと手前に引っ張ったところ、溶接部分が外れその勢いで高さ1.8mの足場作業床からコンクリート床面に墜落した。	30201	1	1～ 9
2001	8	10 ～ 11	作業員数名で足場上がっていた屋根波板の成形作業を見て、足場上を移動したときに作業床の隙間につまづいて転倒し、手すり中さん(高さ59cm)の下から約8.6m下へ墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2001	8	16 ～ 17	工場新築工事において、2階エレベーターピット部の梁に足場板を掛け渡してその上でALC板取付金具の塗装作業を行ったのち2.2m下の2階床面へ下りるときに、バランスを崩してエレベーターピット内を1階まで約12m墜落した。	30201	1	1～ 9
2001	8	15 ～ 16	工場の増築工事において、樋を取り付けるための金物を取付場所それぞれに配置していたときに、枠組足場の6段目(高さ10.55m)から地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2001	7	8 ～ 9	配管塗装用足場の解体作業中、単管を取り外すため取り外そうとする単管上でクランプを緩めていたところ、単管が片持ちとなり約9m墜落した。	30309	1	10 ～ 29
2001	7	11 ～ 12	7階建の共同住宅新築工事において、足場に張ってある防音シートの撤去作業中に単管抱き足場上から約11m下に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2001	7	12 ～ 13	駅構内においてプラットホーム建屋のクラック等の補修のため、高さ約6mの枠組み足場上で溶接に伴う火花除けの養生を行っていたときに、足場から墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2001	7	14 ～	セメントの原料を予熱するサイクロンの補修工事において、サイクロン内の底から単管で高さ約20mの足場を組み作業員8名が足場の最上階の作業床上でピックハンマーを使用して耐火性レンガのはつり作業を行っ	30209	1	30 ～

		15	ていたところ、足場が崩壊し作業員8名の内7名(うち1名は単管につかまり墜落を回避)が約20m下のサイクロン底に転落し、同時に廃材のレンガ等の下敷きになった。			49
2001	7	14 ～ 15	セメントの原料を予熱するサイクロンの補修工事において、サイクロン内の底から単管で高さ約20mの足場を組み作業員8名が足場の最上階の作業床上でピックハンマーを使用して耐火性レンガのはつり作業を行っていたところ、足場が崩壊し作業員8名の内7名(うち1名は単管につかまり墜落を回避)が約20m下のサイクロン底に転落し、同時に廃材のレンガ等の下敷きになった。	30209	1	30 ～ 49
2001	7	14 ～ 15	セメントの原料を予熱するサイクロンの補修工事において、サイクロン内の底から単管で高さ約20mの足場を組み作業員8名が足場の最上階の作業床上でピックハンマーを使用して耐火性レンガのはつり作業を行っていたところ、足場が崩壊し作業員8名の内7名(うち1名は単管につかまり墜落を回避)が約20m下のサイクロン底に転落し、同時に廃材のレンガ等の下敷きになった。	30209	1	30 ～ 49
2001	7	11 ～ 12	住宅の外壁塗装工事において、足場の2層目で塗装を終了した箇所の目張りを剥がす作業を行っていてバランスを崩し6m27cm下の農道に墜落した。	30209	1	1～ 9
2001	7	9 ～ 10	ゴルフ練習場の新築工事において、150ヤード地点の目標となるカップの位置を見るため組んだ仮設の足場を解体するため、高さ3.5m足場に載って作業をされていて転落した。	30109	1	1～ 9
2001	6	13 ～ 14	工事用エレベーターの支持用足場の撤去で、エレベーターの控えを別の躯体用足場に架け替える作業中に、支持用足場と躯体用足場の間(1m15cm)から地上まで約27m墜落した。	30201	1	1～ 9
2001	6	16 ～ 17	ドック内で定期検査のため入渠した自衛艦の防舷材(船と船の接触時にクッションとなる物)を足場上で六角ボルトの頭の部分にメガネスパナ差込み締付けているときにスパナが外れ、勢いあまって足場上より高さ3.6m下のドック底へ墜落した。	11501	1	30 ～ 49



2001	6	16 ～ 17	堰堤工事において、仮設の排水パイプ(重さ30kg)の撤去作業を行って いて、高さ約2.6mの足場から仰向けに墜落し、土のうを固定していた鉄 筋棒(16mm)が背中に刺さった。	30108	1	10 ～ 29
2001	5	16 ～ 17	外壁の改修工事において、外部足場の設置作業をしていたときに、6層 目で部材の受取作業を行っていた職長が足を滑らせ約10m墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2001	5	13 ～ 14	スーパーの看板(高さ14m)の塗り替えを丸太足場上で行っていたとこ ろ、丸太足場の布部分(長さ5.54mの丸太)が中央部分から折れ、10.4 m下のアスファルト地面に墜落した。	30309	1	1～ 9
2001	5	11 ～ 12	体育館改築工事現場において、内部足場の組立て作業中に、足場の最上 部(高さ約12m)から墜落した。	30201	1	30 ～ 49
2001	5	13 ～ 14	2階建木造家屋新築工事において、外部足場から2階出窓部分のモルタル 塗装作業中に転落した。	30202	1	1～ 9
2001	5	16 ～ 17	共同住宅建設現場において、外壁の補修作業に使用する水をバケツに汲 んで枠組足場を通り作業場所へ戻る途中に、手すりとして取り付けられ ていた交さ筋かいの隙間から約6.9m下の地面に墜落した。	30201	1	50 ～ 99
2001	5	9 ～ 10	建物内部に設置されているクレーンガーターを撤去するため、高さ約5 mのローリングタワー上で溶断作業を行っていて作業床から地上に墜落 した。	30201	1	1～ 9
2001	2	11 ～ 12	塗装用の外部足場組立作業において、屋根の軒下に壁つなぎを取り付け ているときに11m下の地面に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2001	3	8 ～ 9	高さ5.23mの枠組足場第3層上で石材を固定するために結束されていた ステンレス線をペンチで除去する作業を行っていたところ、足場第2層 上にペンチを落としたので取りに行くため手すりを越えて枠の外側に出	30201	1	10 ～ 29

			たときに、バランスを崩して墜落した。			
2001	3	8 ～ 9	山門屋根葺き替え工事において、古い屋根瓦の撤去をほぼ終了し、残りの瓦土、桟木及び杉皮を撤去するため、山門周囲に架設された鋼製本足場に上がったときに、足場上から3.3m下の石畳に墜落した。	30209	1	1～ 9
2001	4	16 ～ 17	鉄骨の建方作業において、2階部分の梁をとりつけるため梁のボルト孔に取り付けてあった布バケツ(仮ボルト14本入り、質量8.4kg)を外し、梁を所定位置にセットするために、コラムステージの手すりと柱のダイヤフラムの上に足を乗せていたときに、約22m下の地下4階のスラブ上に墜落した。	30201	1	100 ～ 299
2001	4	15 ～ 16	小型移動式クレーンを用いて看板を取り付けるため、クレーンで支柱の上部まで看板を吊り上げ、支柱に隣接して設置された移動式足場の上から身を乗り出して寸法合わせを行っていたときに、バランスを崩して5.13m下に墜落した。	30209	1	1～ 9
2001	2	16 ～ 17	清掃工場のガス処理設備棟の外部足場の解体において、クレーンで外部足場を吊って倒壊しないようにしてから壁つなぎを外す手順であったところを先に壁つなぎを外したため、壁つなぎを外した箇所の外部足場が倒壊し、付近で作業を行っていた者が足場と作業床との間にはさまれた。	30209	5	50 ～ 99
2001	1	14 ～ 15	鉄筋コンクリート造5階建宿舍の解体で、3階の倒した壁の鉄筋をバーナーを用いて3段目の枠組み足場上で溶断しているときに、高さ5.6mの足場上から建物と足場との間(70cm)の地面に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2001	3	9 ～ 10	住宅新築工事現場の足場組立作業において、足場の2層目上で木製足場板を番線で緊結していたときに、足場と躯体との間から墜落し出窓のひさしの垂木に当り、1層目の足場上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2001	3	20 ～ 21	3階スラブのコンクリート打設後の均し作業で、高さ7mの足場上で散水用ホースを手繰り込んでいたときに、筋かいの隙間から墜落した。	30201	1	10 ～ 29

2001	3	9 ～ 10	屋根の張出工事において、重量62.5kg(長さ3.52m、10cm角)の鉄骨を仮止めするため、高さ1.92mの枠組足場上に取付けられた幅50cmの鋼製布板上で鉄骨を受ける準備をしていたときに誤って転落した。	30201	1	1～ 9
2001	3	22 ～ 23	発電所定期点検工事において、発電用ボイラの内部に設置された足場の最上部で加熱器パネルの灰落とし作業を行うため、足場上を移動しているときに足場から約7m下の上部ステージに置いてあったゴンドラ上に落下した。	30309	1	1～ 9
2001	2	11 ～ 12	足場解体作業中、6階のバルコニーに取り込んであった丸パイプ(長さ4m)1本を、幅50cmの開口部から外部足場上にいたとび工に手渡ししようとしたときにバランスを崩し15m下に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2001	2	9 ～ 10	浄水場沈殿地コンクリート保護工事において、養生シートに前日の雨水が溜まって足場が危険な状態になったため、養生シートを破って水を抜く作業をしていたときに、ローリングタワー(最上部の手すりまで436cm)から転落した。	30110	1	10 ～ 29
2001	1	14 ～ 15	単管足場(勾配約72度の屋根用足場)の組立中に、資材受け渡し用の開口部から約10m下に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2001	1	8 ～ 9	プラント外壁の塗装用足場の解体作業中に、プラント西面の鋼管足場(24m)から地上3.8mにある配管の上に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2001	1	13 ～ 14	鉄筋コンクリート5階建建築工事において、枠組み足場8層目の作業床の清掃中に、散在していた型枠の組立用金具を手を持って移動していたところ、5階部分の型枠を固定するパイプサポートが作業床上(高さ約15cm)を横断していたためこれに躓いて転倒し、さらに筋交いの隙間から12.7m下の地面に墜落した。	30201	1	30 ～ 49
2001	1	14 ～ 15	型枠大工が10.5m下のコンクリート法面に足場板(鋼製180cm×40cm)とともに墜落し、バウンドしてさらに5m下の川で発見された。	30201	1	1～ 9

2000	7	10 ～ 11	橋脚の周囲にブラケットを架設する作業に従事していて、10時の休憩時間になったときに手すりを乗り越えて仮置していたブラケットの道板に乗ったため道板とともに26m下に墜落した。	30105	1	1～ 9
2000	12	10 ～ 11	吊り足場の解体作業中、右足をころばし単管に乗せて約1m先の足場板を取ろうとしたときに、バランスを崩し約50m下の谷川に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2000	4	16 ～ 17	擁壁を嵩上げする擁壁工事において、同僚とともに擁壁上に設置された張出足場の解体作業を行なっていて約4m下のコンクリート地面に墜落した。	30199	1	1～ 9
2000	7	10 ～ 11	ドックにおいて、渡り通路(吊り足場)の両端にワイヤロープで掛け足場上で砂採取船のカーゴホールド内の不良部分の切断及び仮付け作業を行っていたとき、吊り足場の片方を掛けていたシート止め用フックが溶接部から外れ約6m下に墜落した。	11501	1	50 ～ 99
2000	5	13 ～ 14	工場増築工事において、枠組足場の解体作業中に「ちょっと下におりる」と他の3名に告げ下に降りる途中、足場の7層目から墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2000	3	17 ～ 18	高さ約3.5mの足場上において、ガス溶接機等を用いて工場内の壁や配管を撤去していた者がコンクリート床に墜落した。	11209	1	50 ～ 99
2000	8	8 ～ 9	並列に設置した枠組足場の間に3本の単管を渡しその上に道板を敷き番線で固定していく方法で足場を組み立てていて、道板を固定しようと道板の端に乗ったときに、その部分が単管で支持されていなかったため天秤状態となり2.7m下に墜落した。	30106	1	10 ～ 29
2000	8	13 ～ 14	砂防堰堤の型枠の組立・解体に使用した張出足場の解体作業で、張出足場の作業床上で足場材料の取り外しを行っていて、4.24m下へ墜落した。	30108	1	1～ 9
		10	工場事務所の外壁張替工事において、鋼管本足場2段目の作業床上(高さ			10

2000	7	～ 11	3m90cm)で外壁撤去のため外壁材接合部の目地(ゴム系)をカッターナイフで切る作業を行っていたときに、作業床と手すりの間からアスファルトの駐車場に墜落した。	30209	1	～ 29
2000	2	9 ～ 10	足場の解体作業を行っていて、単管を取り外すときにバランスを崩し、約8.8m下の地上まで墜落した。	30209	1	1～ 9
2000	8	9 ～ 10	1階床のレベル出しが終わり、休憩のため躯体側から外部足場に後ろ向きで乗り移っていたときにバランスを崩して布わく上で尻もちをつき、外側の筋かい下部からすり抜けて5.81m下の地下コンクリート面に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2000	3	15 ～ 16	個人宅の解体工事において、丸太足場上でシートを張る作業中に2段目から、約3.45m下のコンクリート土間に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2000	5	13 ～ 14	マンション新築工事現場において、高層棟7階部分の足場組立作業で足場材料を受け取り運搬しようとしたときに、バランスを崩し15・3m下のコンクリート地面に落下した。	30201	1	30 ～ 49
2000	9	11 ～ 12	足場の解体作業中に、床材の端部を歩いていてバランスを崩し、12.7m下の地上に落下した。	30201	1	1～ 9
2000	9	8 ～ 9	足場の組立作業中に、壁つなぎを取り付けるためのハンマーを取りにくい ため足場から既設建設物の階段踊り場に移ろうとして、8.8m下の地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2000	12	10 ～ 11	3階建RC造マンション工事現場において、中低層用外部足場の3層目、4層目作業床上にて3階窓のひさしの型枠組立作業を行なっていて足場外側の地上に転落した。	30201	1	1～ 9
2000	7	14 ～	木造建築現場において、地上から高さ4.8mのブラケット足場上で梁のボルト取付け作業中に墜落した。	30202	1	10 ～

		15				29
2000	3	11 ～ 12	橋梁建設工事(長さ305m)において、設置が終わった桁のボルト部の錆止め塗装工事を行っていて桁の先端部附近より川に転落し、溺死した。	30105	1	1～ 9
2000	3	10 ～ 11	マンションの外壁塗装工事において、塗装が終了して外部足場の解体中にマンション住人用通路の屋根の上に単管で組まれた養生の上を清掃していて約2.1m下のアスファルトに転落した。	30209	1	10 ～ 29
2000	1	0 ～ 1	マンション新築工事の足場解体作業において、工事用エレベーター付近の足場(1h16層)をブロックにまとめて取り外し、50t移動式クレーンで吊り上げようとしたときに、載っていた足場が振れた弾みで高さ19.4m(10層目の足場)から地上に墜落した。	30201	1	1～ 9
2000	12	15 ～ 16	ビルの外壁タイルの剥離調査と補修のための足場組み立てで、休憩後、組立を始める位置(高さ5.36m)まで足場の筋交いを使い登っていたところ転落した。	30209	1	10 ～ 29
2000	3	11 ～ 12	貨客船の外板塗装作業の補助作業員として、エアホースの引き回しなど行っていて高さ3.61mの足場上から手すりのない船の反対側へ墜落した。	11501	1	10 ～ 29
2000	11	8 ～ 9	下水処理施設の建築工事において、型枠材料を移動式クレーンで運搬するため、合図者として無線装置をもって枠組み足場を移動中に地上へ墜落した。	30201	1	1～ 9
2000	6	15 ～ 16	橋の拡幅工事現場で吊り足場の解体作業中、撤去した足場材の移動を行うときに足をかけた足場板が天秤になったため足を踏み外し、約8.3メートル下の川に墜落し、約45km下流の河口堰付近で遺体が発見された。	30105	1	10 ～ 29
2000	11	11 ～ 12	堰堤建設工事で、型枠・足場の解体中に足場に乘ったところ足場板が外れ、5m下の基礎コンクリートに墜落した。	30108	1	30 ～ 49

2000	12	17 ～ 18	木造住宅建築現場において、現場片付中の作業員が物音に気づいて見たところ、作業者が建築現場前の路上でうつ伏せに倒れていた。	30202	1	1～ 9
2000	11	10 ～ 11	下水道工事の立坑内において、支圧壁解体ための足場の盛替え作業中に 1. 4m下に墜落した。	30110	1	1～ 9
2000	8	10 ～ 11	3階建ビルの屋上に木造物置を増築する工事において、一側足場上で物置の外壁面に釘で波板(トタン板)を打ち付ける作業をしていて約9. 5m下に墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	8	16 ～ 17	コンクリート打設用の型枠部材を作業構台に仮置きする作業中に、構台の端から約8メートル下の地面に墜落した。	30201	1	300 ～ 499
2000	3	11 ～ 12	分譲マンション新築工事において、ベランダの梁側面のタイル下地左官作業のためアルミ台場(長さ1. 3m、幅0. 5m、高さ0. 9m)に上がろうとしたとき足を踏み外して墜落した。	30201	1	1～ 9
2000	11	16 ～ 17	外部足場の12段目の解体作業で、11段目の足場板上(高さ約19m、幅約75cm)で解体した足場の部材を運搬中にバランスを崩して墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2000	9	13 ～ 14	ドックで建造中の土運搬船の船体外板部の吹付塗装作業で、枠組足場の2段目に上がって以前に塗装作業を行った船尾部分の塗装状態を確認中 しているときに足場作業床と船体との隙間に墜落(高さ3. 6m)した。	11501	1	10 ～ 29
2000	9	9 ～ 10	ビル新築工事現場において、12階吹き抜け部のステージ組立て鉄筋作業を行っていたときに、固定されていない足場板上を通行して約12m下の水平ネットに墜落した。	30201	1	1～ 9
2000	9	19 ～ 20	石綿除去作業の準備のためビニールシートで養生しているときに、ステージ足場(高さ3m)から墜落した。	30309	1	10 ～ 29

2000	7	9 ～ 10	木造住宅屋根補修工事で、2階バルコニーの壁のはつり作業を鋼管抱き足場(高さ3.9m)上で行っていてバランスを崩し、アスファルト道路上に墜落した。	30202	1	1 ～ 9
2000	7	13 ～ 14	小学校の外部改修工事において、外部足場組立て中に足場第3層(高さ5.8m)から墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2000	5	13 ～ 14	鋼管抱き足場の解体作業中、高さ約7mの足場上から隣地のコンクリート地面に墜落した。	30209	1	1 ～ 9
2000	3	13 ～ 14	マンションの外壁等改修工事において、足場の13層目の解体で東側の最後の3枠を解体したので地上に降ろす場所(西側13層目端部)に向かうため布枠上を歩行中に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2000	2	13 ～ 14	外部足場のシート張りをブラケット足場上で行っていて、躯体と足場との隙間(40cm～50cm)から19階床に墜落した。	30201	1	100 ～ 299
2000	2	9 ～ 10	エレベータ昇降路躯体のコンクリートブロック壁の解体作業で、ガラの袋詰め作業のため足場上を移動中に突然作業床が崩壊し、約13m下の地下1階まで墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2000	9	10 ～ 11	中学校の屋根及び外壁改修工事に使用した地上14メートルの足場の解体作業で、部材の一部を外したときに足場としていた足場板が脱落し、高さ約3メートルの躯体屋根に接触したのち地上に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2000	8	8 ～ 9	コンクリート仕上作業のため屋上に上がっていた作業者が地上に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2000	7	14 ～ 15	工場内部の鉄骨等の塗装作業のため単管抱き足場上で塗装作業中に、高さ約5mのところから墜落した。	30209	1	1 ～ 9



2000	8	13 ～ 14	マンションの外壁塗装工事に使用した外部足場の解体作業で、高さ13.84m、幅50cmの足場板上で同僚とともに布杵材をロープで降ろしていたときにバランスをくずして転落した。	30201	1	1～ 9
2000	2	9 ～ 10	丸太足場の第3の布上(高さ4.94m)で、ラチェットスパナの柄の部分で浄化槽通気管を取り外そうとしたときにバランスを崩して墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	11	16 ～ 17	個人木造住宅新築工事で、2階屋根瓦ふき作業中に高さ4.65メートルの張出し足場から墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	8	11 ～ 12	高さ約10mの荷揚場で、ワイヤーモッコに廃材の角材と板材約100kgを積んで巻き上げ用ウインチで吊り下げ、ワイヤーモッコを押し出そうとしたときに、荷揚場からコンクリートの地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	12	16 ～ 17	木造住宅工事現場において、階段部の2階天井付近の下地材を2人で板張り作業中、間柱と脚立に架け渡した足場床材が間柱から外れ、約3.5メートル下のコンクリート土間に足場床材といっしょに2人とも墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2000	6	9 ～ 10	木造建築工事現場において、1階屋根上に設置された単管足場の上で2階屋根下の壁下地、間柱の打ち付け作業を行っていたときに、バランスを崩して1階屋根上に落下し、さらに地面に落下した。	30202	1	1～ 9
2000	11	13 ～ 14	足場解体作業中、足場2段目(高さ約4m)から墜落した。	30203	1	100 ～ 299
2000	2	16 ～ 17	木造住宅建築工事で、外壁用モルタルの入った容器を電動ウインチで吊上げて2階と3階へ運搬し、次いで防風ネットを取付けているときに、手すりのない一側足場の2段目(高さ4.2m)から墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	12	13 ～	公園内のポンプ室新築工事で、コンクリート打設のための外部足場を養生する作業で鋼管杵組足場の2段目で作業中、誤って足場から約4m下の	30201	1	1～ 9

		14	地上に墜落した。			
2000	10	15 ～ 16	15階建マンション新築工事において、外部足場の19層目より(高さ約33m)から地上の足場部材集積場所に墜落した。	30201	1	1～ 9
2000	9	16 ～ 17	2階建方に使用する部材を1階部分の梁上に仮置きする作業で、邪魔となる木製パレットを足場一層目(高さ2.3m)から地上に降ろそうして墜落した。	30202	1	1～ 9
2000	7	11 ～ 12	ケーソン内部に設置してある吊り足場上で周囲に設置してある墜落防止用ネットの掛け替え作業中、吊り足場の端とケーソン内部側壁の間隙(28cm)から約7.8m下の底部に墜落した。	30111	1	50 ～ 99
1999	5	15 ～ 16	軽量鉄骨造温室の建設工事において、脚立足場(馬の間に巾14cm、長さ3mの板をのせたもの)の上(高さ2.8m)で側壁の板の取付作業をしていて地面に墜落した。	30201	1	1～ 9
1999	3	11 ～ 12	8階建ビル屋上に設けられた店舗広告板(パネルサイン)取り替えで、広告版の前側に丸太一側足場を組立中、張り出し材である丸太材を吊っていたワイヤーロープの一端が取付箇所から外れて、丸太が転位したため墜落した。	30309	1	1～ 9
1999	12	9 ～ 10	ホテル9Fの改修工事現場の作業用張出足場の解体作業において、張出足場の腕木と布直交クランプをラチェットで取り外して9階ベランダ部分より約29メートル下のホテル前の道路上に墜落。	30201	1	1～ 9
1999	12	17 ～ 18	木造2階建の1階北側壁部分に雨よけシートを釘打ちで取り付けているときに、足場板から墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	3	14 ～ 15	店舗の改修工事現場において、外部足場の三段目上(高さ5.3m)で看板の塗装作業中にアスファルト舗装道路上に墜落した。	30209	1	1～ 9
		11	法面の崩壊防止のため、地上約15メートルの足場上でロックボルトの削			10

1999	12	～ 12	孔に用いる削孔機を移動していたときに足場の端部より墜落した。	30107	1	～ 29
1999	12	～ 1	橋脚の型枠解体する作業で、頭部の型枠解体完了後、単管本足場の解体作業を行っているときに、最上層(4層)の足場作業床から6.55メートル下の地面に仰向けに墜落した。	30209	1	1～ 9
1999	11	～ 14	単管足場の作業床上(高さ2.24m)で、工程の打合せをされていて下方の通路に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
1999	12	～ 15	橋梁の塗装工事に使用したつり足場の解体作業で、緊結をといた足場板(幅25cm)上を移動中にコロバシが動いたため足場板が外れ、約12m下の川に墜落し、自力で泳いだが力尽きて溺死した。	30105	10	1～ 9
1999	12	9 ～ 10	地下1階地上2階建の鉄筋コンクリート造の建設工事において、ビティ足場の4層の上で2階上屋天井部の梁の配筋作業をされていて約2.5メートル下の2階のベランダとなるコンクリート床面に転落し、そこから出ていた鉄筋が腹部に刺った。	30201	1	1～ 9
1999	12	～ 12	鋼管枠組み足場を解体中、高さ12m、幅81cmの足場板上から4m63cm下のコンクリートの建物2階ベランダに墜落し、頭部などを打った。	30201	1	30 ～ 49
1999	11	～ 14	枠組足場の最上部にメッシュシートを降ろすスペースを確保するため、躯体側のブレスを2スパン外し、建枠は外側に建枠の幅分移動して荷降ろしをされていて足場上から13.89m下の地面に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
1999	11	～ 15	7階建ビル屋上の看板を取外した後、鉄骨内部の梁の塗装作業を行っていてバランスを崩し、12m下のビル屋上のコンクリート床に墜落した。	30309	1	1～ 9
1999	11	～ 10	新築工事現場において、屋根の鉄骨接合部分等の塗装を行うため、高さ8.9メートルの移動足場の上で塗装作業の段取りをしている最中に作業床の端から墜落した。	30209	1	1～ 9

1999	11	15 ～ 16	資料館AV展示棟の内部工事における足場組立作業で、5. 19メートルの足場3段目の作業床からコンクリートの床面に墜落した。	30201	1	30 ～ 49
1999	11	9 ～ 10	橋梁工事現場において、斜張橋の支柱を囲むようにして設置されていた張出足場(幅75センチ)を解体中に約20m下の張出足場上に墜落した。	30105	1	1～ 9
1999	11	11 ～ 12	吊り足場の解体作業中に、足場を支持していたワイヤーのアンカー10箇所のうち2箇所の金属ボルトが抜け、反動で足場が揺れたため、足場上で資材集材作業中の者が集積材料と共に15m下の河川敷に墜落した。	30105	1	1～ 9
1999	11	9 ～ 10	高校の渡り廊下の屋根部分の塗装工事で、高さ2. 3mのうま足場上で養生シートを張っていて足場から転落した。	30209	1	1～ 9
1999	11	14 ～ 15	橋脚の防錆塗装が終了して吊り足場の解体作業中、被災者があらかじめ解体された作業床(重さ20kgのパネル1枚)を運搬している時にバランスを崩し12m下に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
1999	10	14 ～ 15	屋根葺工事現場において、屋根葺作業中に左官工事用の高さ約7mの外 部足場上から約3. 5m下の既存建屋の屋根に転落し、さらに約3. 5m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	11	11 ～ 12	トラック積載型クレーン(吊り上げ荷重2. 93t)のブームを縮めるためラジコン操作を行ったところ、誤ってブームを旋回させたため近くに設置してあった枠組足場(2段3スパン)にブームが接触し、足場が倒壊して付近で作業していた1名が足場の下敷きとなった。また足場作業床で作業をしていた1名も足場から墜落して重傷を負った。	30106	5	50 ～ 99
1999	10	9 ～ 10	農協倉庫前の米の仮置き施設の屋根に掛けられていたテントを外すため、高さ5. 3メートルのローリングタワー最上部に2人を乗せたままタワーの移動をしていたところ、タワーが転倒し屋根の梁材につかまらなかったため、5. 3メートル下の転倒したタワーの上に墜落した。また、もう1人も重傷を負った。	30209	5	10 ～ 29

1999	10	16	クリーニング店の改装工事において、足場板を敷く作業のため建屋外部に設けられた単管足場の一段目に地上から昇ったときに、作業床を支えていた支柱が崩れたため足場とともに地上に転落した。	30202	1	1～9
1999	10	8	コンクリート擁壁の型枠組立作業中に、同僚からさん木(型枠パネル控え用の角材長さ約80センチ)を持ってくるように指示され、地上から枠組足場の4層目に届けたときに、高さ7.35メートルの足場上から墜落した。	30201	1	10～29
1999	10	16	中学校新築工事において、校舎屋根で型枠の組立作業を行っていて足場から12m下に墜落した。	30201	1	30～49
1999	9	15	高層棟1Fで枠組足場を組み立てているときに、3段目(約5.15m)より落下し壁差し筋が横腹に刺った。	30201	1	10～29
1999	10	11	木造二階建の二階ヒサシと二階外壁の継ぎ目部分の防水のため、高さ5mの足場上から継目部分に粘土を塗る作業を行っていたときに、墜落した。	30202	1	1～9
1999	9	13	橋梁の塗装工事用足場の組立作業中、端(はな)足場丸太の段違いを修正するため、橋のランカン支柱から垂らしたチェーンを持って丸太に足を乗せ弾みをつけて上から踏みつけたときに、ランカン支柱に回して止めていたチェーンのフックが外れ約7m下の河床まで墜落した。	30309	1	1～9
1999	5	9	2階のコンクリート打設中、コンクリート打設の責任者として、2階スラブ下の作業者に作業の指示をしていたときに、足場から約10m下に墜落した。	30201	1	10～29
1999	9	14	個人住宅の新築工事現場において、棟上げ作業中に1階部分の梁の上に設置された枠組足場の上から5.6メートル下の地上に墜落した。	30202	1	1～9
		15	森内のごみ焼却炉で焼却炉内を鉄製の棒(長さ2m)でかき混ぜる作業中、			50

1999	7	～ 16	バランスを崩し足場(高さ約90cm)から墜落した。	60209	1	～ 99
1999	9	14 ～ 15	塔屋外部足場解体のため、7段最上部の建枠ブレースを解体して、6段目に集積し、片方の玉掛ワイヤーを掛け、もう一方のワイヤーを掛けようとしたときに巻き上げ合図をしたために荷が動き、荷とともに合図者が約10m下の5階屋上に墜落した。	30201	1	1～ 9
1999	9	16 ～ 17	堰堤設置工事において、型枠組立及びコンクリート打設作業に使う足場設置作業をしていて、足場から墜落した。	30108	1	1～ 9
1999	9	15 ～ 16	自動車道路(鋼上部工)のジョイント部の錆止め塗装作業中、塗料を取り替えるために、一部変更中のつり足場を踏み外し墜落した。	30105	1	1～ 9
1999	8	9 ～ 10	解体する工場内の天井クレーンをガス溶断作業をするため、高さ3・7メートルのローリングタワー上で準備作業を行っていてコンクリート地面に墜落した。	30309	1	10 ～ 29
1999	7	9 ～ 10	デパート(地上7階建)の屋上で、広告塔(高さ約10m)の塗裝修繕工事を行うため、鋼製枠組足場を、2段目まで組み上げたときに強風にあおられ、屋上から約25m下の道路に足場と共に墜落した。	30209	1	1～ 9
1999	8	8 ～ 9	建築工事において、建設用リフト(スキップホイスト)を利用し一輪車を3Fまで持ち上げ、その一輪車を取り上げようと手すりから少しはみ出した足場(高さ9.68m)へ身を乗り出したときに墜落した。	30201	1	1～ 9
1999	8	11 ～ 12	ダクトの撤去作業で、高さ2.1mのアルミ製の踏み台に上がり、天井裏から手渡された局所排気装置用ダクト(長さ3.3m、直径20cm、重量10kg)を受け取ったときに、バランスを崩して転落した。	30209	1	1～ 9
1999	7	16 ～ 17	道路新設工事において、ボックスカルバートウイング根元部の鉄筋組立て作業を行うため、開口部(7.1m×1.32m)に鋼製足場板1枚(幅24cm)を掛け渡して、鉄筋と補強筋を番線で固定していたときに足場上から墜	30201	1	30 ～ 49

			落した。			
1999	8	15 ～ 16	砂利などを入れる骨材ホッパーのボルト締めを行っていて、同僚と作業を交代するため、木製足場(幅約23.4cm)上を移動中に約4.6m下の地面へ墜落した。	30302	1	10 ～ 29
1999	8	0 ～ 1	枠組足場解体を最上層(14段目の上)で、行っていた3名のうちの1名が、親綱の張られていない箇所から約24m下の地面に墜落した。	30201	1	50 ～ 99
1999	7	16 ～ 17	建屋改修現場へ運ばれた石膏ボードを小型移動式クレーンで吊り上げて、外部足場の4段目と5段目の間に設けられたステージ上で取り込んでいたときに、荷と共に7.82m下の地面に墜落した。	10401	1	30 ～ 49
1999	7	14 ～ 15	鋼製足場の補強用に組んだ高さ4mの単管の上で合板168枚の積込作業中、単管が合板の重みでたわみ、合板18枚とともに地上に落下した。	30202	1	1～ 9
1999	7	11 ～ 12	船舶の塗装前に船体に付いた水滴を拭き取っていて、高さ3.43mの足場からコンクリートの地面に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
1999	6	14 ～ 15	仮設橋の下部工事現場において、つり足場上から墜落した。	30107	1	1～ 9
1999	6	14 ～ 15	工事現場で、屋根鉄骨を組み立てるために高さ6メートルの張り出し足場を組立しているときに、張り出し足場上で同僚から足場板を受け取った直後に張り出し足場の単管を緊結するクランプが外れたため、張り出し足場が傾き、バランスを崩して墜落した。	30209	1	30 ～ 49
1999	3	15 ～ 16	木造二階建住宅新築工事において、片手に「瓦カッター」を持って一階の屋根から地上へ降りるときに、約3.5メートル下のコンクリート製土間へ墜落した。	30202	1	1～ 9
		11	木造平屋の増改築工事現場において、作業を終えたので外部の鋼管足場			10

1999	5	～	から降りようとしたときに、高さが2.35メートルのところにある作業	30202	1	～
		12	床と手すりの間から地面に墜落した。			29
1999	4	～	7 橋梁の建設工事において、始業時刻前につり足場上を歩行していたとこ	30105	1	10
		8	ろ、足場板を固定していた番線が切断して足場板と共に7メートル下へ			～
			墜落した。			29
1999	6	～	15 高さ178.5mの鉄塔の改修工事で使用した68.5mの足場の最上部を解	30209	1	10
		16	体し、ウインチで足場材を降ろす作業中に墜落した。			～
						29
1999	5	～	10 マンション建設工事現場において、4段目まで組立が終了した足場上で	30201	1	10
		11	防護ネットを設置する作業を行っていたときに、4段目の足場から墜落			～
			した。			29
1999	4	～	11 木造2階建家屋新築工事現場で、高さ5.23mに位置する幅50cmの作業	30202	1	1～
		12	床上で足場の組立作業を行っていたときに、地上に置いていた角材の上			9
			に背中から墜落した。			
1999	5	～	9 倉庫新築工事現場において、庇の歪みを直すため高さ3.95メートルの	30201	1	10
		10	足場上に上がり、庇の下の筋かいの調整を行っていたときに、足場上か			～
			ら倉庫入口の砂利上に墜落した。			29
1999	4	～	15 下水処理場の焼却炉棟1階においてボイラ給水配管取り替えのため、	30309	1	30
		16	ローリングタワー上でフランジ接合部分のボルト締め作業をしていて			～
			ローリングタワーから床に転落した。			49
1999	5	～	13 国道バイパス工事現場において、移動式クレーンで吊上げた型枠パネル	30106	1	50
		14	を橋台に取り付けるために、荷の誘導をしていたときに、バランスを崩			～
			して高さ約12.65mの足場から地面に墜落した。			99
1999	4	～	10 工場建屋の外壁補修工事で、足場の上で吹き付け作業に従事していて	30201	1	1～
		11	足を踏み外して約3.5m下に墜落した。			9
		15	木造住宅の新築工事で、2階雨樋から雨水を一階雨樋へ流す配管を布設			1～



1999	4	～ 16	するため、単管一側ブラケット足場の養生用ネットをはずした場所から墜落した。	30202	1	9
1999	5	～ 12	11 店舗の外装改修工事で外装用のボードを張る作業のため足場上を移動 中、バランスをくずして高さ5メートルの足場からアスファルト舗装道 路上に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
1999	2	9 ～ 10	9 桝組足場の組立作業で、移動式クレーンから足場4層目の足場板上に降 ろされた荷に巻上ワイヤーロープが引っかかって、作業にあっていた 者と接触したため、荷もろともに足場間の開口部から、張られていた防 網を突き破って24. 65m下方の地下3階コンクリート床に墜落した。	30201	1	50 ～ 99
1999	4	13 ～ 14	13 木造家屋軒下部のスレート板を取り付けるため、桝組み足場の2段目の 上にうまを立て、さらに桝組足場の間に鋼製ブレスを4本束ねて渡し、 この上にて作業しているときにバランスを崩して4. 1m下の地面に墜落 した。	30202	1	1～ 9
1999	4	9 ～ 10	9 橋梁新設工事において、支保工兼はねだし足場の解体作業中に足場から 河床に墜落した。	30105	1	1～ 9
1999	4	16 ～ 17	16 橋脚建設工事で、足場上の木製足場板を片付ける作業をしていたとき に、足場上から7. 12メートル下のコンクリート土台に転落した。	30105	1	1～ 9
1999	4	14 ～ 15	14 火力発電所構内の排煙脱硫装置周辺の鉄骨を塗装中、階段足場から墜落 した。	30209	1	1～ 9
1999	4	～ 14	13 貯水塔をガス溶断してクレーンで地上へ降ろし、不要となった足場を順 次解体していたときに、解体した建地とともに17メートル下のコンク リートに墜落した。	30209	1	1～ 9
1999	4	～ 14	14 体育館改築工事現場で、同僚6名とともに鉄筋・型枠作業用桝組足場組 立て作業中、高さ約7mの足場からコンクリート床上に墜落した。	30201	1	50 ～

		15				99
1999	3	16 ～ 17	木造平屋建住宅屋根葺工事中において、外部足場上で屋根瓦を屋根に並べる作業中にバランスをくずして約3.5m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	1	14 ～ 15	ゲームセンターの入口看板の解体作業の補助をしていて、外部足場の1段目より歩道上に墜落した。	30106	1	10 ～ 29
1999	2	9 ～ 10	建築工事現場の内部足場の上で屋根部分の型枠を解体作業をしているときに、体のバランスを崩して足場上から1階のコンクリート床面へ墜落した。	30201	1	1～ 9
1999	2	15 ～ 16	建造中のフェリーの車両甲板中央部に設置した高さ約3.8mの移動式足場上で蛍光灯を取り付ける作業中、足を踏み外して墜落、倒れてき移動式足場の下敷きとなった。	11501	1	1～ 9
1999	2	14 ～ 15	木造家屋新築現場の、先行足場の組立作業で、高さ4.5mの足場板上で足場火打材の取付作業のため移動したときに、足場板から足を踏み外し土間コン上に墜落した。	30202	1	1～ 9
1999	1	9 ～ 10	工事現場において、3階の外壁にタイルを貼り付けるため、枠組み足場の6層目の足場板の上で外壁タイルの裏地に接着剤を塗布していたときに、枠組み足場の筋交いの中から地上に転落した。	30209	1	10 ～ 29
1999	1	10 ～ 11	足場解体作業で、足場上の建枠を移動式クレーンにより吊りおろすため玉掛け作業を行っていたときに、約18m下の地面に墜落した。	30209	1	30 ～ 49
1999	1	9 ～ 10	冷蔵倉庫の防火壁を撤去するための枠組足場を組立てるため、足場1段目の足場板に乗って2段目の交さ筋かいを取り付けようとしたときに、コンクリート床に墜落した。	30201	1	1～ 9
1999	1	13 ～	仮設栈台を解体する作業で切断した鉄骨をクレーンで巻き上げたところ、鉄骨が載っていた鋼製足場の手摺に引っ掛かって足場を吊り上げる	30102	1	10 ～

		14	かたちになり、鋼製足場とともに地上に墜落した。			29
1999	1	15 ～ 16	外壁改修工事の外部足場解体作業中、部材を引き抜いたときバランスをくずして部材とともに約4メートル墜落した。	30201	1	10 ～ 29
1999	1	16 ～ 17	配管・ラック塗装工事のための吊足場を設置する作業で、足場上部の単管のクランプ取り付ける作業終了後、足場作業床に降りようとしたときにバランスを崩し、高さ4.9mの足場作業床から墜落した。	30309	1	1～ 9
1999	1	13 ～ 14	現場事務所の職員玄関前外壁面の型枠解体に使用したローリングタワーを別の部屋に移動するため解体しているときに、ローリングタワーよりコンクリートの床面に墜落した。	30201	1	30 ～ 49
1999	1	13 ～ 14	学校の増築工事現場において、解体した型枠の金具・栈木の片付けを外足場上で行って墜落した。	30201	1	1～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

Return to [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311\\_02.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_02.html)